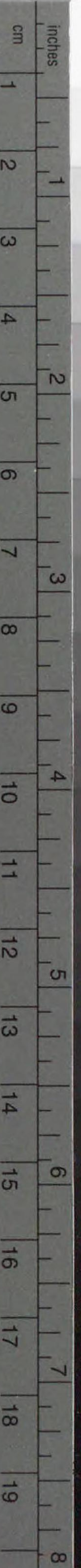


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



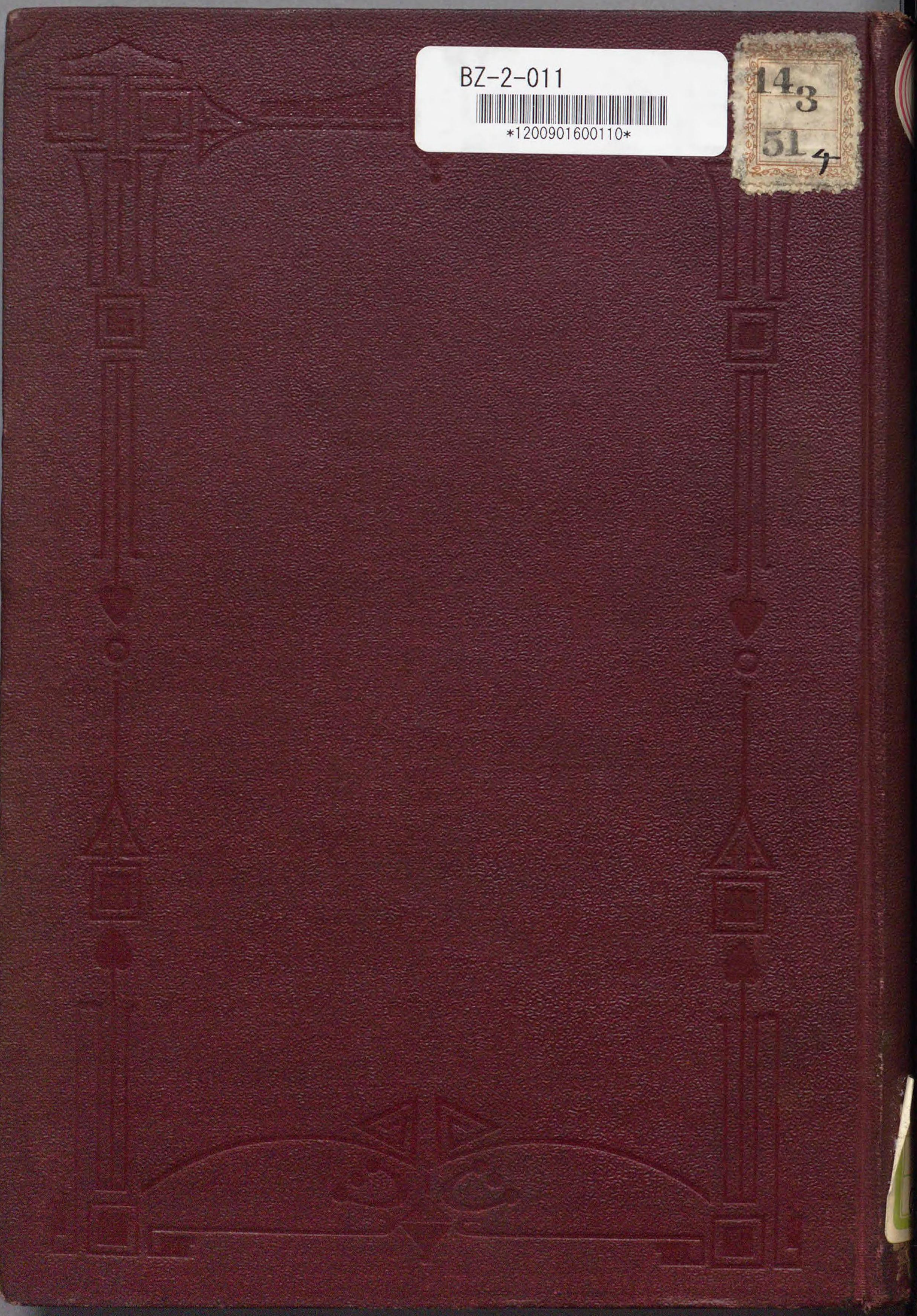
Kodak Color Control Patches

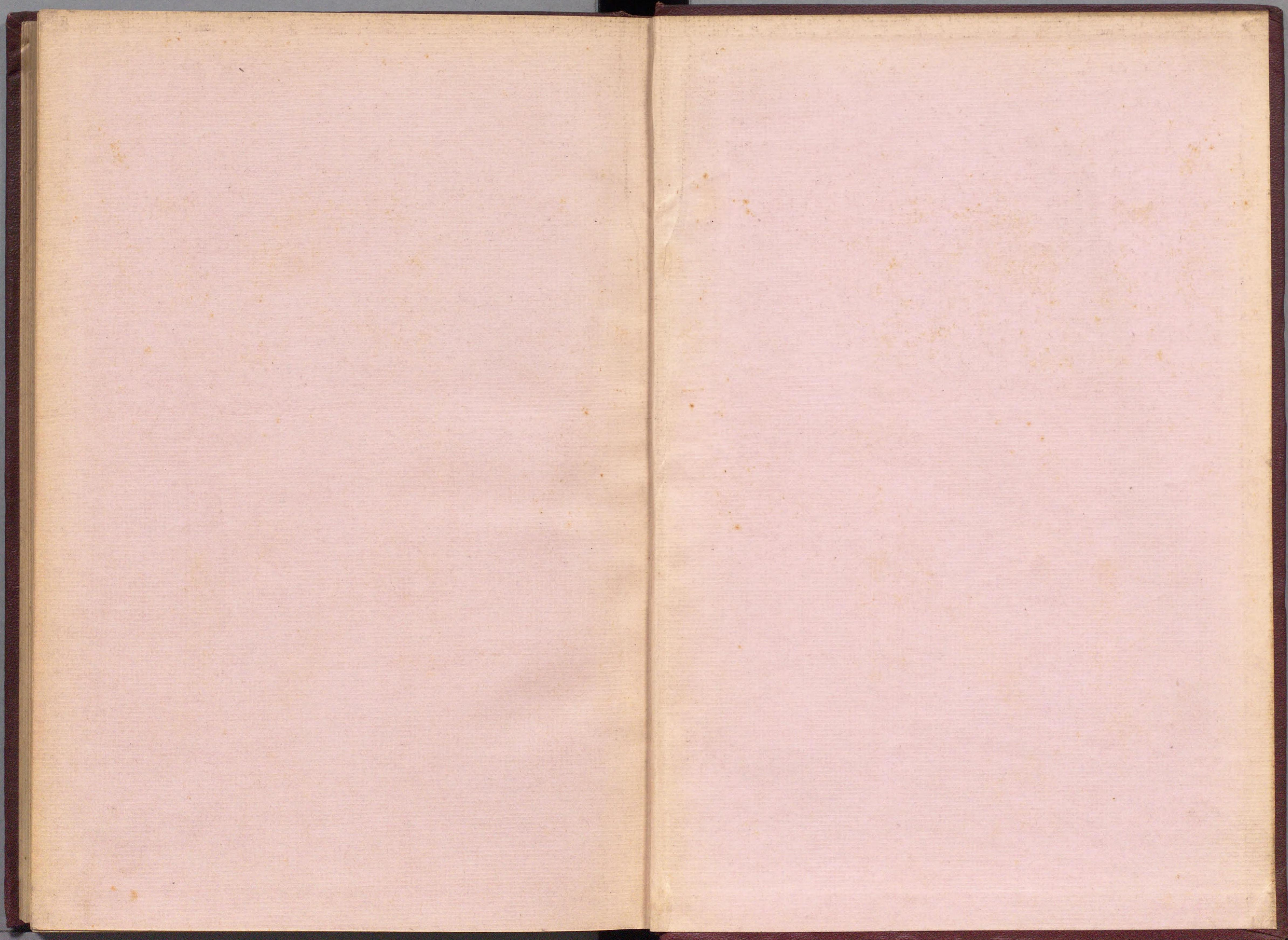
© Kodak, 2007 TM: Kodak

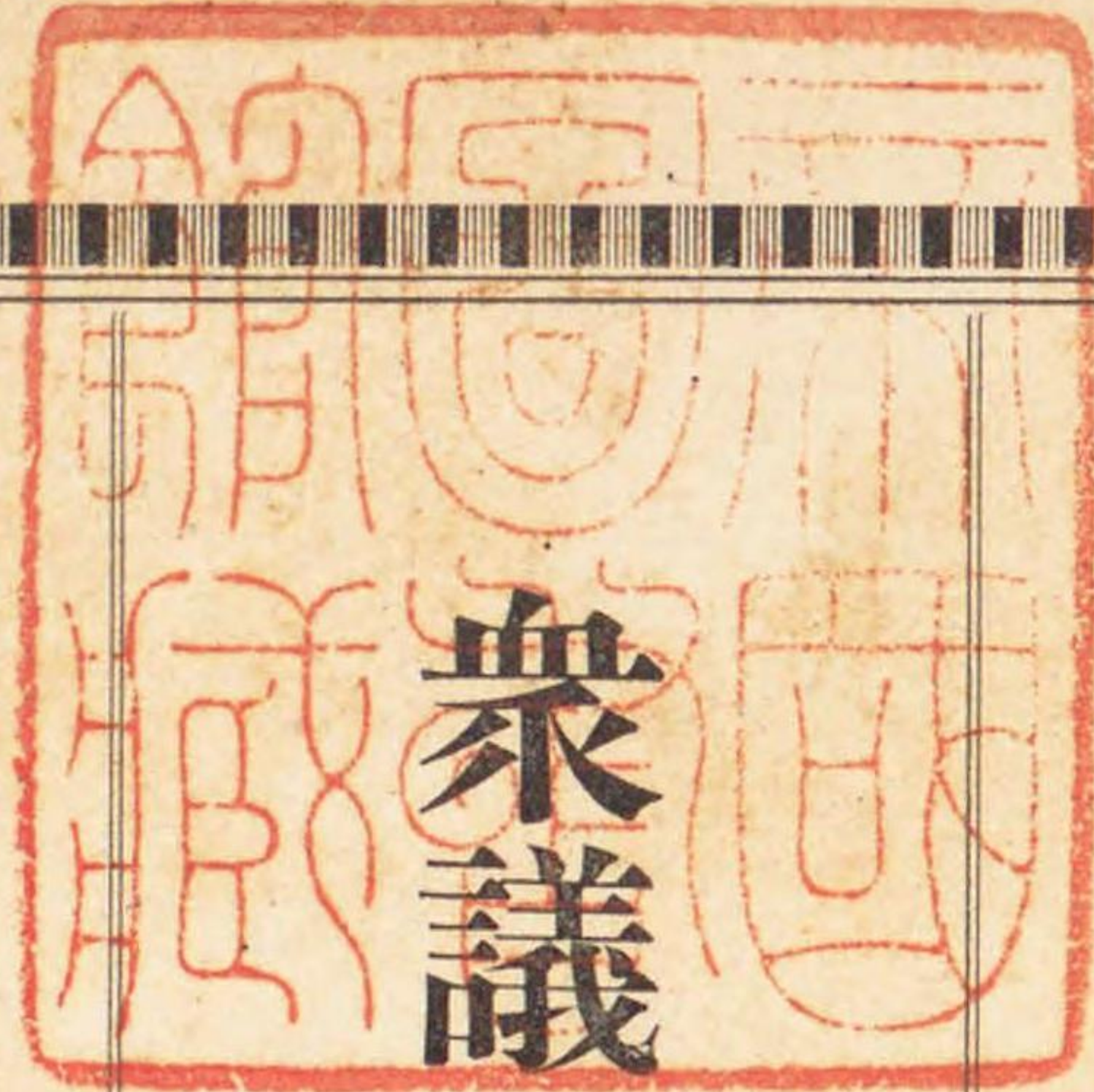
Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

143
5L 4

BZ-2-011
1200901600110







大正十三年六月改訂

衆議院委員會先例彙纂

全

衆議院事務局

大正
13. 7. 19
寄贈

13
7
寄贈本

BZ
2
011

例言

一本書ハ曩ニ刊行シタル衆議院委員會先例彙纂ヲ校訂増補シ
第一回議會乃至第四十八回議會ノ委員會及部會ノ先例ヲ輯
録ス

一本書ハ之ヲ章節ニ分チ各先例ニ號數ヲ付シ各號ノ下ニ其ノ
要旨ヲ記載シ更ニ各會期ノ事例ヲ掲載セリ

一本書ハ主トシテ最新ノ事例ヲ輯收スルノ方針ヲ採リ舊例ヲ
取捨シ以テ簡約ヲ期セリ

一委員ノ種類及員數、分科ノ區分並所屬員ノ配置、委員ノ選舉等
ニ關スル諸表ハ附録トシテ卷尾ニ掲載ス

衆議院委員會先例彙纂

目次

第一章	委員ノ組織	一	一
第一節	委員ノ種類及員數	一	一
第二節	委員ノ選舉及辭任	五	一
第三節	委員長及理事	一〇	三
第四節	分科	一七	四
第五節	主査	二一	五
第六節	委員中委員	二六	六
第二章	會議	三一	七
第一節	開會、休憩、延會及散會	三一	七
第二節	出席、發言	四〇	九
第三節	祕密會	六二	二
第四節	速記中止	七〇	三

目次

頁數

摘要頁數

第三章 議案ノ審査

第一節 審査ノ開始及期間

第二節 審査ノ方法

第三節 修正

第四節 審査ノ權限

第四章 決議

第一節 表決

第二節 議決

第五章 報告

第一節 委員長報告

第二節 少數意見

第三節 分科及委員中委員ノ報告

第六章 兩院協議會

第七章 部會

第八章 委員會議錄、參考書及衆議院公報

七五
七五
八六
一九
一三四
一六五
一六五
一八七
一九七
一九七
二一三
二一九
二二三
二四三
二四五
二五一
一四
一五
二一
二三
二五
二五
二九
三〇
三〇
三二
三三
三四
三八
三九

衆議院委員會先例彙纂

摘要

第一章 委員ノ組織

第一節 委員ノ種類及員數

- 一 常任委員ノ種類ハ豫算、決算、懲罰及請願委員ノ四種トス
- 二 常任委員ノ員數ハ豫算委員六十三名、決算委員四十五名、懲罰委員二十七名、請願委員四十五名トス
- 三 特別委員ハ議案其ノ他ノ事件ノ審査又ハ或事項ノ立案若ハ調査等ノ爲ニ之ヲ設ク
- 四 特別委員ノ員數ハ九名又ハ九ノ倍數ニ由ル
- 五 既ニ成立シタル特別委員ノ員數ヲ増加シタルコトアリ
- 六 二箇ノ特別委員ヲ併合シテ一委員ト爲シタルコトアリ

第二節 委員ノ選舉及辭任

摘要 第一章 委任ノ組織 第一節 委員ノ種類及員數 第二節 委員ノ選舉及辭任 二

頁數 一 一 一 一 二 三 三 三 四 五

- 七 常任委員ノ選舉ハ開院式ノ翌日ニ於テハルヲ例トス
- 八 常任委員ノ選舉ハ各部ニ於テ之ヲ行フ
- 九 常任委員選舉ノ手續ヲ省略シタルコトアリ
- 一〇 特別委員ノ選舉ハ委員付託決議ノ當日之ヲ行フ
- 一一 特別委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス
- 一二 委員ノ補闕選舉ハ前ノ選舉ト同一ノ方法ニ依ル
- 一三 常任委員選舉ノ結果ハ部長ヨリ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス
- 補闕選舉ノ場合亦同シ
- 一四 特別委員ノ指名ハ當日之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス
- 補闕ノ場合亦同シ
- 一五 常任委員ノ辭任ハ議長院議ニ諮リテ之ヲ許可ス但シ急ヲ要スル場合ハ議長之ヲ許可ス
- 一六 特別委員ノ辭任ハ議長之ヲ許可ス
- 一七 委員ノ辭任ハ其ノ許可前ニ委員會ノ審査終了スルトキハ之ヲ議長ノ手許ニ留置ク

一八 委員ノ辭任ヲ許可シタルモ解散ノ爲メ補闕選舉ヲ行フニ至ラサリシコトアリ

第三節 委員長及理事

- 一九 委員長及理事互選ノ日時ハ議長之ヲ指定シ其ノ補闕ノ場合ハ委員長又ハ理事之ヲ指定ス
- 二〇 委員長及理事ノ互選ハ委員選舉ノ翌日之ヲ行フ但シ特別ノ場合ハ選舉ノ當日又ハ翌日以後ニ之ヲ行フ
- 二一 委員長及理事互選ノ投票管理者ハ出席委員中ノ年長者之ニ當リ其ノ補闕ノ場合ハ委員長又ハ理事之ニ當ル
- 二二 委員長及理事ノ互選ハ推薦又ハ指名ニ依ルヲ例トス
- 二三 委員長及理事ノ互選ヲ投票ニ依リテ行ヒタル場合同數者二人以上アルトキハ抽籤又ハ年長順ヲ以テ當選者ヲ定ム
- (一) 抽籤ニ依リ當選者ヲ定メタル例
- (二) 年長者ヲ當選者ト爲シタル例
- 二四 委員長及理事互選ノ結果投票ノ最多數ヲ得タル者當選ヲ辭シタル場合ハ次點者ヲ

以テ當選者トス

二五 委員長及理事互選ノ結果ハ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス

一三

二六 理事ノ數ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ定ム

一四

二七 理事ノ數ヲ増加シタルコトアリ

一四

二八 委員長闕席又ハ退席ノ場合ハ理事之ヲ代理ス

一六

二九 委員長理事共ニ闕席又ハ退席ノ場合ハ委員長、理事又ハ委員ニ於テ委員中ヨリ代理者ヲ推薦ス

一六

三〇 委員長ノ辭任ハ委員會之ヲ決ス

一七

第四節 分科

一七

三一 豫算、決算及請願ノ各委員ニハ分科ヲ設ク

一七

三二 豫算委員ハ六分科、決算委員ハ五分科、請願委員ハ四分科ニ分ツヲ最近ノ例トス

一八

三三 分科ノ區分ヲ變更シタルコトアリ

一八

三四 補闕委員ハ前分科員ノ分科ニ屬ス

一九

三五 委員長ハ分科ニ屬セサルモ理事ハ之ニ屬ス
三六 分科員ハ他ノ分科ニ兼務スルコトヲ得

二〇

第五節 主査

二一

三七 分科ニハ主査ヲ置ク

二一

三八 主査ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス

二一

三九 主査互選ノ日時ハ委員長之ヲ指定スルヲ例トス

二一

(一) 分科所屬員ヲ定メタル日ニ指定シタル例

二二

(二) 分科所屬員ヲ定ムル前ニ指定シタル例

二二

(三) 分科所屬員ヲ定メタル後ニ指定シタル例

二三

四〇 主査ノ互選ハ委員長ノ指名ニ依ル

二三

四一 主査ノ辭任ハ委員長之ヲ許否シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決ス

二四

(一) 委員長任意ニ許可シタル例

二四

(二) 衆議ニ諮リテ許否シタル例

二四

四二 主査闕席又ハ退席ノ場合ハ主査又ハ分科員主査代理ヲ推薦ス

二五

- (一) 主査ノ指名シタル例 二五
- (二) 分科員ノ推薦シタル例 二五
- 四三 主査代理ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス 二六

第六節 委員中委員

- 四四 委員中ヨリ更ニ委員ヲ設クルコトヲ得 二六
- 四五 委員中委員ハ委員長ヲ置クヲ例トス 二七
- 四六 委員中委員ニ幹事ヲ設ケ委員長ノ職務ヲ行ハシメタルコトアリ 二七
- 四七 委員長(主査)委員中委員ノ一人トナリテ委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ 二七
- 四八 委員長委員中委員ノ會議ニ出席シ委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ 二八
- 四九 委員中委員ノ一人ニシテ委員長ノ職務ヲ行フ主査闕席ノ場合ハ委員ニ於テ主査代理ヲ推薦ス 二九
- 五〇 委員中委員ノ辭任ハ委員長之ヲ許否シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決ス 二九
- (一) 委員長ノ任意ニ許否シタル例 二九
- (二) 衆議ニ諮リテ許ササリシ例 三〇

第二章 會議

第一節 開會、休憩、延會及散會

- 五一 委員會議日ト議院會議日トハ會期ノ始ニ於テ之ヲ定ム 三一
- 五二 議院會議日ニ於テモ會期切迫ノ場合又ハ當日會議ナキカ若ハ會議アルモ議院ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開ク 三一
- 五三 議院ノ會議時間内ニ議院ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開ク 三二
- 五四 委員長理事互選ノ當日ハ會議ヲ開カサルノ例ナルモ特別ノ場合ハ引續キ會議ヲ開ク 三二
- (一) 急ヲ要スル場合ニ開會シタル例 三二
- (二) 會期切迫ノ場合ニ開會シタル例 三三
- 五五 休會中ニ委員會ヲ開キタルコトアリ 三三
- (一) 年末年始ノ爲休會シタル場合ニ委員會ヲ開キタル例 三三
- (二) 弔意ヲ表スル爲休會シタル場合ニ委員會ヲ開キタル例 三四
- 五六 日曜日又ハ祝祭日ニ委員會ヲ開キタルコトアリ 三四

五七 開會ノ日時ハ委員長(主査)之ヲ定メ若ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決シ又ハ議長之ヲ指定ス

三五

五八 請願委員及其ノ分科ニ於テハ會議日時ヲ豫定ス

三五

五九 分科ノ開會日時ハ委員長若ハ主査之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ム

三六

六〇 委員中委員ノ開會日時ハ委員中委員長之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ム

三六

六一 開會ノ通知ハ衆議院公報ヲ以テス但シ特別ノ場合ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

三七

六二 委員ニ闕員アルモ會議ヲ開キタルコトアリ

三七

六三 委員會議中協議又ハ報告書起草ノ爲協議會ヲ開キタルコトアリ

三七

(一) 各員協議ヲ爲ス爲開キタル例

三八

(二) 政府ト協議スル爲開キタル例

三八

(三) 報告書ヲ起草スル爲開キタル例

三八

六四 休憩ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

三九

六五 延會ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

三九

六六 散會ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

三九

第二節 出席、發言

四〇

六七 委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ定刻前ニ届出ツヘキコトヲ議決シタルコトアリ

四〇

六八 發言ハ委員長(主査)ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

四一

六九 發言ハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ例トス

四二

七〇 發言ノ許可ハ通告ノ順序ニ依リ順序不明ナルトキハ委員長ノ決スル處ニ依ル

四三

七一 豫算委員會ニ於ケル質問ハ通告ノ順序ニ依リ各派交互ニ之ヲ爲スヲ例トス

四四

七二 他人ノ發言中其ノ發言ニ關聯スル事項又ハ緊急事件若ハ議事進行ニ關シ發言ヲ許可シタルコトアリ

四四

七三 議題外ノ事項ニ涉ル發言ハ之ヲ差止ム但シ關聯セル事項ニ付テハ之ヲ許可ス

四五

(一) 發言ヲ差止メタル例

四五

(二) 發言ヲ許可シタル例

四六

七四 散會宣告後ハ發言ヲ許サス

四七

- 七五 委員長(主査)討議ニ與ラムトスルトキ其ノ席ニ於テ發言シタルコトアリ 四八
- 七六 委員長分科又ハ委員中委員ノ會議ニ出席シ發言シタルコトアリ 四八
 - (一) 分科會ニ出席發言シタル例 四九
 - (二) 委員中委員ノ會議ニ出席發言シタル例 四九
- 七七 委員長他ノ委員會ニ出席シ自己所屬ノ委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ説明シタルコトアリ 五〇
- 七八 委員會ニ於テ議案提出者ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ 五〇
- 七九 議案提出者ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 五一
- 八〇 請願委員會ハ豫メ紹介議員ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム 五一
- 八一 請願紹介議員ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 五二
- 八二 請願紹介議員出席セサルトキ他ノ議員代ツテ説明シタルコトアリ 五二
- 八三 請願紹介議員ハ出席説明ヲ爲スニ際シ政府ニ質問ヲ爲スコトヲ得 五三
- 八四 議長委員會ニ出席シ發言シタルコトアリ 五四
- 八五 委員會ニ於テ委員ニ非サル議員ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ 五五

八六 委員ニ非サル議員出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 五六

- (一) 委員長任意ニ許可シタル例 五六
- (二) 衆議ニ諮リテ許可シタル例 五七

八七 委員ニ非サル議員ノ發言ハ討論ニ互ルコトヲ得ス 五七

八八 國務大臣及政府委員ト雖發言ヲ爲スニハ委員長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス 五八

八九 委員會ニ於テ必要アルトキハ國務大臣及政府委員ノ出席説明ヲ求ム 五八

九〇 政府委員其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互リ答辯ヲ爲シタルコトアリ 五八

九一 委員會ニ於テ政府委員ニ非サル官吏ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ 五九

九二 政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス 六〇

- (一) 委員長任意ニ許可シタル例 六一
- (二) 衆議ニ諮リテ許可シタル例 六一

九三 政府委員ニ非サル官吏ノ退場ヲ命シタルコトアリ 六二

第三節 秘密會

九四 秘密會ハ委員長必要ト認ムルトキ若ハ委員會ノ決議又ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開ク

- (一) 委員長必要ト認メ開キタル例
- (二) 委員會ノ決議ヲ以テ開キタル例
- (三) 政府ノ要求ニ依リ開キタル例

九五 秘密會ハ軍事、外交、政策、協議又ハ議員ノ身上ニ關スル事項等ニ付之ヲ開ク

- (一) 軍事上ノ秘密ニ關シテ秘密會ト爲シタル例
- (二) 外交上ノ秘密ニ關シテ秘密會ト爲シタル例
- (三) 政策上ノ秘密ニ關シテ秘密會ト爲シタル例
- (四) 協議スル爲秘密會ト爲シタル例
- (五) 議員ノ身上ニ關スル爲秘密會ト爲シタル例

九六 懲罰委員會ハ秘密會トス

六二
六三
六三
六三
六三
六三
六三
六四
六四
六五
六五
六六
六六

九七 秘密會ニ於テ議員ノ傍聽ヲ禁止シタルコトアリ

六六

九八 秘密會ニ於テハ所管以外ノ政府委員ノ退場ヲ命シタルコトアリ

六八

九九 秘密會ノ速記(筆記)ハ之ヲ刊行セス

六八

第四節 速記中止

七〇

一〇〇 秘密會ニ非サル場合ニ委員長(主査)必要ト認メタル爲又ハ委員會ノ決議ニ依リ速記(筆記)ヲ中止シタルコトアリ

七〇

(一) 委員長(主査)必要ト認メ中止シタル例

七〇

(二) 委員會ノ決議ニ依リ中止シタル例

七一

一〇一 軍事、外交、政策又ハ協議等ニ關スル場合ニハ速記ヲ中止スルヲ例トス

七一

(一) 軍事上ノ秘密ニ關スル爲中止シタル例

七一

(二) 外交上ノ秘密ニ關スル爲中止シタル例

七一

(三) 政策上ノ秘密ニ關スル爲中止シタル例

七二

(四) 協議又ハ懇談ヲ要スル爲中止シタル例

七二

摘要 第二章 會議 第四節 速記中止

第三章 議案ノ審査

第一節 審査ノ開始及期間

- 一〇二 豫算案ノ審査ハ提出ノ報告アリタルトキヨリ之ヲ開始ス 七五
- 一〇三 豫算案ノ審査期間ハ議長ノ報道又ハ衆議院公報掲載ノ日ヨリ起算ス 七六
- 一〇四 決算ノ審査ハ提出ノ報告アリタルトキヨリ之ヲ開始ス 七六
- 一〇五 前議會ニ於テ決算ノ審査ヲ終ラサル場合ニハ次ノ會期ニ委員長任意ニ審査ヲ開始シ又ハ議長其ノ審査ヲ命ス 七七
- (一) 委員長任意ニ開始シタル例 七七
- (二) 議長審査ヲ命シタル例 七八
- 一〇六 懲罰委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ 七九
- 一〇七 請願ノ審査ハ文書表調製後之ヲ開始スルヲ例トス 七九
- 一〇八 請願ノ緊急審査ヲ命シタルコトアリ 八〇
- 一〇九 分科ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ 八一
- (一) 委員長任意ニ期限ヲ附シタル例 八一

- (二) 衆議ニ諮リテ期限ヲ附シタル例 八一
- 一一〇 特別委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ 八二
- (一) 付託ノ際ニ期限ヲ附シタル例 八二
- (二) 審査中ニ期限ヲ附シタル例 八三
- 一一一 委員中委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ 八三
- (一) 委員長任意ニ審査期限ヲ附シタル例 八三
- (二) 衆議ニ諮リテ審査期限ヲ附シタル例 八四
- 一一二 審査期限ヲ延期シタルコトアリ 八五
- (一) 議院ニ於テ定メタル審査期限ヲ延期シタル例 八五
- (二) 委員長ノ定メタル審査期限ヲ延期シタル例 八五

第二節 審査ノ方法

- 一一三 政府提出案ニ付テハ審査ノ始ニ於テ國務大臣又ハ政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス 八六
- 一一四 議員提出案ニ付テハ提出者ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス 八六

- 一一五 政府提出案ニ付テハ國務大臣若ハ政府委員ニ質問ヲ爲シタル後討議ニ移ルヲ例トス 八六
- 一一六 貴族院提出案又ハ議員提出案ニ付テハ政府委員ニ質問ヲ爲シタル後討議ニ移ルヲ例トス 八七
- 一一七 質問及答辯ハ口頭ヲ以テス 八七
- 一一八 質問ハ大體ヨリ逐條ニ入り若ハ兩者ヲ同時ニ又ハ豫メ綱目ヲ定メテ之ヲ爲ス 八八
- 一一九 質問終了ノ宣告ハ委員長(主査)任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ爲ス 八九
- 一二〇 質問終了ノ宣告後ハ質問ヲ許サス 八九
- 一二一 貴族院ノ修正ヲ經タル議案ハ之ヲ原案トシテ審査スルヲ例トスルモ政府ノ原案ト併セテ議題ニ供シタルコトアリ 八九
- 一二二 同種ノ政府提出案ト議員提出案ト同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ兩者ヲ同時ニ又ハ其ノ孰レカノ一案ヲ基礎トシテ審査ヲ爲ス 九〇
- (一) 政府提出案ヲ基礎ト爲シタル例 九一
- (二) 議員提出案ヲ基礎ト爲シタル例 九一
- (三) 同時ニ審査ヲ爲シタル例 九一

- 一二三 同種ノ貴族院提出案ト議員提出案ト同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テ貴族院提出案ヲ基礎トシテ審査シタルコトアリ 九一
- 一二四 別種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テ衆議ニ諮リテ審査ノ順序ヲ定メタルコトアリ 九二
- 一二五 別種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ各案ヲ同時ニ審査シタルコトアリ 九四
- 一二六 同種ノ議員提出案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ各案ヲ同時ニ審査シ又ハ一案ヲ基礎トシテ審査ス 九五
- (一) 一案ヲ基礎トシテ審査シタル例 九五
- (二) 數案ヲ同時ニ審査シタル例 九五
- 一二七 付託ヲ受ケサル他ノ議案ト牽聯スル爲審査ヲ延期シタルコトアリ 九六
- (一) 他ノ議案ノ審査終了迄延期シタル例 九七
- (二) 他ノ議案ノ付託ヲ受クル迄延期シタル例 九八
- 一二八 委員分擔シテ審査ヲ爲シタルコトアリ 九八
- 一二九 委員會ノ審査ニ資スル爲總議員ヨリ意見ヲ徴シタルコトアリ 一〇〇

- 一三〇 牽聯セル議案ヲ別個ノ委員ニ付託セラレタル爲兩委員會シテ審査ヲ爲シタルコトアリ 一〇一
- 一三一 討論ハ大體ヨリ逐條ニ入り又ハ同時ニ之ヲ爲シ若ハ直ニ逐條討論ヲ爲シ又ハ主要ナル事項ニ付テ之ヲ爲ス 一〇三
- 一三二 討論ヲ用ヒスシテ直ニ決議ヲ爲シタルコトアリ 一〇三
- 一三三 討論終局ノ宣告ハ委員長(主査)衆議ニ諮リテ之ヲ爲ス 一〇四
- 一三四 討論終局ノ宣告後ハ討論ヲ許サス 一〇四
- 一三五 豫算案ハ總會ヲ開キ大體ノ質問ヲ爲シタル後分科ニ付託シ更ニ總會ニ於テ之ヲ審査スルヲ例トス 一〇五
- 一三六 豫算案ノ審査日割ハ會議ノ始ニ於テ豫メ之ヲ定ム 一〇五
- 一三七 豫算追加案ハ特別ノ理由アル場合ハ分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ之ヲ審査シ又ハ委員中委員ニ付託シ若ハ總會ヲ開カス直ニ分科ニ付託シテ審査セシメタルコトアリ 一〇六
- (一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シタル例 一〇六
- (二) 委員中委員ニ付託シタル例 一〇七

- (三) 總會ヲ開カスシテ分科ニ付託シタル例 一〇七
- 一三八 豫算案ハ歳出豫算、特別會計豫算、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、歳入豫算、豫算條文ノ順序ニ依リ若ハ主査報告ノ順序ニ依リ又ハ豫算案全部ヲ一括シテ討議ニ付ス 一〇八
- (一) 主査報告ノ順序ニ依リタル例 一〇九
- (二) 豫算案全部ヲ一括シタル例 一〇九
- 一三九 決算ハ會計検査院ノ検査報告ニ基キ之ヲ審査ス 一〇九

- 一四〇 決算ノ審査ハ總會ヲ開キ大體ノ質問ヲ爲シタル後分科ニ付託シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ニ於テ審査スルヲ例トスルモ分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シ若ハ委員中委員ヲ設ケテ之ヲ審査セシメ又ハ分科ニ付託スルモ其ノ報告ヲ待タス直ニ總會ニ於テ審査シ若ハ各分科聯合シテ審査ヲ爲シタルコトアリ 一〇九
- (一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シタル例 一一〇
- (二) 委員中委員ヲ設ケ審査シタル例 一一〇
- (三) 分科ノ報告ヲ待タス總會ニ於テ審査シタル例 一一一
- (四) 各分科聯合シテ審査シタル例 一一一

一四一 請願ノ審査ハ文書表作製ノ後分科ニ付託シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ於テ審査スルヲ例トスルモ分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シ若ハ分科ノ報告ヲ待タスシテ總會ニ於テ審査シ又ハ委員中委員ニ付託シ若ハ理事ニ付託シテ審査ヲ爲サシメタルコトアリ

(一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査ヲ爲シタル例

(二) 分科ノ報告ヲ待タスシテ總會ニ於テ審査ヲ爲シタル例

(三) 委員中委員ニ付託シタル例

(四) 理事ニ付託シタル例

一四二 請願紹介議員出席セサル場合ニ請願書ニ依リテ審査シタルコトアリ

一四三 請願議事日程掲載ノ順序ハ分科ニ在リテハ所管ノ順序ニ依リ總會ニ在リテハ分科ノ順序ニ依ル

一一五

一四四 請願ハ日程ノ順序ニ依リ之ヲ審査ス但其ノ順序ヲ變更シ若ハ一括シテ之ヲ審査スルコトヲ得

一一五

(一) 順序ヲ變更シタル例

(二) 一括シテ審査シタル例

一一六

一一六

一四五 請願委員會ノ日程ハ之ヲ追加スルコトヲ得
一四六 分科ニ於テ既ニ審査ヲ終リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ直ニ總會ニ於テ審査ス
一四七 既ニ審査ヲ終リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ其ノ審査ヲ省略シ直ニ議院ニ報告ス
一四八 請願中ノ一事項カ他ノ分科ノ所管ニ跨ル場合ト雖之ヲ審査ス

一一七

一一八

一一九

一一九

第三節 修正

一四九 修正ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

一一九

一五〇 案ヲ具セサル修正意見ヲ議題ニ供シタルコトアリ

一二〇

一五一 修正動議ハ一人以上ノ賛成ヲ以テ成立ス

一二〇

一五二 議案ノ分割、併合、擴張又ハ性質若ハ名稱ノ變更ヲ修正ト認ム

一二〇

(一) 議案ヲ分割シタル例

一二一

(二) 數議案ヲ併合シタル例

一二一

(三) 議案ノ事項ヲ擴張シタル例

一二五

(四) 議案ノ性質ヲ變更シタル例

一二六

- (い) 上奏案ヲ建議案ト爲シタルモノ 一二六
- (ろ) 法律案ヲ建議案ト爲シタルモノ 一二六
- (は) 廢止法律案ヲ變更シテ改正法律案トシ或條項ニ修正ヲ加ヘタルモノ 一二六
- (五) 議案ノ名稱ヲ變更シタル例 一二六
- 一五三 分科ノ報告ハ修正案ト認ム 一二七
- 一五四 委員中委員ヲ設ケ修正案文ヲ起草セシメタルコトアリ 一二八
- (一) 決議ノ趣旨ニ從ヒ案文ヲ起草セシメタル例 一二八
- (二) 議案ノ主旨ヲ調査シテ案文ヲ起草セシメタル例 一二九
- 一五五 委員長ノ起草セル案文又ハ各委員ノ協議ニ依リテ成リタル案文ヲ修正案ト爲シタルコトアリ 一二九
- (一) 委員長ノ起草セル案文ヲ修正案ト爲シタル例 一三〇
- (二) 各委員ノ協議ニ依リテ成リタル案文ヲ修正案ト爲シタル例 一三〇
- 一五六 委員會ニ於テ原案修正案共ニ否決トナリタル場合ニ委員中委員ヲ設ケ修正案ヲ起草セシメ若ハ委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シ又ハ先ニ否決セラレタル案ヲ復活シテ議題ニ供シタルコトアリ 一三〇

- (一) 委員中委員ヲ設ケタル例 一三〇
- (二) 委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シタル例 一三一
- (三) 先ニ否決セラレタル案ヲ議題ニ供シタル例 一三一
- 一五七 修正意見ハ其ノ提出者退席又ハ闕席ノ場合ニ於テモ之ヲ採決ス 一三二
- 一五八 修正案ノ撤回ヲ許可ス 一三三

第四節 審査ノ權限

- 一五九 豫算委員ニ於テ豫算案編成方法ノ不當ヲ決議シ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求シタルコトアリ 一三四
- 一六〇 豫算案ニ關係アル法律案ノ議決前若ハ緊急勅令ノ承諾前又ハ勅令ノ發布前ニ豫算案ヲ議決シタルコトアリ 一三五
- 一六一 豫算款項ノ金額ヲ増加スル必要アルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス 一三九
- 一六二 既定繼續費ノ總額、年限、金額ノ改定ヲ必要トスルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス 一四一
- 一六三 決算ニ付テハ其ノ不當若ハ不法ナラサルヤヲ審査ス 一四一

一六四 決算委員ニ於テ不法又ハ不當ト認メタル事件ニ對シ政府ノ責任ヲ審査シタルコトアリ

一六五 豫算超過又ハ豫算外支出ニ付承諾ヲ求ムル件ニ對シ法律上ノ關係ヲ審査シタルコトアリ

一六六 同一人ノ二箇ノ懲罰事犯ニ對シ二箇ノ懲罰ヲ併科シタルコトアリ

一六七 請願委員ハ規程ニ合ハサル請願ヲ却下ス

一六八 請願書ハ其ノ一部不備ナルモ之ヲ審査ス

一六九 請願委員ハ請願書ノ取下ヲ許可ス

一七〇 請願委員ハ請願ヲ分割シテ其ノ一部若ハ全部ヲ採擇スルコトヲ得

一七一 請願ヲ政府又ハ他ノ委員ニ參考トシテ送付スヘキモノト議決スルコトヲ得

一七二 法律制定ニ關スル請願ニ付二箇ノ法律案ヲ具シテ報告シタルコトアリ

一七三 請願處理ノ結果ニ關シ政府ニ報告ヲ求メタルコトアリ

一七四 請願委員ノ質疑及議長ノ回答

一七五 表決ハ單ニ異議ノ有無ヲ諮リ又ハ舉手、起立、氏名點呼若ハ無名投票ニ依ル

一七六 採決ノ手續ヲ省略スルコトアリ

一七七 表決ニ付スヘキ問題ハ委員長之ヲ定メ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決ス

一七八 分科ノ修正案ト委員ノ修正案トアル場合ニハ委員ノ修正案ヲ先ニ採決スルヲ例トス

一七九 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八〇 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八一 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八二 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八三 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八四 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八五 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八六 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八七 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八八 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一八九 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九〇 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九一 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九二 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九三 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九四 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九五 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九六 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

一九七 數箇ノ修正案アル場合ニハ原案ニ遠キモノヨリ順次之ヲ採決ス其ノ順序ノ分明トス

ナラサルトキハ委員長(主査)之ヲ定ム

一六七

一八〇 修正案ハ原案ニ先テ之ヲ採決スルヲ例トス

一六九

一八一 否決説(削除説)ヲ原案若ハ修正案ニ先テ採決シタルコトアリ

一七〇

一八二 承諾ヲ求ムル件ハ承諾説ニ付テ採決スルヲ例トスルモ先ニ不承諾説ヲ採決シタルコトアリ

一七一

(一) 承諾説ヲ先ニ採決シタル例

一七一

(二) 不承諾説ヲ先ニ採決シタル例

一七二

一八三 數箇ノ動議成立スルトキハ委員長採決ノ順序ヲ定ムルヲ例トス

一七二

一八四 延期ノ動議ハ他ノ動議ニ先テ採決スルヲ例トス

一七三

一八五 數議案ヲ一括シテ採決シタルコトアリ

一七三

一八六 一箇ノ議案ト他ノ議案ノ一部トヲ一括シテ採決シタルコトアリ

一七四

一八七 一箇ノ議案ヲ分割シテ採決シタルコトアリ

一七五

一八八 一箇條ヲ數箇ニ分割シテ採決シタルコトアリ

一七五

一八九 數箇ノ修正意見ヲ一括シテ採決シタルコトアリ

一七六

一九〇 數箇ノ修正案中共通事項アル場合ニ於テ其ノ共通事項ヲ一括シテ先ニ採決シ又

ハ後ニ採決シタルコトアリ

一七六

一九一 委員長ハ表決ニ加ハラサルヲ例トス

一七七

一九二 表決ノ結果可否同數トナリタル場合ニ於ケル委員長(主査)ノ裁決ハ一様ナラス

一七七

(一) 消極ニ決シタル例

一七八

(二) 積極ニ決シタル例

一七八

一九三 分科ノ兼務員ハ表決ニ加ハララス

一七九

一九四 表決ノ結果ニ對シ異議アル場合ニ於テハ更ニ採決スルヲ例トス

一七九

(一) 同一方法ニ依リ更ニ採決シタル例

一八〇

(二) 前ノ採決方法ト異リタル方法ニ依リ採決シタル例

一八〇

(三) 反對説ニ付採決シタル例

一八一

一九五 討論終局シタル場合ニ採決ヲ延期シタルコトアリ

一八一

(一) 委員長任意ニ延期シタル例

一八一

(い) 政府ノ回答ヲ待ツ爲

一八一

(ろ) 政府ヨリ參考書ノ送付ヲ待ツ爲

一八二

(は) 牽聯セル他ノ議案(條項)ノ決議ヲ待ツ爲

一八二

- (に) 提出者ノ意見ヲ聞ク爲 一八二
- (ほ) 請願紹介議員ノ出席説明ヲ待ツ爲 一八二
- (へ) 熟考ヲ要スル爲 一八三
- (と) 取調ヲ要スル爲 一八三
- (二) 委員長衆議ニ諮リテ延期シタル例 一八三
- (い) 國務大臣又ハ政府委員ノ出席ヲ待ツ爲 一八三
- (ろ) 政府ノ意見ヲ聞ク爲 一八四
- (は) 政府ノ調査報告ヲ待ツ爲 一八四
- (に) 政府ヨリ参考書ノ送付ヲ待ツ爲 一八四
- (ほ) 牽聯セル他ノ議案ノ決議ヲ待ツ爲 一八五
- (へ) 牽聯セル他ノ議案ノ付託ヲ待ツ爲 一八五
- (ち) 修正案ノ提出ヲ待ツ爲 一八六
- (り) 請願紹介議員ノ出席説明ヲ待ツ爲 一八六
- (ぬ) 熟考ヲ要スル爲 一八六
- (ぬ) 取調ヲ要スル爲 一八七

第二節 議決

- 一九六 議案ハ其ノ全體ヲ一括シテ議決シ又ハ各條項毎ニ議決ノ後更ニ其ノ全體ヲ一括シテ議決シ若ハ特ニ第三讀會ノ手續ヲ經テ議決ス 一八七
- (一) 全體ヲ一括シテ議決シタル例 一八八
- (二) 各條項毎ニ議決ノ後更ニ其ノ全體ヲ一括シテ議決シタル例 一八八
- (三) 各條項毎ニ議決ノ後更ニ第三讀會ノ手續ヲ經テ議決シタル例 一八九
- 一九七 再議ハ之ヲ許可シ又ハ許可セサリシコトアリ 一八九
- (一) 許可シタル例 一九〇
- (い) 委員長任意ニ許可シタル例 一九〇
- (ろ) 衆議ニ諮リテ之ヲ許可シタル例 一九〇
- (二) 許可セサリシ例 一九一
- (い) 委員長任意ニ許可セサリシ例 一九一
- (ろ) 衆議ニ諮リテ之ヲ許可セサリシ例 一九二
- 一九八 上奏案ヲ附シテ議決シタルコトアリ 一九二

一九九 條件又ハ希望若ハ警告ヲ附シテ議決シタルコトアリ

(一) 條件ヲ附シタル例

(二) 希望ヲ附シタル例

(三) 警告ヲ附シタル例

二〇〇 法文ノ條項ニ闕字ヲ存シテ議決シタルコトアリ

二〇一 修正議決ノ整理ハ委員長ニ一任スルヲ例トス

第五章 報告

第一節 委員長報告

二〇二 議案ノ審査終了スルトキハ委員長ヨリ報告書ヲ議長ニ提出ス

二〇三 報告書ニハ審査ノ結果ノミヲ記載スルヲ例トスルモ理由ヲ附シタルコトアリ

二〇四 豫算案、決算及請願ニ關スル報告書ノ書方ハ特種ノ方法ニ依ル

(一) 豫算案ニ關スル報告書ノ書方

(二) 決算ニ關スル報告書ノ書方

一九三
一九三
一九四
一九五
一九六
一九六
一九七
一九七
一九七
一九七
一九八
一九八
一九八

(三) 請願ニ關スル報告書ノ書方

二〇五 資格審査ニ關スル報告書ノ書方ハ一定セス

二〇六 報告書ノ訂正ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

(一) 書面ヲ以テ訂正シタル例

(二) 口頭ヲ以テ訂正シタル例

(い) 委員長ヨリ訂正シタル例

(ろ) 委員ヨリ訂正シタル例

二〇七 議長ニ提出シタル報告書ヲ撤回シタルコトアリ

(一) 議長任意ニ撤回ヲ許可シタル例

(二) 議長院議ニ諮リテ撤回ヲ許可シタル例

二〇八 委員長ハ議案カ議院會議ノ議題トナリタルトキ口頭報告ヲ爲ス

二〇九 議事日程以外ノ議案ニ付報告ヲ爲ス爲議事日程ノ變更ヲ求ムルハ委員長ノ任意

ニ依リ若ハ委員會ノ決議ニ基キ委員長之ヲ爲ス

二一〇 委員ヲシテ委員長ニ代テ報告ヲ爲サシメントスルトキハ委員長任意ニ之ヲ倚託

シ又ハ委員會ノ決議ヲ經テ之ヲ倚託ス

一九九
一九九
二〇二
二〇三
二〇三
二〇三
二〇三
二〇三
二〇三
二〇四
二〇四
二〇五
二〇五
二〇五
二〇六
二〇六
二〇六

- (一) 委員長任意ニ倚託シタル例 二〇七
- (二) 委員會ノ決議ヲ經テ倚託シタル例 二〇七
- 二〇八 委員長審査終了前ニ口頭ヲ以テ委員會ノ經過ヲ議院ニ報告シタルコトアリ 二〇八
- 二〇九 委員長任意ニ報告シタル例 二〇九
- (一) 委員會ノ決議ニ依リ報告シタル例 二一〇
- (二) 特ニ議院ノ決議ニ基キ報告ヲ爲シタル例 二一〇
- (三) 委員會カ其ノ報告ヲ遅延シタル爲議院ニ於テ期限ヲ定メテ報告ヲ爲サシメタルコトアリ 二一〇
- 二一一 審査終了セサルトキハ報告ヲ爲サス 二一一

第二節 少數意見

- 二一四 少數意見ハ少數者ノ連名ヲ以テ議長ニ提出ス 二一四
- (一) 豫告ヲ爲シタル例 二一三
- (二) 豫告ヲ爲ササリシ例 二一三
- (三) 場合ニ依リテハ少數意見ヲ提出スヘキ旨ヲ豫告シタル例 二一四

- 二一五 少數意見書ニハ意見ノ主旨ヲ記載ス 二一五
- 二一六 委員長少數意見者中ニ加ハリタルコトアリ 二一六
- 二一七 少數意見ノ説明ハ委員長ノ報告アリタル後之ヲ爲ス 二一六
- 二一八 委員長少數意見者ノ一人トシテ少數意見ヲ説明シタルコトアリ 二一六
- (一) 委員長報告ニ引續キ少數意見ノ説明ヲ爲シタル例 二一七
- (二) 委員長其ノ報告ヲ理事若ハ委員ニ倚託シ自ラ少數意見ノ説明ヲ爲シタル例 二一七
- 二一九 少數意見書ヲ撤回シタルコトアリ 二一七
- (一) 議長任意ニ撤回ヲ許可シタル例 二一八
- (二) 議長院議ニ諮リテ撤回ヲ許可シタル例 二一八

第三節 分科及委員中委員ノ報告

- 二二〇 分科ノ審査ヲ終リタルトキハ主査ヨリ其ノ結果ヲ委員長ニ報告ス 二二九
- 二二一 委員中委員ノ審査終リタルトキハ委員中委員長ヨリ其ノ結果ヲ委員會ニ報告ス 二二九
- 二二二 分科報告ノ訂正ハ主査之ヲ爲ス 二二〇
- 二三三 主査口頭報告ヲ省略シタルコトアリ 二二〇

第六章 兩院協議會

- 二二四 兩院協議委員ハ議場ニ於テ選舉シ又ハ議長之ヲ指名ス
- 二二五 兩院協議會議長及副議長互選ノ期日ハ議長之ヲ指定ス
 - (一) 委員選舉ノ翌日ニ行ヒタル例
 - (二) 委員選舉ノ當日ニ行ヒタル例
- 二二六 兩院協議會議長及副議長ノ互選ハ推薦ニ依ルヲ例トス
- 二二七 國務大臣及政府委員兩院協議會ニ出席シタルコトアリ
 - (一) 國務大臣出席シタル例
 - (二) 政府委員出席シタル例
- 二二八 兩院協議會ニ於テ政府委員ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ
- 二二九 兩院協議會規程取扱方ニ關スル兩院議長ノ協定
- 二三〇 兩院協議會ニ於ケル議案ハ協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ヲ原案トシ其ノ請求ヲ爲シタル議院ノ議決案ヲ修正案ト認ムルヲ例トス
 - (一) 協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ヲ原案ト認ムルニ決シタル例

(二) 協議會ノ請求ヲ爲シタル議院ノ議決案ヲ修正案ト認ムルニ決シタル例 二二九

二三一 兩院協議會ノ議事ハ兩院議決ノ一致セサル事項及當然影響ヲ受クヘキ事項ノ外ニ涉ルコトヲ得ス 二三〇

二三二 兩院協議會ニ於ケル各院ノ議決ニ關スル理由ノ説明ハ便宜協議會ノ請求ヲ爲シタル議院ノ委員先ニ之ヲ爲スヲ例トスルモ其ノ請求ニ應シタル議院ノ委員先ニ之ヲ爲シタルコトアリ 二三一

(一) 協議會ノ請求ヲ爲シタル議院ノ委員先ニ説明シタル例 二三一
(二) 協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ委員先ニ説明シタル例 二三二

二三三 兩院協議委員中委員ヲ設ケタルコトアリ 二三二

二三四 委員中委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ 二三三

二三五 兩院協議會ニ於ケル採決ノ順序ハ先ツ修正案ニ付テ採決シ次ニ協議會ヲ請求シタル議院ノ議決案ニ付テ採決シ終ニ協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ニ付採決ス 二三三

二三六 表決ノ際超過シタル委員ノ數ヲ對比スルニハ當日ノ議長ヲ加ヘテ計算シ其ノ超過シタル委員ヲ減除スル場合ニハ議長ヲ除キテ抽籤ヲ行フ 二三五

二三七 表決ノ方法ハ無名投票ニ依ルヲ例トス 二三七

- (一) 異議ノ有無ヲ諮リタル例 二三七
- (二) 採決ノ手續ヲ略シタル例 二三八
- (三) 舉手ヲ以テ採決シタル例 二三八
- (四) 起立ヲ以テ採決シタル例 二三九
- 二三八 修正議決ノ整理ハ議長ニ一任スルヲ例トス 二三九
- 二三九 報告ハ各院ノ協議會議長各一通ヲ作り其ノ所屬ノ議院ニ提出ス 二四〇
- 二四〇 報告書ノ書方ハ一定セス 二四〇
- (一) 法律案
 - (い) 協議會ノ請求ニ應シタル議院ノ議決案ノ通議決シタルトキハ某院議決案ノ通議決スト書スルヲ例トスルモ特ニ全文ヲ書シタルコトアリ 二四〇
 - (ろ) 協議會ノ請求ヲ爲シタル議院ノ議決案ノ通議決シタルトキ其ノ全文ヲ書シタルコトアリ某院議決案ノ通議決スト書シタルコトアリ 二四〇
 - イ、全文ヲ書シタル例 二四一
 - ロ、某院議決案ノ通議決スト書シタル例 二四一
 - (は) 一部ハ甲議院議決案ノ通、一部ハ乙議院議決案ノ通議決シタルトキ某條ハ 二四一

- (に) 甲議院議決案ノ通、某條ハ乙議院議決案ノ通ト書シタルコトアリ 二四一
- (ほ) 成案ノ成立セサルトキ某議院ノ議決案ヲ否決スヘキモノト書シタル例 二四二
- (ほ) 兩院ノ議決案ト異リタル議決ヲ爲シタルトキ其ノ全文ヲ書シタルコトアリ 二四二
- イ、全文ヲ書シタル例 二四二
- ロ、一部ハ全文ヲ書シ一部ハ某院議決案ノ通ト書シタル例 二四二
- (へ) 政府案ノ通議決シタルトキハ政府案ノ通ト書シタルコトアリ其ノ全文ヲ書シタルコトアリ 二四二
- イ、政府案ノ通ト書シタル例 二四二
- ロ、其ノ全文ヲ書シタル例 二四三
- (二) 豫算案
 - (い) 某院議決案ノ通議決シタルトキ某院議決案ノ通ト書シタル例 二四三
 - (ろ) 一部ハ甲議院一部ハ乙議院ノ議決案通議決シタルトキ某件ハ甲議院議決ノ通其ノ他ハ乙議院議決案ノ通ト書シタル例 二四三
 - (は) 兩院ノ議決案ト異ナリタル議決ヲ爲シタルトキ其ノ全文ヲ書シ從テ生スヘキ影響ヲ整理シテ報告シタル例 二四三

- 二四一 兩院協議會ノ經過及結果ハ議場ニ於テ協議會議長之ヲ報告ス
- 二四二 協議會ノ議事ニハ速記ヲ附ス

二四四

第七章 部會

二四五

- 二四三 議員ノ部屬定マリタルトキハ部長及理事ノ選舉ヲ行フ
- 二四四 召集ニ應セサル議員ハ部長及理事ニ選舉セサルヲ例トス
- 二四五 部長及理事ノ互選ハ推薦ニ依ルヲ例トス
- 二四六 部ニ於ケル部長及理事選舉ノ結果ハ投票管理者ヨリ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス
- 二四七 部會開會ノ日時ハ部長之ヲ定ム
- 二四八 部長理事共ニ闕席セル場合ハ出席者中ノ年長者又ハ部員中ヨリ推薦セラレタル者之ヲ代理ス
- 二四九 召集ニ應セサル議員ハ常任委員ニ選舉セサルヲ例トス
- 二五〇 部室ハ委員室ヲ以テ之ニ充ツ
- 二五一 部會ノ會議録ハ筆記ヲ以テ作成ス

二四七
二四七
二四八
二四九

第八章 委員會會議録、參考書及衆議院公報

二五一

- 二五二 速記録ヲ以テ會議録トス
- 二五三 參考書ヲ會議録ニ掲載シタルコトアリ
- 二五四 書面ヲ以テ提出シタル修正意見書ヲ會議録ニ掲載シタルコトアリ
- 二五五 修正議決ノ條項ヲ速記録ノ末尾ニ掲載シタルコトアリ
- 二五六 關係アル法律ノ條文ヲ會議録ニ掲載シタルコトアリ
- 二五七 政府ノ答辯書ヲ會議録ニ掲載シタルコトアリ
- 二五八 政府委員及政府委員以外ノ官吏ノ發言ヲ會議録中ヨリ除キタルコトアリ
- 二五九 會議録ニ誤謬アルトキハ之カ訂正ヲ求ムルコトヲ得
- 二六〇 委員會ノ決議ヲ以テ政府ニ參考書ノ提出ヲ要求シタルコトアリ
- 二六一 委員ノ選定、委員會開會及其ノ經過並結果ハ之ヲ衆議院公報ニ掲載ス

二五六

附 錄

第一表 特別委員種類表

一八〇

- 第二表 特別委員員數表
- 第三表 特別委員選舉期日表
- 第四表 特別委員選舉表
- 第五表 委員長、理事互選期日表
- 第六表 委員長、理事互選表
- 第七表 常任委員理事員數並特別委員理事員數表
- 第八表 分科區分及分科所屬員配置表
- 第九表 委員中委員選定表
- 第十表 兩院協議委員選定表

衆議院委員會先例彙纂

第一章 委員ノ組織

第一節 委員ノ種類及員數

一 常任委員ノ種類ハ豫算、決算、懲罰及請願委員ノ四種トス

常任委員ハ豫算、懲罰及請願委員ノ三種ナリシカ第八回議會(明治二十八年二月五日)ニ於テ衆議院規則ヲ改正シ決算委員ヲ置キ爾來四種トナレリ

衆議院規則第四十二條末項ニ「其ノ他議員ノ動議ニ依リ議院ニ於テ必要ト認メタルモノ」トアリ此規定ニ基キ常任委員ヲ設ケタルハ第六回議會(明治二十七年五月十六日)ニ於テ決算委員(二十七名)ヲ設ケタル一例アルノミ

二 常任委員ノ員數ハ豫算委員六十三名、決算委員四十五名、懲罰委員二十七名、請願委員四十五名トス

常任委員ノ員數ハ左表ノ如キ變更ヲ經テ現在ニ及ヘリ

第一章 委員ノ組織 第一節 委員ノ種類及員數 (一三〇)

	第一回議會	第二回議會	第八回議會	第十七回議會(現行)
豫算委員	六三	四五	四五	六三
決算委員	一	一	二七	四五
懲罰委員	二七	一八	一八	二七
請願委員	三六	三六	三六	四五

三 特別委員ハ議案其ノ他ノ事件ノ審査又ハ或事項ノ立案若ハ調査等ノ爲ニ之ヲ設ク

政府又ハ貴族院提出ノ議案ハ議院法第二十八條及衆議院規則第九十條ノ規定ニ依リ之ヲ委員ニ付託スルヲ原則トシ議員提出ノ議案ニ付テハ衆議院規則第九十條ニ依リ議院會議ニ於テ委員付託ノ動議提出セラレ院議之ヲ可決シタルトキ委員ニ付託セララルモノトス而シテ議員提出ノ議案モ近來殆ト總テ委員ニ付託セララルヲ例トス又右ノ外議院ノ決議ニ依リ常任委員ノ報告シタル豫算若ハ請願ヲ更ニ審査セシムル爲、議院法第七十八條ニ依リ議員資格ヲ審査セシムル爲、衆議院規則第百二十三條ニ依リ起案ヲ爲サシムル爲又ハ或事項ノ立案若ハ調査等ヲ爲サシムル爲委員ヲ設クル

コトヲ得ルヲ以テ毎會選定セラレタル特別委員ノ數甚タ多シ其ノ事例ハ附錄第一表ニ掲ク

四 特別委員ノ員數ハ九名又ハ九ノ倍數ニ由ル

衆議院規則第六十二條ニ「特別委員ノ數ハ九名トス但シ付託事件ノ種類ニ由リ議院ノ決議ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得」トアリテ院議ニ依リ之ヲ増加スル場合ニハ九ノ倍數ニ由ル唯第三十八回議會ニ於テ開院式 勅語奉答文起草ノ件委員ヲ十名ト爲シタルコトアルノミ此等ノ事例ハ附錄第二表ニ掲ク

五 既に成立シタル特別委員ノ員數ヲ増加シタルコトアリ

一度成立シタル特別委員ノ員數ヲ増加スルハ議院法及衆議院規則ノ禁セサル所ナルニ第八回及第十二回議會ニ於テ右ニ關スル動議ヲ斥ケタルコトアリシカ左ノ事例ニ於テハ院議之ヲ可決セリ
第二十一回議會 明治二十七年十二月三日ノ議院會議ニ於テ相續稅法案ヲ議スルニ當リ恆松隆慶君ノ發議ニ依リ該案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ數ヲ十八名ニ決シタル後登錄稅法中改正法律案ノ審査ニ移リタルトキ同君ヨリ「該案ノ審査ハ前ノ相續稅法案ノ委員ニ併セテ付託シ其ノ人數ヲ二十七名ニ改メタシ」トノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ可決セリ

第二十七回議會 明治四十四年二月二十一日ノ議院會議ニ於テ國稅徵收法中改正法律案ヲ議スルニ當リ菅原傳君ヨリ「該案ハ重要ノ議案ナルニ依リ更ニ委員九名ヲ増加シテ十八名ト爲シタシ」トノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ可決セリ同年三月一日ノ議院會議ニ於テ北海道拓殖經營案基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案外二件ヲ議スルニ當リ菅原傳君ヨリ右各案ハ重要ナル議案ナルニ依リ更ニ委員九名ヲ増加シテ十八名ト爲シタシトノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ可決セリ

第四十六回議會 大正十二年三月一日ノ議院會議ニ於テ工場法中改正法律案及工場労働者最低年齡法案ヲ議スルニ當リ岩崎勳君ヨリ「兩案ヲ一括シテ職業紹介法中改正法律案外四件ノ委員ニ併セテ付託シ且特ニ其ノ委員ノ數ヲ十八名ニ増加シ又追加ノ分九名ハ新ニ議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ可決セリ同年三月二十日ノ議院會議ニ於テ瓦斯事業法案ヲ議スルニ當リ鈴木錠藏君ヨリ「該案ハ電力政策實施ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託シ委員ノ數ヲ十八名ニ増加シ追加ノ分ハ議長ニ於テ指名アランコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ可決セリ

六 一 二個ノ特別委員ヲ併合シテ一委員ト爲シタルコトアリ

一度設ケタル特別委員ハ他ノ特別委員ト併合スルコトナキモ左ノ事例ハ二箇ノ特別委員ノ併合ヲ許可セリ

第二十一回議會 明治三十八年一月二十四日ノ議院會議ニ於テ恆松隆慶君ヨリ「過日此俘虜ト、ソレカラ貨幣云々ノ件ニ付テ、各案毎ニ委員ヲ設ケテゴザイマシタガ、此問題ハヤハリ聯絡致シテ居リマスカラ、合併シテ調査セシメタイト云フ意見デアリマス」ト述ヘタルニ議院ハ恆松君ノ意見ヲ容レ外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造ニ關スル法律案外一件委員ト俘虜刑罰法案外一件委員トヲ併合シテ俘虜刑罰法案外三件委員ト爲セリ

第二節 委員ノ選舉及辭任

七 常任委員ノ選舉ハ開院式ノ翌日ニ於テスルヲ例トス

衆議院規則第四十二條ニハ常任委員ハ每會期ノ始ニ於テ之ヲ選舉スト規定セラレ第二十回議會ニ於テハ開院式當日、第二十三回議會、第二十四回議會ニ於テハ年末年始ノ休會後開會ノ日ノ始ニ於テ之ヲ選舉シタルコトアルモ近來ハ開院式ノ翌日之ヲ行フヲ例トス

八 常任委員ノ選舉ハ各部ニ於テ之ヲ行フ

議院法第二十條第三項ニ依レハ常任委員ハ各部ニ於テ同數ノ委員ヲ總議員中ヨリ選舉スヘキモノニシテ被選舉人ハ其ノ部員タルコトヲ要セス而シテ第三十回議會ニ於ケル各派交渉會ニ於テ「常任委員ノ選舉ハ所屬議員二十五名未滿ノ團體ヲ除キ各部ヲ基礎トシテ其ノ所屬議員數ニ應シテ按分選出スルコト」ヲ協議決定シ爾來每會期此ノ例ニ依リ各派ヲシテ常任委員ノ氏名ヲ届出テシメ之ヲ各部ニ於テ選舉スルノ例トナレリ

九 常任委員選舉ノ手續ヲ省略シタルコトアリ

常任委員ノ選舉ハ臨時議會ニ於テモ成規ノ手續ニ依ルヲ例トスルモ左ノ事例ニ於テハ之ヲ省略シ前議會通リト議決セリ

第三十二回議會(臨時) 大正三年五月五日ノ議院會議ニ於テ全院委員長及常任委員並ニ常任委員會委員長及理事ハ其ノ選舉ノ手續ヲ省略シ總テ第三十一回議會通リト議決セリ

第三十四回議會(臨時) 大正三年九月四日ノ議院會議ニ於テ全院委員長及常任委員ハ其ノ選舉ノ手續ヲ省略シ第三十三回議會通リト議決セリ

一〇 特別委員ノ選舉ハ委員付託決議ノ當日之ヲ行フ

特別委員ノ選舉ハ議案其ノ他ノ事件ノ審査又ハ或事項ノ立案若ハ調査等ヲ其ノ委員ニ付託スヘキコトヲ議決シタル當日之ヲ行フ其ノ事例ハ附錄第三表ニ掲ク

一一 特別委員ノ選舉ハ議長ノ指名ニ依ルヲ例トス

特別委員ノ選舉ニ付テハ議院法第二十條ニ「議院ノ選舉ヲ以テ」云々ト規定シ衆議院規則第六十三條第一項ニモ「議院ニ於テ無名投票ヲ以テ連記選舉シ」云々ト規定セルモ議場ニ於テ委員ヲ選舉スルニハ尠カラサル時間ヲ要シ且種々ノ不便アルヲ以テ此ノ原則ニ依リ議場ニ於テ選舉セシコト甚タ少ナク衆議院規則第六十三條第二項ニ「議院ハ特別委員ノ選舉ヲ議長又ハ各部ニ委任スルコトヲ得」トアルニ依リ近來ハ議長ノ指名ニ一任スルコトトナレリ其ノ事例ハ附錄第四表ニ掲ク

一二 委員ノ補闕選舉ハ前ノ選舉ト同一ノ方法ニ依ル

常任委員タルト特別委員タルトヲ分タス辭任其ノ他ノ理由ニ依リ闕員ヲ生シタルトキハ前ノ選舉ト同一ノ方法ニ依リ選舉スルヲ例トス

一三 常任委員選舉ノ結果ハ部長ヨリ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ

次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス
補闕選舉ノ場合亦同シ

衆議院規則第四十四條ニ依ル部長ノ報告ハ常任委員選舉ノ當日之ヲ議長ニ提出シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス其ノ補闕選舉ノ場合亦同シ

一四 特別委員ノ指名ハ當日之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス
補闕ノ場合亦同シ

特別委員ノ指名ハ當日之ヲ議院ニ報道シ且當日ノ衆議院公報ニ掲載スルヲ例トス其ノ補闕ノ場合亦同シ

一五 常任委員ノ辭任ハ議長院議ニ諮リテ之ヲ許可ス但シ急ヲ要スル場合ハ
議長之ヲ許可ス

衆議院規則第四十七條ニ「委員ニ選舉セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ任ヲ辭スルコトヲ得ス」ト規定セラレ常任委員辭任セムトスルトキハ議長ニ申出テ議長ハ之ヲ院議ニ諮ヒ許可スル

ヲ例トスルモ院議ニ諮フノ暇ナキ場合ニ於テハ議長之ヲ許可セリ而シテ從前ハ其ノ事由ノ如何ニ依リ許否セラレタル事例アルモ近來ハ總テ之ヲ許可スルノ例トナレリ

一六 特別委員ノ辭任ハ議長之ヲ許可ス

特別委員ノ辭任ニ付テハ衆議院規則第六十六條ニ依リ同第四十七條ヲ適用セラレ以前其ノ事由ノ如何ニ依リ議長之ヲ許否シタルコトアルモ近來ハ總テ之ヲ許可スルノ例トナレリ

一七 委員ノ辭任ハ其ノ許可前ニ委員會ノ審査終了スルトキハ之ヲ議長ノ手
許ニ留置ク

第二十回議會明治三十七年三月二十五日ノ議院會議ニ於テ議長松田正久君ヨリ「白井哲夫君カラ、病氣ノ故ヲ以テ臨時軍事費支辨ニ關スル法律案外三件ノ委員ノ辭任ヲ申出ラレマシタ、此委員會ハ已ニ昨日結了致シマシタカラ、是ヲ單ニ辭任申出ノ儘ニシテ置イテ、宜カラウト思ヒマス」ト述ヘタルニ異議ヲ唱フル者ナカリキ又第二十五回明治四十二年二月十八日ノ議院會議ニ於テモ議長長谷場純孝君ヨリ「未成年者飲酒禁止法案特別委員神前修三君昨十七日病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマシタ、右委員會ハ本日デ結了致シマシタカラ、此事ダケヲ御報告致シ置キマス」ト述ヘタル

ニ異議ヲ唱フル者ナカリキ
爾來委員ノ辭任ハ其ノ許可以前ニ於テ委員會ノ審査終了スルトキハ其ノ儘議長ノ手許ニ留置クノ
例トナレリ

一八 委員ノ辭任ヲ許可シタルモ解散ノ爲補闕選舉ヲ行フニ至ラザリシコト
アリ

第四十八回議會大正十三年一月三十一日ノ議院會議ニ於テ議長粕谷義三君ハ第一部選出決算委員
加藤重三郎君第三部選出請願委員仲田徳三君及第八部選出豫算委員齋藤宇一郎君ノ常任委員辭任
ノ申出ニ對シ之ヲ院議ニ諮リテ許可シ且各部ニ於テ速ニ補闕選舉ヲ爲スヘキコトヲ要求シタルモ
當日衆議院解散ヲ命セラレタル爲其ノ補闕選舉ヲ行フニ至ラザリキ

第三節 委員長及理事

一九 委員長及理事互選ノ日時ハ議長之ヲ指定シ其ノ補闕ノ場合ハ委員長又

ハ理事之ヲ指定ス

委員ノ選舉終リタルトキハ議長ハ委員長及理事互選ノ日時ヲ指定シ各委員ハ其ノ日時ニ所定ノ委
員室ニ集シテ互選ヲ行フ若シ當日之ヲ行フコト能ハサルトキハ議長ヨリ更ニ其ノ日時ヲ指定シ
テ互選ヲ行ハシムルヲ例トス又委員長ノ補闕選舉ノ場合ニハ理事、理事ノ補闕選舉ノ場合ニハ委
員長互選ノ日時ヲ定ムルヲ例トス

二〇 委員長及理事ノ互選ハ委員選舉ノ翌日之ヲ行フ但シ特別ノ場合ハ選舉
ノ當日又ハ翌日以後ニ之ヲ行フ

委員長及理事互選ノ期日ハ常任委員タルト特別委員タルトヲ問ハス選舉ノ翌日ヲ以テスルヲ例ト
スルモ年末年始ノ爲休會ヲ爲サントスルトキ又ハ會期切迫其ノ他急ヲ要スル事情アル爲選舉ノ當
日ニ於テ之ヲ爲シタルコトアリ又特別ノ事情アル爲選舉ノ翌日以後ニ之ヲ行ヒタルコトアリ其ノ
事例ハ附録第五表ニ掲ク

二一 委員長及理事互選ノ投票管理者ハ出席委員中ノ年長者之ニ當リ其ノ補

闕ノ場合ハ委員長又ハ理事之ニ當ル

委員長及理事互選ノ場合ニ於ケル投票管理者ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ衆議院規則第十九條ノ部長選舉ニ關スル規定ヲ準用シ出席委員中ノ年長者ヲ以テ投票管理者ト爲シ互選事務ヲ管理セシムルヲ例トス但シ第三回、第四回、第六回、第七回、第十三回、第十四回及第十五回議會ニ於テ委員ヨリ推薦セラレタル者投票管理者トナリタルコトアリ而シテ委員長補闕ノ場合ニハ理事、理事補闕ノ場合ニハ委員長投票管理者トシテ互選ノ事務ヲ行フヲ例トス

二二二 委員長及理事ノ互選ハ推薦又ハ指名ニ依ルヲ例トス

委員長及理事ノ互選ハ衆議院規則第四十八條及第四十九條ノ規定ニ依リ無名投票ヲ以テ之ヲ行ヒタルモ近來ハ推薦又ハ指名ニ依ルノ例トナレリ其ノ事例ハ附録第六表ニ掲ク

二二三 委員長及理事ノ互選ヲ投票ニ依リテ行ヒタル場合同數者二人以上アルトキハ抽籤又ハ年長順ヲ以テ當選者ヲ定ム

委員長ノ互選ヲ爲スニ當リ投票ノ結果同數者二人以上アルトキハ抽籤ヲ以テ當選者ヲ定ムヘキコト

トハ衆議院規則第四十八條及第六十六條ノ規定スル所ナルモ年長者ヲ以テ當選者ト定メタルコトアリ理事互選ノ場合ニ於テモ亦此ノ例ニ倣ヘリ

(一) 抽籤ニ依リ當選者ヲ定メタル例

第八回議會 明治二十八年一月二十一日ノ醫師免許規則改正法律案委員會ニ於テ委員長及理事互選ノ結果委員長ニ同點者二名アリタルヲ以テ抽籤ヲ行ヒ當選者ヲ決定セリ

第十八回議會 明治三十六年五月二十七日ノ國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案委員會ニ於テ委員長及理事互選ノ結果理事ニ同點者二名アリタルヲ以テ抽籤ヲ行ヒ當選者ヲ決定セリ

(二) 年長者ヲ當選者ト爲シタル例

第八回議會 明治二十八年一月二十九日ノ日本銀行課稅法律案委員會ニ於テ委員長及理事互選ノ結果委員長理事共ニ同點者アリタルヲ以テ年長者田口卯吉君ハ委員長ニ石田貫之助君ハ理事ニ當選セリ

二二四 委員長及理事互選ノ結果投票ノ最多數ヲ得タル者當選ヲ辭シタル場合ハ次點者ヲ以テ當選者トス

第六回議會明治二十七年五月二十四日ノ質屋取締條例改正法律案委員會ニ於テ理事互選ノ結果角田眞平君三點粟谷品三君二點東尾平太郎君及佐々木正藏君各一點ナリシニ角田及粟谷ノ兩君當選ヲ辭シタルヲ以テ委員會ハ次點者中ノ東尾君カ年長者タルノ故ヲ以テ同君ヲ當選者ト定メタリ

二五 委員長及理事互選ノ結果ハ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス

委員長及理事互選ノ結果ハ選舉ノ當日之ヲ議長ニ報告シ議長ハ當日若ハ次ノ會議日ニ之ヲ議院ニ報道シ且衆議院公報ニ掲載ス

二六 理事ノ數ハ事務ノ必要ニ依リ之ヲ定ム

理事ノ數ニ付テハ衆議院規則第四十九條ニ「委員會ハ無名投票ヲ以テ委員中ヨリ一名又ハ數名ノ理事ヲ互選シ」ト規定セラレ又同第六十六條ニ其ノ適用アルモ之ヲ限定セス先例ハ事務ノ必要ニ依リ其ノ數ヲ定ム之ニ關スル事例ハ附録第七表ニ掲ク

二七 理事ノ數ヲ増加シタルコトアリ

委員會ニ於テハ理事ノ互選ヲ爲シ其ノ數ヲ決定シタル後ニ於テモ必要ノ場合ニハ理事ノ數ヲ増加スルヲ例トス

第二十七回議會 明治四十四年二月二十三日ノ國稅徵收法中改正法律案委員會ニ於テ委員翠川鐵三君ハ「理事一名ヲ増員シ投票ヲ用ヒス委員長ノ指名ニ一任スヘシ」トノ動議ヲ提出シタルニ異議ナカリシヲ以テ委員長大井ト新君ハ更ニ理事一名ノ追加指名ヲ爲シタリ

第四十五回議會 大正十一年一月二十三日ノ請願委員會ニ於テ委員長龍野周一郎君ハ理事一名ノ増員ヲ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ更ニ理事一名ノ追加指名ヲ爲シタリ

第四十六回議會 大正十二年三月三日ノ職業紹介法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長鈴木錠藏君ハ「本委員ハ委員數ガ十八名ニ増加サレマシタ就キマシテハ只今マデハ理事ガ一名デゴザイマシタガ更ニ三名ノ理事ヲ増員致シマシテ委員長ニ其ノ指名ヲ御任セ下サイマスナラバ指名致シタイト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シタルニ異議ナカリシヲ以テ更ニ理事三名ノ追加指名ヲ爲シタリ

同年三月二十一日ノ電力政策實施ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ委員長渡邊修君ハ「此委員ガ初メニ九名デアツタノガ十八名ニナリマシタ爲ニ理事三名ヲ追加スル必要ガアリマス是ハドウ致シマセウカ」ト諮リタルニ委員長指名ニ異議ナカリシヲ以テ更ニ理事三名ノ追加

二八 委員長闕席又ハ退席ノ場合ハ理事之ヲ代理ス

衆議院規則第四十九條ニ「委員長故障アルトキハ理事之ヲ代理ス」トアリ第六回、第十二回、第十三回及第二十八回議會ニ於テ他ノ委員ヲ推薦シテ代理ヲ爲サシメタルコトナキニ非サルモ多クハ理事之ヲ代理スルノ例トナレリ

二九 委員長理事共ニ闕席又ハ退席ノ場合ハ委員長、理事又ハ委員ニ於テ委員中ヨリ代理者ヲ推薦ス

委員長理事共ニ故障アル場合ニ於テハ委員長理事又ハ委員ニ於テ委員中ヨリ代理者ヲ推薦スルヲ例トス

第三十七回議會 大正五年二月十七日ノ蠶絲業振興發達ニ關スル建議案委員會ニ於テ委員長闕席理事闕員ノ場合ニ理事ノ補闕選舉ヲ行フ爲今西林三郎君ヲ委員長代理ニ推薦ス

第四十回議會 大正七年三月四日陰陽連絡廣江鐵道速成ニ關スル建議案委員會ニ於テ委員長米田穰君闕席ノ場合ニ理事古川清君意見ヲ述フル爲匹田銳吉君ヲ委員長代理ニ推薦ス

第四十二回議會 大正九年二月十七日關稅定率法中改正法律案委員會ニ於テ委員長田中隆三君

質問ヲ爲ス爲武藤金吉君ヲ委員長代理ニ推薦ス

三〇 委員長ノ辭任ハ委員會之ヲ決ス

第三十回議會大正二年三月一日ノ豫算委員會ニ於テ委員長元田肇君(遞信大臣兼拓殖局總裁ニ任命セラレタル爲)ヨリ委員長辭任届ヲ提出シタルニ理事井上角五郎君ハ「元田肇君カラ辭任届ガ出マシタ」拙者儀豫算委員長辭任致候也大正二年三月一日「是ハ兼テ此豫算委員會カラ選ビマシタ豫算委員長デゴザイマスカラ、此辭任ヲ聽届ケルカ否カト云フコトハ豫算委員會デ決シナケレバナラスサウデゴザリマス、聽届ケテ御異議ガゴザイマセヌカ」ト述ヘタルニ異議ナク之ヲ許可スルニ決セリ

第四節 分科

三一 豫算、決算及請願ノ各委員ニハ分科ヲ設ク

衆議院規則第六十一條ニ「豫算委員決算委員及請願委員ハ其ノ事務ヲ捷速ナラシムル爲ニ分テ數

科ト爲スコトヲ得」トアルヲ以テ常ニ分科ヲ設クルヲ例トス唯第七回、第二十回、第三十二回、第三十三回第三十四回及第四十七回ノ各臨時議會ニ於テハ會期短ク且議案少カリシヲ以テ各委員共分科ヲ設ケス第二十九回議會(臨時)ニ於テハ請願委員ニ於テ四分科ヲ設ケ其ノ他ハ分科ヲ設ケス又第三十八回議會(解散)ニ於テハ決算委員ノ分科ヲ設ケス第四十八回議會(解散)ニ於テハ解散ノ爲分科ヲ設クルニ至ラザリキ

三三一 豫算委員ハ六分科、決算委員ハ五分科、請願委員ハ四分科ニ分ツヲ最近ノ例トス

豫算委員決算委員及請願委員ノ分科ハ衆議院規則ニ其ノ數ヲ限定セサルヲ以テ事務ノ必要ニ依リ之ヲ定メ豫算委員ハ六分科決算委員ハ五分科請願委員ハ四分科ニ分ツヲ近來ノ例トス其ノ事例ハ附録第八表ニ掲ク

三三二 分科ノ區分ヲ變更シタルコトアリ

分科ノ區分ハ同一會期中之ヲ變更セサルヲ例トスルモ左ノ場合ニ於テハ之ヲ變更セリ

第八回議會 明治二十八年一月八日ノ豫算委員會ニ於テ分科ヲ七分科ニ分チ各員ノ所屬ハ任意

ニ之ヲ定ムルコトト爲シタル爲所屬員ノ配合一方ニ偏スル所アリシヲ以テ委員長武富時敏君其ノ處置ヲ衆議ニ諮リタルニ小畑岩次郎君ヨリ「内務ト文部トヲ合セ又農商務ト遞信トヲ合併シテ各一分科ト爲スヘシ」ト述ヘタルニ委員會ハ之ヲ可決シタルヲ以テ委員長ハ分科ヲ五分科トシ内務ト文部、遞信ト農商務トヲ併合シテ各一分科トシ其ノ所屬員モ同時ニ併合シテ各其ノ分科員トナリタルモノト認ムル旨ヲ宣告セリ

第二十四回議會 明治四十一年二月十九日ノ請願委員會ニ於テ森肇君ヨリ「此分科ハ今日マデ七分科ニ分タレシモ昨年ハ之ヲ六分科ニ分チシヲ以テ併合ノ處置ヲ委員長ニ一任シタシ」ト述ヘタルニ委員長竹越與三郎君ハ之ヲ衆議ニ諮リ異議ナカリシヲ以テ七分科ヲ六分科ニ變更シ第一分科ヲ廢シテ順次繰上ケ元第一分科ニ屬シタル内閣ヲ第二分科ニ、外務省ヲ第一分科ニ屬セシメ、元第一分科所屬員ノ内二名ヲ第二分科ニ三名ヲ第一分科ニ移屬セシメタリ

三三四 補闕委員ハ前分科員ノ分科ニ屬ス

各分科所屬員ノ配置ハ先ツ各分科ノ定員ヲ定メ而シテ各員ノ希望ヲ參酌シ其ノ配置ヲ委員長ニ一任スルノ例トナレルヲ以テ委員ニ異動アリタル場合ニ於ケル補闕委員ノ分科所屬ハ前委員ノ分科ニ配置スルノ例トナレリ(附録第八表參照)

三五 委員長ハ分科ニ屬セサルモ理事ハ之ニ屬ス

委員長ハ豫算其ノ他孰レノ委員ニ於テモ分科ニ屬セサルヲ例トス理事ハ豫算委員ニ在リテハ第四回乃至第六回議會ヲ除クノ外總テ分科ニ屬シ決算委員ニ在リテハ第八回乃至第十回議會ニ於テ分科ニ屬セシメサリシモ第十二回乃至第二十一回議會ニ於テハ分科ニ屬セシメ第二十二回乃至第二十四回議會ニ於テハ其ノ數ヲ分科ノ數ト同一ナラシメ以テ各分科ノ主査ニ充テタルモ第二十五回議會以來ハ他ノ委員ト同シク分科ニ屬スルノ例トナレリ

三六 分科員ハ他ノ分科ニ兼務スルコトヲ得

分科員カ他ノ分科ニ兼務スルコトヲ得ルヤ否ヤニ付テハ何等ノ規定ナキモ豫算其ノ他ノ常任委員ニ於テハ孰レモ兼務ヲ許シ其ノ所屬ハ各員ノ希望ニ依ルヲ例トス

第五節 主査

三七 分科ニハ主査ヲ置ク

豫算、決算及請願ノ各委員ニ於テ分科ヲ設クル場合ニハ常ニ主査ヲ置キ理事ヲ設ケサルハ第一回議會以來ノ例ナリ唯第十七回議會ニ於テ各分科ニ一名ノ理事ヲ置キタルコトアルノミ

三八 主査ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス

主査ハ本務員中ヨリ之ヲ選定スルヲ例トシ兼務員ヲ主査ニ選定シタルハ第十六回議會ニ於テ唯一例アルノミ從來分科ノ兼務員ハ表決ニ加ハラサルノ定メニシテ若シ兼務員主査ニ選定セラレルニ於テハ分科ニ於テ採決ノ結果可否同數トナリタル場合衆議院規則第二十八條「委員會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル處ニ依ル」ヲ準用スルノ例ニ依リ表決權ナキ兼務員之ヲ裁決スルノ不合理ナル結果ヲ生スヘキヲ以テナリ

三九 主査互選ノ日時ハ委員長之ヲ指定スルヲ例トス

主査互選ノ日時ハ委員長任意ニ之ヲ定ムルヲ例トス唯第九回、第十回及第十六回議會ニ於テ委員

會ノ決議ヲ以テ其ノ日時ヲ定メタル例アルノミ而シテ其ノ互選ハ分科所屬員ヲ定メタル日ニ於テ又ハ其ノ前ニ於テ若ハ其ノ後ニ於テ之ヲ行ヒタルコトアリ

(一) 分科所屬員ヲ定メタル日ニ指定シタル例

第四十一回議會 大正八年一月三十日ノ豫算委員會同年二月二十八日ノ決算委員會及同年一月二十四日ノ請願委員會ニ於テ各分科所屬員ヲ定ムルト同時ニ主査ヲ選定セリ
第四十二回議會 大正九年一月二十三日ノ請願委員會ニ於テ各分科所屬員ヲ定メタル當日主査ヲ選定セリ

第四十三回議會 大正九年七月五日ノ決算委員會及請願委員會第四十四回議會 大正十年一月三十一日ノ決算委員會及同年一月二十六日ノ請願委員會第四十五回議會 大正十一年一月二十三日ノ請願委員會第四十六回議會 大正十二年一月二十六日ノ豫算委員會並決算委員會及同年一月二十四日ノ請願委員會ニ於テ同一ノ事例アリ

(二) 分科所屬員ヲ定ムル前ニ指定シタル例

第四十二回議會 大正九年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ分科區分、所屬員ノ配置及主査ノ選定ヲ委員長ニ一任シタルトキ委員長ハ即日分科ノ區分ヲ爲シ主査ヲ指名シ同月三十一日分科所屬員ヲ配置セリ

同 大正九年一月二十八日ノ決算委員會ニ於テ分科設定分科員配置及主査選定ヲ委員長ニ一任シタルトキ委員長ハ即日分科ノ區分ヲ爲シ主査ヲ指名シ二月六日分科所屬員ヲ配置セリ

第四十三回議會 大正九年七月六日ノ豫算委員會第四十四回議會 大正十年一月二十六日ノ豫算委員會第四十五回議會 大正十年一月二十五日ノ豫算委員會及同年二月二十日ノ決算委員會ニ於テ同一ノ事例アリ

(三) 分科所屬員ヲ定メタル後ニ指定シタル例

第二十一回議會 明治三十七年十二月二日ノ豫算委員會ニ於テハ當日分科ノ所屬員ヲ定メタルモ各分科ハ同月五日主査ノ互選ヲ爲セリ
第二十二回議會 明治三十九年一月二十三日ノ豫算委員會ニ於テハ當日分科ノ所屬員ヲ定ムルト同時ニ主査ノ指名ヲ委員長ニ一任シタルニ委員長ハ同月二十五日各分科ノ主査ヲ指名セリ

四〇 主査ノ互選ハ委員長ノ指名ニ依ル

豫算、決算及請願ノ各委員ニ於ケル主査ノ互選ハ第二十五回議會以來委員長ノ指名ニ依ルヲ例トス

第二十五回議會 明治四十二年一月二十二日ノ豫算委員會ニ於テ加藤政之助君ハ「互選ヲスル

ト云フテモ手數デアリマスカラ委員長カラ指名下サルコトニ致シタイト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ委員長栗原亮一君ハ各分科主査ヲ指名セリ

四一 主査ノ辭任ハ委員長之ヲ許否シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決ス

主査ノ辭任ハ委員長任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ許否シタルコトアリ

(一) 委員長任意ニ許可シタル例

第四十二回議會 大正九年二月十八日ノ決算委員會ニ於ケル第三分科主査川口木七郎君主査辭任ノ許可

第四十六回議會 大正十二年二月二日ノ豫算委員會ニ於ケル第六分科主査原田佐之治君主査辭任ノ許可

(二) 衆議ニ諮リテ許否シタル例

第三十六回議會 大正四年五月二十五日ノ決算委員會ニ於テ決算委員第一分科主査江間俊一君ヨリ主査辭任ノ申出アリシニ對シ委員長大津淳一郎君ハ「唯今江間君カラ主査ヲ辭任シタイト云フコトデゴザイマスガ如何致シマセウカ」ト諮リタルニ(辭スベカラズト呼ブ者アリ)委員長大津淳一郎君ハ「皆サンガ御留任ヲ希望スルヤウデスガ」云々「ドウカ御留任ノコトニシ

テ御辭職ヲ御撤回ヲ願ヒマス」ト宣ヘ其ノ辭任ヲ許ササリキ

第三十七回議會 大正五年二月七日ノ決算委員會ニ於テ第三分科主査宮原幸二郎君ヨリ主査辭任ノ届出アリタルニ對シ委員長小河原一君ハ之ヲ衆議ニ諮ヒ許可スルニ異議ナキヲ認メ宮原君ノ主査辭任ヲ許スニ決シタル旨ヲ宣ヘテ其ノ辭任ヲ許可セリ

四二 主査闕席又ハ退席ノ場合ハ主査又ハ分科員主査代理ヲ推薦ス

主査事故ノ爲闕席又ハ退席スル場合ニ於テハ主査代理者ヲ指名シ又ハ分科員ニ於テ代理者ヲ推薦ス最近ノ事例左ノ如シ

(一) 主査ノ指名シタル例

第四十四回議會 大正十年二月二十四日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル主査代理者ノ指名

第四十五回議會 大正十一年一月三十日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル主査代理者ノ指名

(二) 分科員ノ推薦シタル例

第四十四回議會 大正十年二月二十八日及同年三月十四日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル主査代理者ノ推薦

第四十五回議會 大正十一年三月八日ノ請願委員第三分科會ニ於ケル主査代理者ノ推薦

第四十六回議會 大正十二年二月五日ノ請願委員第一分科會及同月七日ノ請願委員第四分科會ニ於ケル主査代理者ノ推薦

四三 主査代理ハ本務員中ヨリ之ヲ選定ス

主査代理ハ出席者中ノ本務員ヲ以テ之ニ充ツルヲ例トス兼務員ヲ以テ主査ノ代理ヲ爲サシメタルハ第二十八回議會ニ一例アルノミ

第六節 委員中委員

四四 委員中ヨリ更ニ委員ヲ設クルコトヲ得

委員會ニ於テハ付託ヲ受ケタル議案其他ノ事件ニ關シ審査ノ方針ヲ定メ、議案若ハ或事項ヲ調査シ、修正案ヲ起草シ、政府若ハ貴族院ト交渉シ、報告書若ハ意見書ヲ起草スル等ノ爲委員會ノ決議ヲ以テ委員中ニ更ニ委員ヲ設ケタル事例甚ダ多シ此ノ場合ニ於テハ委員ノ數其ノ選定方法等總テ委員會ノ決議ニ依ル
委員中委員設置ニ關スル事例ハ附録第九表ニ掲ク

四五 委員中委員ハ委員長ヲ置クヲ例トス

委員中委員ノ會議ハ以前正式ノ手續ニ依ラサリシモ近來開會ノ日時及會議録ノ作成等總テ委員會議ノ例ニ倣フコトナリタルヲ以テ委員長ヲ置クノ例トナレリ

第三十回議會 大正二年三月十九日ノ營業稅法中改正法律案外一件委員中特別調查委員會ニ於ケル委員長ノ設置

第三十一回議會 大正三年三月十三日ノ生産獎勵特別免稅法案外一件委員中特別調查委員會ニ於ケル委員長ノ設置

四六 委員中委員ニ幹事ヲ設ケ委員長ノ職務ヲ行ハシメタルコトアリ

第四十六回議會 大正十二年三月十九日ノ小作調停法案特別調查委員會ニ於テ委員島田俊雄君ヨリ「本委員會ニ幹事ヲ設ケ田中隆三君ニ願ヒ度イト思ヒマスガ如何デスカ」トノ動議ヲ提出シタルニ委員會ハ田中隆三君ヲ幹事ニ選定シ委員長ノ職務ヲ行ハシメタリ

四七 委員長(主査)委員中委員ノ一人トナリテ委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ

第二十六回議會漁業法改正法律案委員中特別調査委員會ニ於テハ別ニ委員長ヲ設ケサリシモ委員長板東勘五郎君ハ委員中委員ノ一人ナルヲ以テ明治四十三年二月二十四日、二十五日、二十六日、三月五日及九日ノ會議ニ於テ毎回委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ又請願委員分科ニ於テ委員中委員ヲ設定シタル場合ハ別ニ委員長ヲ設ケス主査委員中委員ノ一人トナリテ議事ヲ整理シタルコトアリ

四八 委員長委員中委員ノ會議ニ出席シ委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ

委員長委員中委員ノ一人トナラスシテ會議ニ出席シ委員長ノ職務ヲ行ヒタルコトアリ

第十五回議會

明治二十四年度決算特別調査委員會ニ於テハ主査ヲ設ケサリシモ明治三十四年

二月二十日、二十五日及三月十八日ノ會議ニ於テ委員長石黑涵一郎君ハ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第三十四回議會

戰時海上保險ニ關スル法律案委員中特別調査委員會ニ於テハ別ニ委員長ヲ設

ケサリシヲ以テ委員長鶴澤總明君ハ大正三年九月七日ノ會議ニ於テ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第四十五回議會

刑事訴訟法案特別調査委員會ニ於テハ別ニ委員長ヲ設ケス委員長鶴澤總明君

ハ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

第四十六回議會

農村振興ニ關スル建議案外十一件特別調査委員會ニ於テハ別ニ委員長ヲ設ケ

ス委員長元田肇君ハ每會出席シ委員長席ニ著キ議事ヲ整理セリ

四九

委員中委員ノ一人ニシテ委員長ノ職務ヲ行フ主査闕席ノ場合ハ委員ニ

於テ主査代理ヲ推薦ス

第四十六回議會

大正十二年三月一日ノ産業組合ニ對シ煙草小賣指定ノ請願外一件特別調査委

員會ニ於テハ委員中委員ノ一人ニシテ委員長ノ職務ヲ行フ主査闕席シタル爲委員ニ於テ主査代理ヲ推薦シタリ

五〇 委員中委員ノ辭任ハ委員長之ヲ許否シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決ス

委員中委員ノ辭任ハ委員長任意ニ之ヲ許否シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決シタルコトアリ

(一) 委員長ノ任意ニ許否シタル例

第二十八回議會 明治四十五年三月十一日ノ請願委員第一分科會ニ於テ第二十一號舊藩債處分ノ件調査ノ爲特別調査委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル村上先君ヨリ他ニ多クノ委員ニ選任セラレ居ルノ故ヲ以テ辭任ヲ申出タルトキ主査武滿義雄君ハ「ドウカサウ仰シ

ヤラナイデ御辭任ハ許サナイト云フコトデ、私ニ特權ヲ御與ヘ下サイト宣ヘ之ヲ許ササリキ
第三十一回議會 大正三年三月十三日ノ生産獎勵特別免稅法案外一件委員會ニ於テ生産獎勵特
別免稅法案修正案起草ノ爲七名ノ委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル淺羽靖君ハ
「私ハ齒痛ヲ起シマシテ、唯今カラ醫師ノ所ヘ參リタイト思ヒマスデ、他ノ方ニ願ヒタイト思
ヒマス」ト述ヘタルニ委員長小川平吉君ハ直ニ之ヲ容レ更ニ木付長君ヲ指名セリ

(二) 衆議ニ諮リテ許ササリシ例

第十六回議會 明治三十五年二月五日ノ國有土地森林原野下戻法施行法案委員會ニ於テ該案調
査ノ爲委員ヲ設クルニ當リ其ノ委員ニ指名セラレタル工藤行幹君ヨリ病氣ノ故ヲ以テ辭任ヲ
申出タルトキ委員長西原清東君之ヲ衆議ニ諮リタルニ異議ヲ唱ヘタル者アリシヲ以テ委員長
ハ其ノ辭任ヲ許ササル旨ヲ告ケタリ

第二章 會議

第一節 開會、休憩、延會及散會

五一 委員會會議日ト議院會議日トハ會期ノ始ニ於テ之ヲ定ム

第十五回議會明治三十四年十二月二十六日ノ議院會議ニ於テ議長片岡健吉君ヨリ「今回ヨリ差懸
ルコトガアリマセネバ、本會ト委員會ト別チマシテ隔日ニ開クコトト致シタイト思ヒマス、是レモ
御諮リ致シマスガ、通常ノ時ニハ委員會ヲ月水金ノ日ニ致シマス、ソウシテ、本會ヲ火木土ノ日ト定
メテハ如何デゴザリマセウカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ議院會議日ニハ委員會ヲ開カサ
ルコトトナリ爾來此例ニ依リ每會期ノ始ニ於テ議院會議日ト委員會會議日トヲ定ムルノ例トナレリ

五二 議院會議日ニ於テモ會期切迫ノ場合又ハ當日會議ナキカ若ハ會議アル

モ議院ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開ク

每會期ノ始ニ於テ豫メ議院會議日ト委員會會議日トヲ定メ議院會議日ニハ委員會ヲ開カサルヲ例ト
スルモ會期切迫ノ場合又ハ議院會議日ニ會議ヲ開カサルカ若ハ會議アルモ議院ノ許可ヲ得テ委員

五三 議院ノ會議時間内ニ議院ノ許可ヲ得テ委員會ヲ開ク

衆議院規則第五十一條ニ「委員會ハ議院ノ會議時間内ニ於テ之ヲ開クコトヲ得ス但シ議院ノ許可ヲ得タルトキハ此限ニ在ラス」ト規定セラレ議院ノ會議時間内ニ委員會ヲ開ク場合ニハ當日議院ノ許可ヲ得若ハ豫算委員會ノ如キハ豫メ議院ノ許可ヲ得テ之ヲ開クヲ例トス

五四 委員長理事互選ノ當日ハ會議ヲ開カサルノ例ナルモ特別ノ場合ハ引續キ會議ヲ開ク

委員長及理事互選ノ當日ハ引續キ會議ヲ開カサルノ例ナルモ審査急ヲ要スルカ又ハ會期切迫ノ場合ニハ引續キ會議ヲ開キタルコトアリ而シテ其ノ場合ニハ豫メ引續キ會議ノ旨ヲ通知シ置クモ之ヲ爲サスシテ引續キ會議ヲ開キタルコトアリ

- (一) 急ヲ要スル場合ニ開會シタル例
- 第四十一回議會 大正八年二月十日ノ賀表起草ノ件委員會ニ於ケル委員長及理事互選後引續キ會議

第四十二回議會 大正九年二月十二日ノ大學特別會計法案外一件委員會ニ於ケル委員長及理事互選後引續キ會議

(二) 會期切迫ノ場合ニ開會シタル例

第四十回議會 大正七年三月十八日ノ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案委員會ニ於ケル委員長及理事互選後引續キ會議

第四十一回議會 大正八年三月二十一日ノ朝鮮輕便鐵道補助法案委員會ニ於ケル委員長及理事互選後引續キ會議

第四十四回議會 大正十年三月二十二日ノ山田川ニ河川法適用ニ關スル建議案委員會ニ於ケル委員長及理事互選後引續キ會議

五五 休會中ニ委員會ヲ開キタルコトアリ

議院ノ休會中ハ委員會モ亦開會セサルヲ例トスルモ審査急ヲ要スル爲會議ヲ開キタルコトアリ

- (一) 年末年始ノ爲休會シタル場合ニ委員會ヲ開キタル例
- 第一回議會 明治二十三年十二月二十七日ノ豫算委員會ノ開會(明治二十三年十二月二十六日ヨリ二十四年一月七日マテ休會)

第九回議會 明治二十九年一月八日ノ請願委員會ノ開會(明治二十八年十二月三十日ヨリ二十九年一月九日マテ休會)

第十四回議會 明治三十二年十二月二十日ノ治水ニ關スル建議案委員會ノ開會外一件(明治三十三年十二月二十日ヨリ三十三年一月十四日マテ休會)

第二十一回議會 明治三十八年一月六日ノ上奏案外一件委員會ノ開會(明治三十七年十二月二十九日ヨリ三十八年一月二十日マテ休會)

(二) 弔意ヲ表スル爲休會シタル場合ニ委員會ヨ開キタル例

第八回議會明治二十八年一月二十九日陸軍大將大勳位熾仁親王殿下御葬儀ノ當日弔意ヲ表スル爲議院ハ休會シタルニ日本銀行課稅法案委員會ハ當日會議ヲ開キタリ

五六 日曜日又ハ祝祭日ニ委員會ヲ開キタルコトアリ

日曜日又ハ祝祭日ニハ委員會ヲ開カサルヲ例トスルモ審査急ヲ要スル場合ニハ之ヲ開キタルコトアリ

第十五回議會 明治三十四年三月二十一日(春季皇靈祭)ノ豫算委員第四分科會ノ開會外六件

第二十回議會 明治三十七年三月二十日(日曜日)開院式 勅語ニ對スル奉答文案起草委員會ノ

開會

第三十四回議會 大正三年九月六日(日曜日)ノ豫算委員會ノ開會

第三十七回議會 大正四年十二月二十六日(日曜日)ノ豫算委員會ノ開會

第四十一回議會 大正八年三月二十一日(春季皇靈祭)ノ市制中改正法律案外三件委員會ノ開會

外十一件

第四十七回議會 大正十二年十二月十六日(日曜日)ノ豫算委員會ノ開會外四件

五七 開會ノ日時ハ委員長(主査)之ヲ定メ若ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決シ又ハ議長之ヲ指定ス

衆議院規則第五十條ニハ「議院ニ於テ委員會ノ期日ヲ指定セサルトキハ委員長之ヲ定ム」ト規定セラレ 勅語奉答文案起草ノ委員會又ハ委員長及理事互選ノ日時等ハ議長之ヲ指定スルモ第二回以後ノ開會日時ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ定メ若ハ衆議ニ諮リテ之ヲ決スルヲ例トス

五八 請願委員及其ノ分科ニ於テハ會議日時ヲ豫定ス

請願委員及其ノ分科ハ會期中繼續開會ノ必要アルヲ以テ第四回乃至第十五回議會ニ於テハ每週一

定ノ日時ヲ豫定シテ會議ヲ開キタリシモ第十六回議會後此ノ例ヲ廢セリ然ルニ第二十五回議會以來再ヒ舊例ニ復シ日時ヲ豫定シテ會議ヲ開クノ例トナレリ之ニ關スル事例ハ每會期殆ト同一ナルヲ以テ左ニ最近ノ一例ヲ舉クルニ止ム分科ノ例亦同シ

第四十六回議會 大正十一年十二月二十八日ノ請願委員會ニ於テ委員會及各分科ハ每週一回開會スルコトトシ月曜日午前十時第一分科、午後一時第二分科、水曜日午前十時第三分科、午後一時第四分科、金曜日午前十時請願委員會ヲ開會スルコトヲ決議セリ

五九 分科ノ開議日時ハ委員長若ハ主査之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ム

分科ノ開會日時ハ其ノ第一回ノ開會日時ニ限リ委員長之ヲ指定スルコトアルモ第二回以後ニ於テハ主査任意ニ之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ムルヲ例トス

六〇 委員中委員ノ開會日時ハ委員中委員長之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ム

委員中委員ノ開會日時ハ其ノ第一回ノ開會日時ニ限リ委員會ノ委員長若ハ主査之ヲ指定スルコト

アルモ第二回以後ニ於テハ委員中委員長任意ニ之ヲ指定シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定ムルヲ例トス

六一 開會ノ通知ハ衆議院公報ヲ以テス但シ特別ノ場合ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

第十四回議會以來ハ衆議院公報ヲ發刊シ之ニ委員會開會ノ日時及場所並審査ニ付スベキ議案ヲ掲載シテ委員ニ通知スルノ例トナレリ但シ開院式 勅語奉答文起草委員會ノ開會ノ如キハ議長議場ニ於テ之ヲ宣告シ又急ヲ要スル爲議院會議ニ於テ委員長口頭ヲ以テ之ヲ通知シ或ハ速達便ニ依リ書面ヲ以テ之ヲ所屬委員ニ通知スルコトアリ

六二 委員ニ闕員アルモ會議ヲ開キタルコトアリ

委員ニ闕員アルモ其ノ補闕ヲ待タスシテ會議ヲ開キタルコトアリ最近ニ於ケル事例ハ第四十回議會大正七年三月十四日ノ議院會議ニ於テ請願委員南里琢一君ノ辭任ヲ許可シ同月十八日其ノ補闕トシテ西村正則君當選シタルニ委員會ハ其ノ補闕前即チ同月十五日ニ會議ヲ開キタルカ如キ是ナリ

六三 委員會議中協議又ハ報告書起草ノ爲協議會ヲ開キタルコトアリ

委員會議中各委員間若ハ政府委員ト熟議ヲ爲シ又ハ報告書起草ノ爲正式ノ會議ヲ中止シテ協議會

ヲ開キタルコトアリ

(一) 各員協議ヲ爲ス爲開キタル例

第三十九回議會 大正六年七月四日ノ軍人恩給法中改正法律案委員會ニ於ケル協議會

第四十回議會 大正七年二月二十日ノ決算委員會ニ於ケル協議會

(二) 政府ト協議スル爲開キタル例

第三十七回議會 大正五年二月二十三日ノ三國港護岸施工ニ關スル建議案委員會ニ於ケル協議會

第四十回議會 大正七年一月十五日所得稅法中改正法律案外十一件委員會ニ於ケル協議會

第四十一回議會 大正八年三月十日ノ辨理士法案外一件委員會中特別調查委員會ニ於ケル協議會

第四十六回議會 大正十二年二月二十八日ノ日本勸業銀行法中改正法律案外三件委員會ニ於ケル協議會

(三) 報告書ヲ起草スル爲開キタル例

第六回議會 明治二十七年五月二十九日ノ明治二十六年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件外一件委員會ニ於ケル協議會

六四 休憩ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

休憩ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告スルヲ例トスルモ衆議ニ諮リテ之ヲ爲スコトアリ其ノ事例每會期枚舉ニ違アラス

六五 延會ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

委員會ニ於テハ其ノ日ノ日程議案審査終了ノ上散會ヲ宣告スヘキモ政府委員ノ出席説明ナキ爲等種々ナル事由ニ依リ之ヲ議了スルヲ得シテ延會スル場合ニハ委員長任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス左ニ最近ニ於ケル數例ヲ掲ク

第四十四回議會 大正十年一月三十一日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル散會ノ宣告

第四十六回議會 大正十二年二月十二日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル散會ノ宣告

六六 散會ハ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

委員會ニ於ケル散會時刻ニ關シテハ衆議院規則第七十四條ノ如キ規定ナキヲ以テ委員長(主査)任意ニ之ヲ宣告スルヲ例トスルモ衆議ニ諮リテ之ヲ爲シタルコトアリ衆議ニ諮リタル最近ノ事例左

ノ如シ

第四十一回議會 大正八年一月二十七日ノ第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案委員會ニ於テ委員長根本正君ハ「御質問ガナケレバ今日ハ是デ止メテ」……「諸君ノ御意見ヲ伺ツテ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ散會ヲ宣告セリ

第四十三回議會 大正九年七月十二日ノ請願委員第一分科會ニ於テ主査岡順次君ハ「最早十二時ヲ過ギマシタカラ、散會致シマスカ繼續シテヤリマスカ」ト諮リタルニ散會ノ意見多カリシヲ以テ散會ヲ宣告セリ

第二節 出席發言

六七 委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ定刻前ニ届出ツヘキコトヲ議決シタルコトアリ

委員委員會ニ出席スルコト能ハサルトキハ開會ノ定刻前委員長又ハ主査ニ届出ツヘキコトヲ議決シタルコトアリ

第二十三回議會 明治四十年二月二十六日ノ決算委員會ニ於テ江藤哲藏君ヨリ「從來委員會、

會議ニ闕席スル者多キハ甚ダ遺憾ニ堪ヘザル次第ニ付豫メ各員間ニ充分協議ヲ遂ゲ置キタシ」ト述フルヤ木暮武太夫君ハ「唯今江藤君ノ御注意デゴザイマスガ、闕席ノコトハドウモ何時デモ闕席スル者ガ多イ、昨年アタリモ悉ク全體ノ數ヲ通ジテ、闕席ヲシタト云フヤウナコトガアツテ甚シキニ至ツテハ闕席シテ豪傑振ルト云フ風モアルヤウデアアル、ソレモ委員ヲ辭スルナラバ兎モ角モ、一旦委任ヲ受ケテ居ツテ、闕席スルヤウデハ甚シキ弊害ヲ生ズルダラウト思ハレマス、ソレデ必ず委員會若クハ分科會ニ出席スルコト、若シ出席スルコトノ出來ナイ場合ニハ、開會定刻前ニ委員長若クハ主査ニ、其理由ヲ明示シテ届出ヅルコト、斯ウ云フコトニシテ戴キタイ」ト述ヘタルニ委員會ハ異議ナク之ヲ可決セリ

第二十五回議會 明治四十二年二月十二日ノ請願委員會ニ於テ委員長立川雲平君ハ「委員會ノ當初ニ於テ御相談ヲ致シマシタ通り、闕席ヲスル御方ハ成ルベク御届ヲ願ヒタイ、本日御届ノナイ御方ニハチヨット御照會ヲシテ見ヤウト云フ考デゴザイマス、ソレカラ成ルベク時間ハ常ニ御勵行ノ上御出席ヲ願ヒタウゴザイマス」ト宣告セリ

六八 發言ハ委員長(主査)ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

委員會ニ於テ發言セムトスルトキハ委員長ノ許可ヲ得ルヲ要シ其ノ許可ヲ受ケスシテ發言シタル

爲委員長之ヲ差止メタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

第四十回議會 大正七年三月十四日ノ豫算委員會ニ於テ委員長小川平吉君ハ委員長ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル毛利保太郎君ノ發言ヲ差止タリ

第四十一回議會 大正八年一月二十七日ノ豫算委員會ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ委員長ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル森田茂君ノ發言ヲ差止タリ

第四十二回議會 大正九年二月十八日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長松田源治君ハ委員長ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル植原悦二郎君ノ發言ヲ差止タリ

六九 發言ハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ例トス

委員會ニ於テ發言セムトスルトキハ其ノ都度委員長(主査)ノ許可ヲ受クルヲ例トス然レトモ左ノ事例ノ如ク豫メ總括的ニ發言ノ許可ヲ受ケ置キ其ノ都度許可ヲ受ケスシテ發言ヲ爲スコトアリ

第二十八回議會 明治四十五年三月九日ノ保險業法中改正法律案委員會ニ於テ片岡直温君ヨリ

「私ノ御尋ハ七ツ八ツアリマスカラ、ドウゾ暫時ノ間委員長ノ許可ヲ省略シテ問答ノ御許シヲ願ヒマス」ト述ヘタルニ委員長小川平吉君ハ之ヲ許可セリ

同月十五日ノ朝鮮醫院及濟生院特別會計法案委員會ニ於テモ同一ノ例アリ

第三十回議會 大正二年三月十七日ノ所得稅法中改正法律案外二件委員會ニ於テ渡邊修君ヨリ

「數ヶ條ノ質問ヲ致シマスカラ、ドウカ少シ續イテ發言ヲ許可ニナルヤウ豫メ希望シテ置キマス」ト述ヘタルニ委員長代理小久保喜七君ハ之ヲ許可セリ

第三十七回議會 大正四年十二月二十二日ノ東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加

ニ關スル法律案委員會ニ於テ池田寅次郎君ヨリ「尙豫メ御願シテ置キマスガ、質問ガ連續的ニナリマスノデ、其都度委員長ヲ呼ビマシテ御許可ヲ得ルト云フコトヲ略シマシテ、問題ノ終リマスマデハ漸次一項毎ニ付テ御返事ヲ願ツテ、又更ニ御尋ヲスルヤウニ御取計ヲ願ヒマス」ト述ヘタルニ委員長高橋久次郎君ハ之ヲ許可セリ

七〇 發言ノ許可ハ通告ノ順序ニ依リ順序不明ナルトキハ委員長ノ決スル處ニ依ル

委員會ニ於テ發言セントスル者ハ委員長ニ對シ豫メ發言ノ通告ヲ爲スコトヲ得而シテ發言ノ通告ヲ爲ス者數人アルトキハ委員長ハ其ノ通告ノ順序ニ依リ之ヲ許可スルヲ例トス

會議ニ於テ二人以上同時ニ起立シテ發言ヲ求メ其ノ順序ニ疑アルトキハ委員長ノ決スル處ニ依ル其事例ハ第十回議會明治三十年一月二十一日ノ豫算委員會ニ於テ藤金作君志波三九郎君共ニ發言

ヲ求メタルトキ委員長元田肇君先ツ藤君ニ發言ヲ許可シタルヲ以テ志波君ハ「藤君ヨリ私ガ先キニ起立シテ居リマス」ト述ヘタルモ委員長ハ「先キニ眼ニ映ジタルモノカラ許シマス」ト宣告セリ

七一 豫算委員會ニ於ケル質問ハ通告ノ順序ニ依リ各派交互ニ之ヲ爲スヲ例トス

豫算委員會ニ於ケル質問ノ順序ハ通告順ニ依リ各派交互ニ之ヲ爲スヲ例トス而シテ委員長ハ開會ノ始ニ於テ任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

七二 他人ノ發言中其ノ發言ニ關聯スル事項又ハ緊急事件若ハ議事進行ニ關シ發言ヲ許可シタルコトアリ

一人ノ發言中他人ノ發言ハ之ヲ許可セサルヲ例トスルモ其ノ發言ニ關聯スル發言又ハ緊急事件若ハ議事進行ニ關シ更ニ他人ニ發言ヲ許可シタルコトアリ

第四十回議會 大正七年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ國務大臣大島健一君ハ片岡直溫君ノ發言中答辯ノ正誤ニ就テ發言ヲ求メタルニ委員長代理齋藤珪次君ハ之ヲ許可セリ

第四十一回議會 大正八年二月二十八日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ニ於テ大津淳一郎君ハ國務大臣床次竹二郎君ノ發言中議事進行ニ就テ發言ヲ求メタルニ委員長小川平吉君

ハ之ヲ許可セリ

第四十二回議會 大正九年二月二十五日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外二件委員會ニ於テ村松恒一郎君ハ下岡忠治君ノ發言中議場ノ整理ニ就テ發言ヲ求メタルニ委員長松田源治君ハ之ヲ許可セリ

第四十六回議會 大正十二年一月二十七日ノ豫算委員會ニ於テ川崎克君ハ南鼎三君ノ發言中議事進行ニ就テ發言ヲ求メタルニ委員長東武君ハ之ヲ許可セリ

七三 議題外ノ事項ニ涉ル發言ハ之ヲ差止ム但シ關聯セル事項ニ付テハ之ヲ許可ス

委員ノ發言議題外ノ事項ニ涉リ委員長之ヲ差止メタルコトアリ但シ議題外ト雖關聯セル事項ニ關スル發言ハ之ヲ許可シタルコトアリ

(一) 發言ヲ差止メタル例

第二十七回議會 明治四十四年三月六日ノ商法中改正法律案外二件委員會ニ於テ加瀬禧逸君ヨリ財産目錄ノ件ニ付質問ヲ爲シタル後會社令ノ質問ニ移ラントスルヤ委員長鳩山和夫君ハ「委員長カラチヨット御注意ヲ致シタイコトガアリマス、唯今ノ質問ハ何カ朝鮮ノ緊急勅令ノ

委員會ノ如ク聞エマスガ、(中略)委員會ノ性質ヲ頭ニ置イテ御質問ヲ爲サレシコトヲ希望致シマス」ト宣ヘ發言ヲ差止メタリ

第四十二回議會 大正九年二月十三日ノ大學特別會計法案外一件委員會ニ於テ南澤宇忠治君ヨリ大學特別會計ノ件ニ付質問ヲ爲シタル後小學校義務教育費國庫支辨問題ノ質問ニ移ラントスルヤ委員長金杉英五郎君ハ「チヨト御注意デスガソレハ關聯シタ事柄ニハ違ヒナイデスガ此所ハ大學ノ會計法案ヲ議シテ居ル譯デアリマスカラソレハ後ニ願イマシタラ …」ト宣ヘ發言ヲ差止メタリ

(二) 發言ヲ許可シタル例

第十三回議會 明治三十一年十二月十九日ノ豫算委員會ニ於テ明治三十二年度歲入歲出總豫算案陸軍省所管ヲ議スルニ當リ金岡又左衛門君ヨリ「私ハ此項ニ付テ少シ意見ガアリマスガ、是ハ關聯ヲ致シマシテ三十二年度追加豫算ノ第一號ニ關聯シテ居リマスカラ、併セテ意見ヲ述ベタウゴザリマス」ト述ヘタルニ委員長栗原亮一君ハ其ノ發言ヲ許可セリ

第十六回議會 明治三十四年十二月十三日ノ明治三十五年度歲入歲出總豫算案ヲ審査スルニ當リ野田卯太郎君ノ「明治三十三年度ニ於テ償金部ヨリノ借入金ハ何ヨリ返却スルヤ」トノ質問ニ對シ政府委員阪谷芳郎君ヨリ三十三年度ノ質問ニ答辯スルトキハ錯雜ヲ極ムヘキヲ以テ二

十五年度ノ方ヨリ質問ニ應シタキ旨ヲ述ヘタルトキ委員長石田貫之助君「ソレハ直接ニ三十三年度ノ豫算ノコトデハナイガ、是ニ重大ナ關係ヲ有ツト云フコトデアルカラ、御答ニナツテ宜イジヤアリマセヌカ」ト述ヘタルヲ以テ石黒涵一郎君ハ更ニ同一事件ニ付質問ヲ爲シタリ
第二十七回議會 明治四十四年三月六日ノ商法中改正法律案外二件委員會ニ於テ渡邊修君ヨリ財産目錄ノ件ニ付テ質問アリタル後加瀬禧逸君亦渡邊君ノ質問ニ關聯シタル所得額ノ件ニ付テ質問爲シタキ旨ヲ述ヘ許可ヲ得テ質問ヲ爲シタリ

七四 散會宣告後ハ發言ヲ許サス

委員長散會ヲ宣告シタル後ハ何人ノ發言ヲモ許ササルハ勿論ナルモ左ノ事例ノ如キハ特ニ之ヲ許ササル旨ヲ宣告シタリ

第四十一回議會 大正八年三月五日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ニ於テ委員長小川平吉君ノ散會宣告後今井嘉幸君ハ議事ノ進行ニ關スル動議ヲ提出スヘシトテ發言ヲ求メタルモ委員長小川平吉君ハ「委員長ハ既ニ質問ノ終了ヲ宣告シテ散會ヲ宣告シタカラ駄目デス」ト述ヘ之ヲ許ササリシニ委員長ヲ呼ンテ發言ヲ求ムル者多カリシ爲委員長小川平吉君ハ再ヒ「委員長ハ散會後ニハ居リマセヌ」ト告ケ終ニ發言ヲ許サスシテ委員會ヲ閉チタリ

七五 委員長(主査)討議ニ與ラムトスルトキ其ノ席ニ於テ發言シタルコトアリ

衆議院規則第二十九條ニ「委員長自ラ討議ニ與カラムトスルトキハ委員中ヨリ代理者ヲ指名シ委員長席ニ著カシムヘシ」トアリテ代理者ヲ指名シ之ニ委員長席ヲ讓リタル後發言スヘキモノナルモ委員長其ノ席ニ於テ發言シタルコトアリ

第三十回議會 大正二年三月十日ノ新潟築港速成ニ關スル建議案委員會ニ於ケル委員長若杉喜三郎君ノ發言

第三十五回議會 大正三年十二月二十三日ノ蠶絲業救濟補償法案委員會ニ於ケル委員長西谷金藏君ノ發言

第四十二回議會 大正九年二月十二日ノ議院法中改正法律案委員會ニ於ケル委員長小川寅六君ノ發言

七六 委員長分科又ハ委員中委員ノ會議ニ出席シ發言シタルコトアリ

委員長ハ分科又ハ委員中委員ノ會議ニ出席シテ發言スルコトヲ得ルヤ否ヤニ關シ何等ノ規定ナキ

モ從來分科又ハ委員中委員ノ會議ニ出席シテ發言シタルコトアリ

(一) 分科會ニ出席發言シタル例

第二十五回議會 明治四十二年二月一日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル請願委員長立川雲平君ノ出席發言

第三十六回議會 大正四年六月一日ノ決算委員第三分科會ニ於ケル決算委員長大津淳一郎君ノ出席發言

第三十七回議會 大正五年二月二十一日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル請願委員長加藤彰廉君ノ出席發言

第三十九回議會 大正六年一月二日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル請願委員長齋藤珪次君ノ出席發言

第四十三回議會 大正九年七月十二日ノ請願委員第一分科會ニ於ケル請願委員長清水市太郎君ノ出席發言

(二) 委員中委員ノ會議ニ出席發言シタル例

第十五回議會 明治三十四年二月二十日、二十五日及三月十八日ノ決算委員中明治二十四年度決算特別調査委員會ニ於ケル委員長石黒涵一郎君ノ出席發言

第二十三回議會 明治四十年二月二十五日ノ刑法改正案委員中特別調査委員會ニ於ケル委員長

磯部四郎君ノ出席發言

第二十八回議會 明治四十五年二月一日ノ請願委員中決議案特別調査委員會ニ於ケル請願委員

長武藤金吉君ノ出席發言

七七 委員長他ノ委員會ニ出席シ自己所屬ノ委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ說

明シタルコトアリ

第八回議會明治二十八年一月二十五日ノ復祿並祿高不當處分訂正建議案委員會ニ於テ請願委員
長濱名信平君ハ委員長ノ許可ヲ得テ出席シ請願委員會ニ於ケル復祿事件調査ノ結果ヲ說明セ
リ

七八 委員會ニ於テ議案提出者ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ

委員會ニ於テ付託ヲ受ケタル議案ノ提出者委員トナラサリシ爲其ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ

第三十一回議會 大正三年二月四日ノ關稅定率法中改正法律案委員會ニ於ケル該案提出者鈴木

梅四郎君ニ對スル出席説明ノ要求

第三十七回議會 大正五年二月二日ノ私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案委員會ニ

於ケル該案提出者林毅陸君ニ對スル出席説明ノ要求

第四十一回議會 大正八年三月廿四日ノ音樂學校設置ニ關スル建議案委員會ニ於ケル松戸高等

園藝學校移管ニ關スル建議案提出者吉植庄一郎君ニ對スル出席説明ノ要求及水産教育機關擴

張ニ關スル建議案提出者關矢儀八郎君ニ對スル出席説明ノ要求

第四十六回議會 大正十二年三月二十一日ノ宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案外一件委員會

ニ於ケル園部篠山間鐵道速成ニ關スル建議案提出者竹上藤次郎君ニ對スル出席説明ノ要求

七九 議案提出者ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス

議案提出者ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ委員長(主査)任意ニ之ヲ許可シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ許
可シタルコトアリ

八〇 請願委員會ハ豫メ紹介議員ニ對シ出席ヲ促シ審査ノ際其ノ説明ヲ求ム

請願委員會ニ於テ請願ヲ審査スルニ當リ紹介議員ニ説明ヲ爲サシムルノ必要アリト認メタルトキ
ハ委員會ノ決議ヲ以テ其ノ出席説明ヲ求ムルヲ舊來ノ例トセシカ第二十二回議會以來委員會ハ開

會ノ都度豫メ郵書ヲ以テ其ノ日時及議事日程ヲ紹介議員ニ通知シ其ノ出席説明ヲ促スノ例トナレリ

八一 請願紹介議員ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス

第二十二回議會以前ニ於テハ請願委員會ハ請願ヲ審査スルニ當リ特ニ決議ヲ以テ紹介議員ノ出席説明ヲ求ムルノ外開會日時其他ニ關シ別ニ通知ヲ發スルコトナカリシヲ以テ出席説明ヲ求メラレサル紹介議員時ニ躬ラ委員會ニ出席シ之ヲ求メタルコトアリ此ノ場合ニ於テ委員長ハ任意ニ之ヲ許可シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ許可シタリ然レトモ第二十二回議會以來委員會ハ開會ノ都度豫メ其ノ日時及審査ニ付スヘキ請願ヲ紹介議員ニ通知シ出席説明ヲ促スノ例トナリシヲ以テ紹介議員委員會ニ出席シ發言セントスルトキハ委員長之ヲ許可スルノ例トナレリ

八二 請願紹介議員出席セサルトキ他ノ議員代テ説明シタルコトアリ

請願審査ニ際シ紹介議員出席セサル場合ニ於テ分科ノ主査、委員又ハ他ノ議員代テ請願ノ説明ヲ爲シタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

第四十三回議會 大正九年七月十二日ノ請願委員第一分科會ニ於テ社寺境内地無償交付ニ關ス

ル法律制定ノ請願審査ノ際紹介議員望月圭介君外五名ノ議員闕席シタルニ依リ田中善立君代テ其ノ請願ノ説明ヲ爲シタリ

第四十四回議會 大正十年二月十四日ノ請願委員第二分科會ニ於テ改名許可法制定ノ請願審査

ノ際紹介議員横山金太郎君闕席シタルニ依リ清水留三郎君代テ其ノ請願ノ説明ヲ爲シタリ

第四十五回議會 大正十一年三月八日ノ請願委員第三分科會ニ於テ湯口郵便局ニ集配事務開始

竝志戸平ニ無集配郵便局設置ノ請願審査ノ際紹介議員大矢馬太郎君闕席シタルニ依リ志賀和

多利君代テ其ノ請願ノ説明ヲ爲シタリ

第四十七回議會 大正十二年十二月十九日ノ請願委員會ニ於テ帝都ニ飛行場設置ノ請願審査ノ

際紹介議員安藤正純君闕席シタルニ依リ土井權大君代テ其ノ請願ノ説明ヲ爲シタリ

八三 請願紹介議員ハ出席説明ヲ爲スニ際シ政府ニ質問ヲ爲スコトヲ得

請願紹介議員カ其ノ紹介ニ係ル請願ノ説明ヲ爲ス場合ニ於テ政府委員ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ許スハ從來ノ例ニシテ第十五回議會明治三十四年二月二十日ノ請願委員會ニ於テ眞宗四派獨立請願ノ紹介議員石黒涵一郎君外二名委員長ノ許可ヲ得テ出席發言スルニ當リ政府委員ニ質問ヲ爲サムトスルヤ武市庫太君ヨリ「紹介議員ガ請願ノ趣旨ヲ説明スルハ可ナルモ質問ヲ爲スガ如キハ不條

理ナラズヤ」ト述ヘタルモ委員長佐藤昌藏君ハ「先例モアルコトナレバ差支ナカラン」ト宣ヘ質問ヲ許可セリ

然ルニ請願紹介議員ノ政府ニ對スル質問應答ヲ制限セントスル決議ヲ爲シタルコトアリ

第四十六回議會 大正十二年二月九日ノ請願委員會ニ於テ委員長三輪市太郎君ハ「從來ノ慣例ヲ調ヘテ見マスト、古イ所ニハ紹介議員ガ質問應答スルノ例ハ全然無イデモナイノデゴザイマスガ(中略)前例ハ兎ニ角今後ハ委員會カラ特ニ紹介議員ノ説明ヲ要求シタ場合ハ是ハ例外ト致シマシテ成ベクハ矢張此議院ヨリ選任サレタル所ノ委員會ニ御委セニナツテ、餘リ紹介議員ノ質問應答ハ許シタウナイト思フノデアリマス諸君如何デアリマセウカ、是ハ委員會ノ御同意ヲ得テ置テ將來サウ云フ新ラシキ例ヲ作りタイト思ヒマス、御異存アリマセンカ」ト諮リタルニ異議ナカリキ

八四 議長委員會ニ出席シ發言シタルコトアリ

議院法第十二條ニ「議長ハ常任委員會及特別委員會ニ臨席シ發言スルコトヲ得但シ表決ノ數ニ預カラス」トアリテ議長委員會ニ出席シ發言シタルコトアリ

第四回議會 明治二十六年二月十六日ノ豫算委員中調査委員會ニ於テ更ニ委員ヲ設ケテ政府ト

交渉セシムヘキヤ否ヤニ付議論ヲ生シタルトキ議長星亨君ハ該委員會ニ出席シ意見ヲ陳述セリ

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ同日ノ議院會議中議長ノ爲シタル委員長理事互選ノ日時ニ關スル宣告ニ付議論ヲ生シタルトキ議長鳩山和夫君ハ該委員會ニ出席シ議場ニ於ケル宣告ノ意義ニ付陳述セリ

第三十一回議會 大正三年二月二十六日ノ懲罰委員會ニ於テ議長大岡育造君ハ綾部惣兵衛君懲罰事犯ノ件ニ關スル議場ニ於ケル宣告ニ付陳述セリ

第三十六回議會 大正四年六月七日ノ決議案(第二號)委員會ニ於テ衆議院書記官長林田龜太郎君ノ任意出席ヲ求メタルニ對シ議長島田三郎君ハ即日同委員會ニ出席シ議長ハ議院法第十二條ニ依リ出席シタル旨ヲ告ケ林田書記官長任意出席要求ノ件ニ付陳述セリ

第四十二回議會 大正九年二月二十日ノ院內警察事項ニ關スル特別調査委員會ニ於テ議長ノ出席ヲ要求シタルニ議長大岡育造君ハ同月二十一日同委員會ニ出席シ院內警察事項ニ關スル特別調査委員會設置ノ件ヲ提案シタル趣旨ニ付陳述セリ

八五 委員會ニ於テ委員ニ非サル議員ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ

衆議院規則第五十二條ニ「委員會ハ其ノ付託ヲ受ケタル事件ニ關シ意見ヲ有スル議員アルトキハ其ノ意見ヲ聞クコトヲ得」ト規定セラレ委員會ニ於テ委員ニ非サル議員ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ

第二十四回議會 明治四十一年三月十七日ノ鑛烟毒豫防ニ關スル建議案委員會ニ於ケル矢島浦太郎君ニ對スル出席説明ノ要求

第二十五回議會 明治四十二年三月一日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル中倉万次郎君ニ對スル出席説明ノ要求

第二十七回議會 明治四十四年三月二十日ノ初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加スルノ建議案外三件委員會ニ於ケル淺羽靖君ニ對スル出席説明ノ要求

八六 委員ニ非サル議員出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例トス

委員ニ非サル議員委員會ニ出席シテ發言ヲ求ムルトキハ委員長任意ニ之ヲ許可シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ許可スルヲ例トス最近ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長任意ニ許可シタル例

第四十二回議會 大正九年二月五日ノ豫算委員第一分科會ニ於ケル高橋本吉君出席發言ノ許可

第四十六回議會 大正十二年三月六日ノ身元保證ニ關スル法律案外一件委員會ニ於ケル荒川五郎君出席發言ノ許可

第四十七回議會 大正十二年十二月十七日ノ大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於ケル本多貞次郎君出席發言ノ許可

(二) 衆議ニ諮リテ許可シタル例

第四十三回議會 大正九年七月九日ノ豫算委員第五分科會ニ於ケル正木照藏君出席發言ノ許可

第四十六回議會 大正十二年三月三日ノ陪審法案委員會ニ於ケル廣岡宇一郎君出席發言ノ許可

第四十七回議會 大正十二年十二月十九日ノ大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於ケル長谷場敦君出席發言ノ許可

八七 委員ニ非サル議員ノ發言ハ討論ニ涉ルコトヲ得ス

第四十回議會大正七年二月四日ノ請願委員第二分科會ニ於テ官幣大社朝鮮神社奉祀ノ請願審査ニ際シ請願委員ニアラサル高木益太郎君ノ發言中主査福井三郎君ハ「御待チ下サイ是ハ委員ニアラ

サル方ノ討論ヲ許スト云フ規則デアリマセヌ御意見ヲ承ルト云フ時ノ發言ハ許シマスカラ其ノ思召デ御意見ダケ願ヒマス」ト述ヘ討論ニ互ルコトヲ禁シタリ

八八 國務大臣及政府委員ト雖發言ヲ爲スニハ委員長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

議院法第四十二條ニ「議院ニ於テ議案ヲ委員ニ付シタルトキハ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ委員會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得」トアルモ其ノ發言ヲ爲スニハ委員長ノ許可ヲ受クルヲ要スルノ例ナリ

八九 委員會ニ於テ必要アルトキハ國務大臣及政府委員ノ出席説明ヲ求ム

委員會ニ於テ政府ノ説明若ハ意見ヲ聞ク必要アルトキハ委員長(主査)ヨリ之ヲ國務大臣及政府委員ニ通達シ其ノ出席ヲ求ムルヲ例トス

九〇 政府委員其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互リ答辯ヲ爲シタルコトアリ
政府委員自己ノ管掌スル事項ニ付テノミ答辯ヲ爲スニ止マラス其ノ所屬官廳ノ所管事項全體ニ互

リテ答辯ヲ爲シタルコトアリ

第三十一回議會 大正三年二月四日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ木下成太郎君ハ朝鮮ノ政府委員ノ權限ニ付政府委員ニ辯明ヲ要求シタルニ政府委員荒井賢太郎君ハ「吾々ハ朝鮮總督府ノ全部ヲ代表シテ居リマスカラ吾々ノ知ツテ居ルコトハ何レモ御答スル權限ヲ持ツテ居ルモノト信ジテ居リマス」ト辯明シタルニ木下成太郎君ハ「朝鮮ノ總督府ヲ代表スルト云フコトハ何ニ依テ代表スルコトヲ認メルコトガ出來マス、ソレハ度支部長官ナラ度支部長官、其他ノ長官ナラ責任ヲ以テ答ヘルコトガ官制ノ上ニ認メラレルケレドモ朝鮮ノ政策ニ就テ全體ニ互ツテ承ハルコトガ出來ナイト思ヒマス然ルニ唯今ノ御答辯ハ何ニ依ツテ朝鮮ヲ代表シテ御答辯ニナルコトガ出來テ而シテ全般ノ責任ヲ背負フト云フコトハ何ニ依ツテソレヲ認メルコトガ出來マス」ト述ヘタルニ荒井政府委員ハ「政府委員ト云フモノハサウ云フモノデアルト考ヘテ居リマス」ト答辯セリ是ニ於テ主査植場平君ハ「政府委員ハ總テ責任ノアル人トシテ答ヘルコトデアルト云フノデアリマスカラ尙不足スル所ガアレバ其ノ管轄ノ監督官タルベキ内務大臣ニ御質シニナツタラ宜カラウト思ヒマス」ト述ヘ質問ヲ繼續セリ

九一 委員會ニ於テ政府委員ニ非サル官吏ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ

委員會ニ於テ特殊ノ技術ニ涉ルカ如キ事項ニ付政府委員ニ非サル官吏ノ出席説明ヲ求メタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

第三十九回議會 大正六年七月三日ノ製鐵業獎勵法案委員會ニ於ケル製鐵所次長工學博士服部漸君ノ出席説明

第四十回議會 大正七年一月三十一日ノ軍用自動車補助法案委員會ニ於ケル陸軍省軍務局課員陸軍輜重兵中佐山川良三君ノ出席説明

第四十一回議會 大正八年二月十二日ノ大正七年法律第二十四號中改正法律案委員會ニ於ケル陸軍歩兵中佐堀吉彦君ノ出席説明

第四十六回議會 大正十二年二月十二日ノ東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案委員會ニ於ケル陸軍砲兵中佐黒須辰之助君ノ出席説明

九二 政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルトキハ之ヲ許可スルヲ例

トス

特殊ノ技術ニ涉ルカ如キ事項ニ關シテハ政府委員ヲ補佐スル爲政府委員ニ非サル官吏ヨリ出席發言ヲ求ムルコトアリ此ノ場合ニ於テハ委員長任意ニ之ヲ許可シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ許可シタル

コトアリ最近ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長任意ニ許可シタル例

第四十回議會 大正七年一月三十一日ノ軍用自動車補助法案委員會ニ於ケル陸軍省軍務局課員陸軍輜重兵中佐山川良三君ノ出席發言

第四十一回議會 大正八年二月十八日ノ大正七年勅令第三百七十三號(承諾ヲ求ムル件)外一件委員會ニ於ケル大藏書記官神鞭常孝君ノ出席發言

第四十二回議會 大正九年一月二十六日ノ大正八年勅令第三百四號(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於ケル内務省參事官齋藤守園君外二名ノ出席發言

(二) 衆議ニ諮リテ許可シタル例

第三十七回議會 大正五年一月二十六日ノ砂糖消費税法中改正法律案委員會ニ於ケル大藏書記官今村次吉君ノ出席發言

第四十二回議會 大正九年二月十四日ノ關稅定率法中改正法律案委員會ニ於ケル内務技師野田忠廣君ノ出席發言

第四十四回議會 大正十年三月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル議院建築ニ關スル請願ニ對スル大藏省建築技師矢橋賢吉君ノ出席發言

九三 政府委員ニ非サル官吏ノ退場ヲ命シタルコトアリ

第一回議會明治二十三年十二月二十日ノ豫算委員會ニ於テ尾崎行雄君ヨリ「此處ニ列席セル官吏ハ皆政府委員ナルヤ否ヤ若シ政府委員外ノ官吏アリトセハ此等ノ官吏ハ何ノ規則ニ據リテ列席セルヤ余ハ其ノ入場ヲ許スベキモノニアラズト信ズ」ト述ヘ湯淺次郎君モ亦「尾崎君ノ意見ニ付テハ決議ニ及バズ委員長其ノ職權ヲ以テ退場ヲ命ジテ可ナリ」ト述ヘタルヲ以テ委員長大江卓君ハ政府委員外ノ官吏ニ退場ヲ命セリ

第三節 祕密會

九四 祕密會ハ委員長必要ト認ムルトキ若ハ委員會ノ決議又ハ政府ノ要求ニ依リ之ヲ開ク

委員會ニ於テハ祕密會議ヲ開ク場合ニ關シ議院法第三十七條ノ如キ規定ナキモ委員長之ヲ必要ト認メタルトキ若ハ委員會ノ決議ニ依リ又ハ政府ノ要求アルトキハ之ヲ開ク最近ニ於ケル各場合ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長必要ト認メ開キタル例

第四十回議會 大正七年三月八日ノ重要物産同業組合法中改正法律案委員會ニ於ケル祕密會

第四十五回議會 大正十一年三月十八日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

第四十六回議會 大正十二年三月十九日ノ小作調停法案特別調査委員會ニ於ケル祕密會

(二) 委員會ノ決議ヲ以テ開キタル例

第四十回議會 大正七年一月三十日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

第四十一回議會 大正八年三月十九日ノ阿片法中改正法律案委員會ニ於ケル祕密會

第四十二回議會 大正九年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

(三) 政府ノ要求ニ依リ開キタル例

第四十回議會 大正七年一月二十八日ノ所得税法中改正法律案外十一件委員會ニ於ケル祕密會

第四十五回議會 大正十一年二月七日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第四十六回議會 大正十二年三月十七日ノ朝鮮事業公債法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル

祕密會

九五 祕密會ハ軍事、外交、政策、協議又ハ議員ノ身上ニ關スル事項等ニ付之

ヲ開ク

祕密會ハ委員長必要ト認ムルトキ若ハ委員會ノ決議ニ依リ又ハ政府ノ要求ニ依リテ之ヲ開クモノニシテ其ノ事項ハ主トシテ軍事、外交、政府ノ政策、議員ノ身上等ニ關スル事項ニ涉ル場合又ハ委員相互間若ハ政府ト委員トノ間ニ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ開クヲ例トス

(一) 軍事上ノ祕密ニ關シテ祕密會ト爲シタル例

第三十六回議會 大正四年五月二十八日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第三十七回議會 大正五年二月十九日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

第四十三回議會 大正九年七月十四日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第四十四回議會 大正十年二月四日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第四十五回議會 大正十一年二月七日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第四十六回議會 大正十二年二月五日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

(二) 外交上ノ祕密ニ關シテ祕密會ト爲シタル例

第二十八回議會 明治四十五年三月二日ノ明治四十三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外

三件委員會ニ於ケル祕密會

第二十回議會 大正二年三月二十四日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

第二十九回議會 大正六年七月三日ノ東洋拓殖株式會社法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル

祕密會

(三) 政策上ノ祕密ニ關シテ祕密會ト爲シタル例

第二十五回議會 明治四十二年二月三日ノ國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外二件委員會

ニ於ケル祕密會

第三十七回議會 大正四年十二月十七日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル祕密會

第四十一回議會 大正八年三月十九日ノ阿片法中改正法律案委員會ニ於ケル祕密會

第四十五回議會 大正十一年三月十八日ノ豫算委員會ニ於ケル祕密會

第四十六回議會 大正十二年三月十四日ノ決算委員第五分科會ニ於ケル祕密會

(四) 協議スル爲祕密會ト爲シタル例

第一回議會 明治二十四年二月二十八日政府ノ覆牒ニ對スル豫算案特別委員會ニ於ケル祕密會

第二十四回議會 明治四十一年三月六日ノ關稅定率法輸入稅表中改正法律案委員會ニ於ケル祕

密會

第二十六回議會 明治四十三年三月十二日ノ官吏公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建

議案委員會ニ於ケル秘密會

第三十一回議會 大正三年三月十六日ノ裁判所構成法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル秘密會

(五) 議員ノ身上ニ關スル爲秘密會ト爲シタル例

第二十回議會 明治三十七年三月二十四日ノ秋山定輔君ニ關スル調査ノ件委員會ニ於ケル秘密會

九六 懲罰委員會ハ秘密會トス

衆議院規則第九十七條ニ「懲罰事犯ノ議事ハ秘密會議ヲ以テス」ト規定セラレルカ故ニ委員會ニ於テモ懲罰事犯ニ關スル會議ハ秘密會トス但シ議員ノ傍聽ヲ禁セス唯第五回議會明治二十六年十二月四日ノ懲罰委員會ニ於テ星亨君懲罰ノ件ヲ審査スルニ當リ百万梅治君ハ本會ヲ秘密會トナスヘキ動議ヲ提出シタルニ採決ノ結果否決トナリタルヲ以テ委員長ハ秘密會トナササル旨ヲ宣告セリ

九七 秘密會ニ於テ議員ノ傍聽ヲ禁止シタルコトアリ

議員ノ傍聽ニ付テハ議院法第二十三條ニ「常任委員會及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス但シ委

員會ノ決議ニ由リ議員ノ傍聽ヲ禁スルコトヲ得」ト規定セラレ委員會ハ之ヲ秘密會ト爲ス場合ト雖仍議員ノ傍聽ヲ禁セサルヲ例トスルモ之ヲ禁止シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

第十二回議會 明治三十一年六月一日ノ地租條例中改正法律案外一件委員會ニ於テ秘密會ヲ開

キタルトキ大竹貫一君ヨリ「秘密會ナレトモ、議員ノ傍聽ハ許シテ差支ナカルヘシ」ト述フルヤ和田彦次郎君ハ「秘密會ニ於テ、委員外ノ者ニ其ノ傍聽ヲ許ササルハ當然ノコトニアラスヤ」ト述ヘタルヲ以テ委員長林有造君ハ傍聽ヲ禁スル旨ヲ宣告セリ

第二十回議會 明治三十七年三月二十五日ノ秋山定輔君ニ關スル調査ノ件委員會ニ於テ秘密會ヲ開キタルトキ望月長夫君ヨリ「議員ノ傍聽ヲモ禁スヘシ」トノ意見ヲ提出シ委員長肥塚龍君之ヲ衆議ニ諮リタルニ委員會ハ多數ヲ以テ之ヲ可決セリ

第二十六回議會 明治四十三年二月七日ノ請願委員第一分科會ニ於テ韓國移民法制定ノ件ニ付秘密會ヲ開キタルトキ主査町田且龍君ハ「委員諸君ノ外ハ御退席ヲ願ヒマス」ト宣告セリ

第二十八回議會 明治四十五年三月八日ノ臘虎臘臘獸獵獲禁止ニ關スル法律案外一件委員會ニ於テ秘密會ヲ開キタルトキ委員長塚田啓太郎君ハ「ソレテハ是カラ秘密會ヲ開キマスカラ、委員諸君、政府委員及大臣ヲ除クノ外ハ、皆ナ退場ヲ願ヒマス」ト宣告セリ

第四十四回議會 大正十年二月四日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ秘密會ヲ開キタルトキ主査澤

來太郎君ハ「祕密會ヲ開キマス就キマシテハ委員外ノ諸君ノ御退場ヲ願ヒマス」ト宣告セリ

九八 祕密會ニ於テハ所管以外ノ政府委員ノ退場ヲ命シタルコトアリ

祕密會ニハ所管政府委員ノ臨席ヲ禁セサルモ所管以外ノ政府委員ニ退場ヲ命シタルコトアリ
第二十六回議會 明治四十三年二月五日ノ豫算委員第一分科會ニ於テ外交ノ件ニ付祕密會ヲ開キタルトキ主査渡邊修君ヨリ「議員外ノ御方ハ暫時御退場ヲ願ヒマス」ト宣告シタルヲ以テ所管政府委員(外務省)外ノ政府委員ハ直ニ退場セリ

第二十八回議會 明治四十五年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ犬養毅君ノ要求ヲ容レ外交ノ件ニ付祕密會ヲ開キタルトキ委員長野田卯太郎君ヨリ所管以外ノ政府委員ハ出席ノ必要ナキヲ以テ退席アリタキ旨ヲ宣告シタルヲ以テ所管政府委員(外務省)外ノ政府委員ハ退場セリ

九九 祕密會ノ速記(筆記)ハ之ヲ刊行セス

祕密會ニハ速記(筆記)ヲ附シ又ハ之ヲ附セサルコトアリ而シテ速記ヲ附シタル場合ニ於テモ其ノ速記ハ之ヲ刊行セス密封保存スルヲ例トス

第二十回議會 明治三十七年二月二十四日ノ秋山定輔君ニ關スル調査ノ件委員會ニ於テハ小河

源一君ノ速記録ヲ作成スヘシトノ意見ヲ容レ速記ヲス附ルニ決セリ

第二十七回議會 明治四十四年三月十七日ノ請願委員會ニ於テ第二辰丸拘留損害金下付ノ件ニ付祕密會ヲ開キタルトキ武藤金吉君ヨリ速記ヲ附スヘシトノ發議アリ之ニ對シ委員長福井三郎君ハ「ソレテハ別ニ御異議ナイヤウデアリマスカラ其事ニ取計ヒマス、委員長ガ保管シテ議長ノ方ニ保管ヲ申出ルト云フコトニ致シマス」ト宣告セリ

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日ノ請願委員會ニ於テ第二辰丸損害賠償金下付ノ件ヲ議スルニ當リ委員長武藤金吉君ヨリ「昨年ハ此問題ニ付テハ祕密會ヲ開イテアリマスガ、祕密會ヲ開イテ審議スルト云フコトガ穩當デアラウト思ヒマス、昨年ハ速記ヲ附シテ議長ノ手許ニ存シテ置キマシタカラ、本年モ速記ヲ止メナイデ速記ダケハ致シマシテ、議長ノ手許ニ保存シテ置イテ議事ヲ進行スル方ガ宜シカラウト思ヒマス如何デス」ト諮リタルニ異議ナカリキ
同月二十二日ノ請願委員會ニ於テ同請願ニ付祕密會ヲ解クニ當リ委員長武藤金吉君ヨリ「此祕密會ノ速記録ハ保存シマシテ議長ノ手許ニ保存シテ置クコトニ致シマス」ト告ケタリ

第二十五回議會 大正三年十二月十二日ノ豫算委員會ニ於テ委員石田仁太郎君ノ質問カ國交上並ニ軍事上ニ關係スルヲ以テ政府ノ要求ニ基キ祕密會ヲ開クコトニ決シ委員長大岡育造君「ソレデハ祕密會ヲ開キマス——御諮リヲ致シマス、祕密會ノコトデハアリマスケレドモ、從

來速記ハ之ヲ存シテ密封シテ後日ノ證左ニ留メルト云フコトニシテ置キタイト思ヒマスガ如何デスカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ速記ヲ附シタリ

第四節 速記中止

100 祕密會ニ非サル場合ニ委員長(主査)必要ト認メタル爲又ハ委員會ノ決議ニ依リ速記(筆記)ヲ中止シタルコトアリ

祕密會ヲ開クノ宣告ヲ爲ササルモ委員長(主査)必要ト認メタルトキ又ハ政府ノ要求若ハ委員會ノ決議ニ依リテ速記ヲ中止シタルコトアリ最近ニ於ケル各場合ノ事例左ノ如シ

(一) 委員長(主査)必要ト認メ中止シタル例

第四十三回議會 大正九年七月二十三日ノ非役壯丁税法案委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十四回議會 大正十年二月二十三日ノ請願委員第四分科會ニ於ケル速記ノ中止

第四十六回議會 大正十二年三月二日ノ神社調査會設置ニ關スル建議案外二件委員會ニ於ケル速記ノ中止

速記ノ中止

第四十七回議會 大正十二年十二月二十二日ノ請願委員會ニ於ケル速記ノ中止

(二) 委員會ノ決議ニ依リ中止シタル例

第三十五回議會 大正三年十二月十八日ノ豫算委員第一分科會ニ於ケル速記ノ中止

第三十七回議會 大正五年二月十八日ノ決算委員第三分科會ニ於ケル速記ノ中止

第四十一回議會 大正八年三月十三日ノ朝鮮神社ニ奉蓋男尊奉祀ニ關スル建議案委員會ニ於ケル速記ノ中止

ル速記ノ中止

第四十六回議會 大正十二年三月八日ノ電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案委員會ニ於ケル速記ノ中止

ル建議案委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十七回議會 大正十二年十二月二十日ノ帝都復興計畫法案外二件委員會ニ於ケル速記ノ中止

止

101 軍事、外交、政策又ハ協議等ニ關スル場合ニハ速記ヲ中止スルヲ例トス

軍事、外交又ハ政府ノ政策ニ關シ祕密ニ涉ル場合若ハ協議懇談等ノ場合ニ於テ祕密會ヲ開クノ宣告ヲ爲ササルモ委員長(主査)必要ト認メタルトキ又ハ政府ノ要求若ハ委員會ノ決議アリタルトキハ速記(筆記)ヲ中止スルヲ例トス

(一) 軍事上ノ祕密ニ關スル爲中止シタル例

第三十五回議會 大正三年十二月二十一日ノ豫算委員第四分科會ニ於ケル速記ノ中止

第三十七回議會 大正四年十二月二十二日東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ据置運轉資本増加ニ關スル法律案委員會ニ於ケル速記ノ中止

(二) 外交上ノ祕密ニ關スル爲中止シタル例

第二十五回議會 明治四十二年二月三日ノ國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外二件委員會ニ於ケル速記ノ中止

第三十回議會 大正二年三月二十四日ノ豫算委員會ニ於ケル速記ノ中止

第三十一回議會 大正三年三月二十二日ノ豫算委員會ニ於ケル速記ノ中止

(三) 政策上ノ祕密ニ關スル爲中止シタル例

第三十七回議會 大正五年二月二日ノ豫算委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十一回議會 大正八年三月十七日ノ片法中改正法律案委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十二回議會 大正九年二月五日ノ大正八年勅令第三百四號(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於ケル速記ノ中止

(四) 協議又ハ懇談ヲ要スル爲中止シタル例

第二十九回議會 大正六年六月三十日ノ軍人恩給法中改正法律案委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十回議會 大正七年二月九日ノ裁判所ノ設立ニ關スル法律案外一件委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十一回議會 大正八年三月十一日ノ會計士法案委員會ニ於ケル速記ノ中止

第四十三回議會 大正九年七月十七日ノ明治四十一年法律第三十七號中改正法律案委員會ニ於ケル速記ノ中止

ケル速記ノ中止

第四十七回議會 大正十二年十二月十七日ノ保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外一件委員會ニ於ケル速記ノ中止

第三章 議案ノ審査

第一節 審査ノ開始及期間

一〇二 豫算案ノ審査ハ提出ノ報告アリタルトキヨリ之ヲ開始ス

政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ議院會議ニ付セス議長カ議場ニ於テ提出ノ報告ヲ爲シタルトキヲ以テ直ニ委員ニ付託セラレタルモノト認ムルノ例ナリシモ衆議院公報ノ發刊セラレテヨリ議長ノ報告ニ先テ公報ニ掲載セラレタル場合ハ之ヲ以テ報告アリタルモノト看做スコトトナレリ而シテ其ノ審査ハ公報掲載ノ日以後之ヲ開始スルヲ例トシ最近ニ於テハ議院會議ニ於テ國務大臣ノ施政方針ニ關スル演説及之ニ對スル質疑應答ヲ終リタル後審査ヲ開始スルノ例トナレリ然レトモ右質疑應答永キニ亘ルトキハ其ノ終了ヲ俟タスシテ審査ヲ開始シタルコトアリ又豫算追加案ニシテ緊急事項ニ屬スルカ若ハ會期切迫セル場合ノ如キハ提出ノ報告ヲ俟タスシテ審査ヲ開始シタルコトアリ其ノ事例左ノ如シ

第四回議會 明治二十六年二月二十四日ノ提出ニ係ル明治二十六年度歳入歳出總豫算追加案

(傳染病研究所補助費)ハ翌二十五日ノ議院會議ニ於テ議長ヨリ提出ノ報告アリタルモ委員會

ニ於テハ其ノ報告前即チ二十四日ノ會議ニ於テ審査ヲ結了セリ

第八回議會 明治二十八年二月二十四日ノ提出ニ係ル明治二十七年歳入歳出豫算追加案(國葬費)ハ翌二十五日午後一時十七分開會ノ議院會議ニ於テ議長ヨリ提出ノ報告アリタルモ委員會ニ於テハ其ノ報告前即チ同日午前十一時十分ニ會議ヲ開キ本案ノ審査ニ著手セリ

第十三回議會 明治三十一年十二月十七日ノ提出ニ係ル(第四號)明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(遞信費、營繕費)ハ同月十九日午後一時十五分開會ノ議院會議ニ於テ議長ヨリ提出ノ報告アリタルモ委員會ニ於テハ其ノ報告前即チ同日午前十時二十分ヨリ午後零時二十六分マテノ間ニ於テ本案ノ審査ヲ結了セリ

一〇三 豫算案ノ審査期間ハ議長ノ報道又ハ衆議院公報掲載ノ日ヨリ起算ス

議院法第四十條ニ「政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取りタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ」トアリテ近來審査期間ハ議長議場ニ於テ報道セル日又ハ衆議院公報ニ提出ノ掲載ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算スルノ例トナレリ

一〇四 決算ノ審査ハ提出ノ報告アリタルトキヨリ之ヲ開始ス

政府ヨリ決算ヲ提出シタルトキハ議院會議ニ付セス議長カ議場ニ於テ提出ノ報告ヲ爲シタルトキヲ以テ直ニ委員ニ付託セラレタルモノト認ムルノ例ナリシモ衆議院公報發刊セラレテヨリ議長ノ報告ニ先テ衆議院公報ニ掲載セラレタル場合ハ之ヲ以テ報告アリタルモノト看做スコトト爲レリ而シテ其ノ審査ハ公報掲載ノ日以後ニ於テ開始スルヲ例トス

一〇五 前議會ニ於テ決算ノ審査ヲ終ラサル場合ニハ次ノ會期ニ委員長任意ニ審査ヲ開始シ又ハ議長其ノ審査ヲ命ス

決算ハ一タヒ提出セラレタルトキハ其ノ會期ニ於テ審査セラレサリシ場合ニ於テモ次ノ會期ニ再ヒ提出セラルルコトナシ而シテ其ノ審査ハ次ノ會期ニ於テ委員長任意ニ之ヲ開始シ又ハ議長議場ニ於テ其ノ審査ヲ爲スヘキ旨ヲ命セリ

(一) 委員長任意ニ開始シタル例

第十八回議會 明治三十六年五月十五日ノ決算委員會ニ於ケル明治三十三年度決算(第十七回議會明治三十五年十二月二十八日提出)ノ審査

第四十三回議會 大正九年七月八日ノ決算委員會ニ於ケル大正六年度歳入歳出總決算大正六年度各特別會計歳入歳出決算(第四十二回議會大正九年一月三十一日提出)ノ審査

(二) 議長審査ヲ命シタル例

第三十五回議會 大正三年十二月十六日ノ議院會議ニ於テ第三十一回議會ニ於テ審査未了トナリシ明治四十四年度歳入歳出總決算(大正三年二月二日提出)ニ對シ議長奥繁三郎君ハ「決算委員ノ諸君ニ一言致シマス第三十一議會ニ提出サレマシタ明治四十四年度歳入歳出決算ノ審査未了ノ儘ニ相成ツテ居リマス是ハ先例ニ依リマシテ此際審査ニ著手セラレンコトヲ望ミマス」ト宣告シ審査ヲ命シタルモ解散ノ爲之ヲ爲スニ至ラサリキ

第三十六回議會 大正四年五月二十二日ノ議院會議ニ於テ審査未了ノ明治四十四年度歳入歳出總決算(大正三年二月二日提出)及^{明治四十五年}大正元年度歳入歳出總決算(大正三年十二月二十五日提出)ニ對シ議長島田三郎君ハ「決算委員ノ諸君ニ申シマスルガ前例ニ依リ第三十一回議會及第三十五回議會ニ提出セラレタル決算ヲ本會期ニ於テ審査セラレムコトヲ望ミマス」ト宣告シ未了決算ノ審査ヲ命セリ決算委員ハ同月二十四日審査ニ著手シ執レモ之カ審査ヲ完了シ議院ニ報告セリ

第四十回議會 大正七年一月二十九日ノ議院會議ニ於テ副議長濱田國松君ハ「第三十九回議會ニ提出サレマシタ大正三年度歳入歳出決算ハ同會期ニ於テ再審査ニ付スルコトニ決定シタル儘ニ爲ツテ居ルノデアリマス就キマシテハ先例ニ依テ此際審査ニ著手セラレム事ヲ希望致シ

マス」ト宣告シ審査ヲ命シタルニ決算委員ハ大正七年二月二十日大正四年度ノ決算ト共ニ其ノ審査ヲ終了シ議院ニ報告セリ

一〇六 懲罰委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ

第二十五回議會明治四十二年三月二十四日ノ議院會議ニ於テ藏原惟郭君ニ對スル懲罰事犯ヲ委員ニ付託スルニ當リ議長長谷場純孝君ハ「會期切迫ノ今日ノ場合デアリマスカラ速ニ委員會ヲ開イテ相當ノ處置ヲ執ラレンコトヲ望ミマス」ト宣告シタル後大岡育造君ヨリ「唯今懲罰委員ニ附セラレタル問題ヲ極メタイト思ヒマス六時マデニ時間ニ時ヲ限ッテ報告スヘキコトヲ可決シテ議長ヨリ委員會ニ御達シニナルコトヲ希望致シマス」トノ緊急動議ヲ提出シタルニ院議異議ナク之ヲ可決シ同日午後六時迄トノ審査期限ヲ附シタリ

一〇七 請願ノ審査ハ文書表調製後之ヲ開始スルヲ例トス

請願紹介議員ヨリ請願書ヲ議院ニ呈出スルトキハ議長ハ之ヲ請願委員ニ送付シ請願委員ハ之ニ對シ請願文書表ヲ調製シタル後其ノ審査ヲ開始スルヲ例トスルモ會期切迫ノ爲文書表調製以前ニ之ヲ審査シタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

第三十九回議會 大正六年七月十二日ノ請願委員會ニ於ケル養蜂獎勵ニ關スル件外二件及同月

十三日ノ同委員會ニ於ケル小學校教員俸給國庫支辨ノ件外四件

第四十回議會 大正七年三月二十五日ノ請願委員會ニ於ケル矢田野郵便局ニ電信又ハ電話事務開始ノ件外二件

第四十一回議會 大正八年三月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル臺灣取引所設立速成ノ請願外四件

第四十三回議會 大正九年七月二十六日ノ請願委員會ニ於ケル衆議院ニ 玉座ノ設置並貴族院ノ皇族席撤廢ノ件外二十五件

一〇八 請願ノ緊急審査ヲ命シタルコトアリ

衆議院規則第一百五十三條ニ「議員簡短ナル説明書ヲ以テ一ノ請願ニ對シ至急ノ審査ヲ議院ニ請求スルトキハ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ取り時日ヲ限リ請願委員ニ付託スヘシ」トアリテ議院ハ請願ノ緊急審査ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ期限ヲ附スルヲ本則トスルモ第四回議會明治二十六年一月十二日ノ議院會議ニ於テ丸山名政君ヨリ岐阜震災土木工事實地調査ノ件ニ關スル請願ニ付衆議院規則第一百五十三條ニ依リ至急ノ審査ヲ請求シタルトキ議長ハ之ヲ院議ニ諮ヒ

可決シタルモ其ノ審査ニ期限ヲ附セザリキ

一〇九 分科ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ

分科ノ審査ニ期限ヲ附スル必要アル場合ニ於テ委員長任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ附シタルコトアリ

(一) 委員長任意ニ期限ヲ附シタル例

第十回議會 明治三十年一月二十日ノ請願委員會ニ於テ委員長小室重弘君ハ各分科ニ次回マテトノ審査期限ヲ附ス

第十四回議會 明治三十三年二月一日ノ決算委員會ニ於テ委員長石黒涵一郎君ハ各分科ニ十日迄トノ審査期限ヲ附ス

(二) 衆議ニ諮リテ期限ヲ附シタル例

第六回議會 明治二十七年五月十八日ノ豫算委員會ニ於テ各分科ニ五日間トノ審査期限ヲ附ス
第九回議會 明治二十九年一月十六日ノ豫算委員會ニ於テ各分科ニ二日間トノ審査期限ヲ附ス
第十六回議會 明治三十五年二月二十六日ノ決算委員會ニ於テ各分科ニ明日中トノ審査期限ヲ附ス

第三十回議會 大正二年三月七日ノ決算委員會ニ於テ各分科ニ三月十六日迄トノ審査期限ヲ附ス

第四十二回議會 大正九年二月二十五日ノ決算委員會ニ於テ各分科ニ二週間トノ審査期限ヲ附ス

一一〇 特別委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ

衆議院規則第五十五條ニ「議院ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得」ト規定セラレ議院ニ於テ委員付託ノ際又ハ委員ノ審査中本條ニ依リ其ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ事例左ノ如シ

(一) 付託ノ際ニ期限ヲ附シタル例

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日ノ議院會議ニ於テ國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案ヲ委員ニ付託スルニ當リ三日間トノ審査期限ヲ附ス

同月二十六日ノ議院會議ニ於テ裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案ヲ委員ニ付託スルニ當リ二日間トノ審査期限ヲ附ス

第二十五回議會 明治四十二年二月十六日ノ議院會議ニ於テ田坂初太郎君外二名議員資格ニ關スル件ヲ委員ニ付託スルニ當リ來二十日マテトノ審査期限ヲ附ス

(二) 審査中ニ期限ヲ附シタル例

第二十二回議會 明治三十九年三月十九日ノ議院會議ニ於テ二月十七日ニ選定シタル宅地地價修正法案委員ノ審査中六日間トノ審査期限ヲ附ス

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日ノ議院會議ニ於テ同月十八日ニ選定シタル公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案委員ノ審査中三日間トノ審査期限ヲ附ス

一一一 委員中委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ

委員中委員ノ審査ニ期限ヲ附シタルコトアリ而シテ此ノ場合ニ於テ委員長ハ任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ附シタリ

(一) 委員長任意ニ審査期限ヲ附シタル例

第二十七回議會 明治四十四年三月十日ノ商法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長鳩山和夫君ハ特別調査委員ニ同月十七日迄トノ審査期限ヲ附ス

第三十回議會 大正二年三月六日ノ私立學校用地免租ニ關スル法律案委員會ニ於テ委員長荒川

五郎君ハ「島田君ト林君ト、提案者ノ久保君ト、此御三名ヲ修正委員ニ御願ヒ致シマス、ソレデハ今日ハ是デ止メマシテ修正委員ノ御方ハ日限ヲ切リマスカ——ソレデハ修正委員ノ御方ハ後へ御残り下サツテ、方法ヲ御相談ヲ願ヒマス云々」ト述ヘ特別修正委員設置當日ヲ以テ審査期限ト爲ス

第三十六回議會

大正四年六月二日ノ無盡業法案外一件委員會ニ於テ委員長本田恒之君ハ「此

案ハ非常ニ政府ニ於テ急イデ居リマスカラ、本日ノ午後三時迄ニ其懇談ヲセラル、コトニ願ツテ(中略)午後三時カラ更ニ此會ヲ開キマスカラ特別委員ノ方ハソレマデニ御懇談下サルヤウニ願ヒマス」ト述ヘ特別委員設置當日ノ午後三時迄ヲ審査期限ト爲セリ

(二) 衆議ニ諮リテ審査期限ヲ附シタル例

第十六回議會

明治三十五年二月七日ノ賣藥印紙稅規則廢止法律案外一件委員會ニ於テ委員長

高須賀穰君ハ「協議委員ハ來週ノ月曜日マデニ審査ヲナシ報告スルコトト定メタシ」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ協議委員ノ審査ニ期限ヲ附シタリ

第二十二回議會

明治三十九年三月十日ノ請願委員第一分科會ニ於テ主査福井三郎君ハ「下調

委員ニ對シ日ニチヲ限ルト云ツテモ、サウ近クテハ間ニ合ヒマスマイカラ一週間位ヲ期シタラドウデス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ審査期限ヲ附シタリ

一一一 審査期限ヲ延期シタルコトアリ

議院ニ於テ定メタル審査期限ニ付テハ議院ノ許可ヲ得、委員長ニ於テ定メタル審査期限ニ付テハ委員長ノ許可ヲ得テ之ヲ延期シタルコトアリ

(一) 議院ニ於テ定メタル審査期限ヲ延期シタル例

第八回議會

明治二十八年二月二十八日ノ議院會議ニ於テ移民保護法案ヲ委員ニ付託スルニ當

リ一週間トノ審査期限ヲ附セリ然ルニ三月六日ノ議院會議ニ於テ委員長工藤行幹君ヨリ報告期限ノ猶豫ヲ請求シタルニ議院ハ異議ナク之ヲ許可シタルヲ以テ委員會ハ同月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(二) 委員長ノ定メタル審査期限ヲ延期シタル例

第十回議會

明治三十年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ委員長元田肇君ヨリ各分科ノ審査ニ

二十八日マテトノ審査期限ヲ附セリ然ルニ同月二十七日ノ第一分科會ニ於テ主査湯本義憲君ハ右期間ノ延長ヲ報告シ「只今委員長ノ方ヘ向ケテ照會シタ處ガ各科トモ明後二十九日マデニハ必ズ議決ヲシテ貰ハンケレバナラヌ斯様ナ通知ガアリマシタ左様御承知アランコトヲ望ミマス」ト宣告セリ

第二節 審査ノ方法

一一三 政府提出案ニ付テハ審査ノ始ニ於テ國務大臣又ハ政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス

政府提出案ニ付テハ委員會ニ於テ審査開始ノ際國務大臣若ハ政府委員ヨリ先ツ議案提出ノ趣旨ヲ辯明スルカ又ハ委員ノ質問ニ對シ併セテ之カ辯明ヲ爲スヲ例トスルモ此等ノ辯明ナクシテ直ニ討議ニ入りタルコトアリ

一一四 議員提出案ニ付テハ提出者ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス

議員提出案ニ付テハ提出者委員中ニ加ハルコト多キヲ以テ該委員ヨリ隨時提案ノ理由ヲ辯明スルモ提出者委員中ニ加ハラサルトキハ委員長ノ許可ヲ得又ハ委員會ノ請求ニ依リテ委員會ニ出席シ提案ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トスルモ之ヲ爲ササリシコトアリ

一一五 政府提出案ニ付テハ國務大臣若ハ政府委員ニ質問ヲナシタル後討議

ニ移ルヲ例トス

政府提出案ニ付テハ會議ノ始ニ於テ國務大臣若ハ政府委員ヨリ提案ノ趣旨ヲ辯明シ而シテ委員ヨリ之ニ對シ質問ヲ爲シタル後討議ニ入ルヲ例トスルモ之ヲ爲サスシテ直ニ討議ニ移リタルコトアリ

一一六 貴族院提出案又ハ議員提出案ニ付テハ政府委員ニ質問ヲ爲シタル後討議ニ移ルヲ例トス

貴族院提出案又ハ議員提出案ニ付テハ政府委員ニ質問ヲ爲シ然ル後其ノ討議ニ移ルヲ例トスルモ之ヲ爲サスシテ討議ニ入りタルコトアリ

一一七 質問及答辯ハ口頭ヲ以テス

委員會ニ於ケル質問應答ハ數字ニ涉ルカ如キ場合ヲ除クノ外口頭ヲ以テスルヲ例トス

第三十一回議會 大正三年一月二十二日ノ豫算委員會ニ於テ大石正己君ノ外交ニ關スル質問ニ對シ外務大臣牧野伸顯君ハ「ソレハドウゾ書面ヲ以テ御質問ヲ願ヒマス」ト述ヘタルニ委員長改野耕三君ハ「書面ト云フコトハアリマセヌ」ト宣告セリ

第三十九回議會 大正六年六月二十八日ノ豫算委員會ニ於テ島田三郎君ノ臨時外交調査委員會ニ關スル質問ニ對シ内閣總理大臣伯爵寺内正毅君ハ答辯ノ後「錯綜シタル事項ニ付テハ書面ニテ應答スルモ差支ナイヤウニ思フ」ト述ヘ翌二十九日ノ同委員會ニ於テ野村嘉六君ト寺内内閣總理大臣トノ間ニ「委員會ニ於ケル質問ニ對シ書面ニテ答辯シテ差支ナキヤ」ニ付テ質問應答ヲ重ネタルニ委員長山本悌二郎君ハ「元來委員會ノ性質カラ申シマスレハ其目的トスル所ハ口頭ヲ以テ委曲應酬ヲ重ネテ審議ヲ盡サシメルト云フコトハ勿論デアリマス文書ノ答辯ハ誤解ヲ避ケル點ニ於テハ便利ガアルカモ知レマセヌケレトモ一面ニ於テハソレガ爲メニ相互ノ意思ノ疏通ヲ妨ゲルト云フコトガ有ルノハ無論デアリマス、ソレ故ニ委員會ノ進行ノ仕方ト致シトシテハ、委員ヨリ承認シタル場合、若クハ委員ヨリ希望シタル場合、又ハ數字ニ亘ル問題等ノ場合ヲ除クノ外ハ、口頭ヲ以テ質問シ、口頭ヲ以テ答辯スルト云フコトヲ原則ニ致サナケレバナリマセヌ」ト宣告セリ

一一八 質問ハ大體ヨリ逐條ニ入り若ハ兩者ヲ同時ニ又ハ豫メ綱目ヲ定メテ之ヲ爲ス

質問ヲ爲スノ順序ハ委員長任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ定メ重要ナル議案ニ付テハ大體ノ質問ヲ

爲シ次テ逐條ノ質問ニ入ルヲ例トスルモ簡單ナル議案ニ付テハ大體ト逐條トヲ分タス同時ニ質問ヲ爲シ又ハ豫メ綱目ヲ定メテ質問ヲ爲シタルコトアリ

一一九 質問終了ノ宣告ハ委員長(主査)任意ニ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ爲ス

質問終了セルトキハ委員長(主査)ハ任意ニ其ノ宣告ヲ爲シ又ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

一二〇 質問終了ノ宣告後ハ質問ヲ許サス

委員長(主査)質問終了ノ宣告ヲ爲シタル後ハ質問ヲ許ササルモノトス然ルニ第四十一回議會大正八年二月八日ノ鐵道敷設法中改正法律案外一件委員會ニ於テ質問終了ノ宣告後東武君ハ「質問ハ終了ニナツテ居リマスルガ、一ツ極ク簡單デゴザイマスカラ、質問ヲ御許シテ願ヒタイ」ト述ヘタルニ委員長江藤哲藏君ハ同君ニ質問ノ要旨ヲ問ヒ而シテ其ノ許否ヲ衆議ニ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ之ヲ許可セリ

一二一 貴族院ノ修正ヲ經タル議案ハ之ヲ原案トシテ審査スルヲ例トスルモ政府ノ原案ト併セテ議題ニ供シタルコトアリ

貴族院ニ於テ修正シタル議案ヲ衆議院ニ送付シタルトキハ衆議院ハ貴族院ノ修正案ヲ原案トシテ
審査スルヲ例トスルモ同時ニ政府ノ原案ヲ併セテ議題ニ供シタルコトアリ

第十四回議會ニ於テ政府ハ市町村立小學校教育費國庫補助法案ヲ先キニ貴族院ニ提出シ貴族院
ハ之ニ修正ヲ加ヘテ本院ニ送付シタルヲ以テ本院ハ之ヲ委員ノ審査ニ付シタルニ明治三十三年
年二月九日ノ該法案委員會ニ於テ同案ノ討議ヲ爲スニ當リ委員長工藤行幹君ハ原案ト貴族院
修正案トヲ併セテ議題ニ供スル旨ヲ宣告セリ

第二十回議會ニ於テ政府ハ刑事略式手續法案ヲ先キニ貴族院ニ提出シタルニ貴族院ハ之ニ修正
ヲ加ヘ本院ニ送付シタルヲ以テ本院ハ之ヲ委員ノ審査ニ付シタルニ大正二年三月二十五日ノ
該法案委員會ニ於テ同案ノ討議ヲ爲スニ當リ委員長鶴澤總明君ハ貴族院修正案ト政府ノ原案
トヲ併セテ議題ニ供スル旨ヲ宣告セリ

一一三 同種ノ政府提出案ト議員提出案トヲ同一委員ニ付託セラレタル場合

ニ於テハ兩者ヲ同時ニ又ハ其ノ孰レカノ一案ヲ基礎トシテ審査ヲ爲ス

同種ノ政府提出案ト議員提出案トヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ政府提出案ヲ基礎ト
シ若ハ議員提出案ヲ基礎トシテ審査ヲ爲シ又ハ同時ニ兩者ノ審査ヲ爲ス

(一) 政府提出案ヲ基礎ト爲シタル例

第十五回議會 明治三十四年二月十五日ノ登録税法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル各案ノ
審査

(二) 議員提出案ヲ基礎ト爲シタル例

第十回議會 明治三十年二月二十五日ノ集會及政社法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル各案
ノ審査

(三) 同時ニ審査ヲ爲シタル例

第十四回議會 明治三十三年二月十四日ノ農工銀行法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル各案
ノ審査

第十五回議會 明治三十四年二月十三日ノ水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案外七件委員會

ニ於ケル各案ノ審査

第三十一回議會 大正三年二月二十三日及三月五日ノ登録税法中改正法律案外一件委員會ニ於
ケル兩案ノ審査

一一三 同種ノ貴族院提出案ト議員提出案トヲ同一委員ニ付託セラレタル場

合ニ於テ貴族院提出案ヲ基礎トシテ審査シタルコトアリ

第三回議會明治二十五年六月六日ノ民法商法施行延期法律案外二件委員會ニ於テハ貴族院提出案ヲ基礎トシテ審査セリ

一二四 別種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テ衆議ニ諮リテ審査ノ順序ヲ定メタルコトアリ

別種ノ議案ヲ同一委員ニ併セ付託セラレタル場合ニ於テハ委員長任意ニ其ノ審査ノ順序ヲ定ムルヲ例トスルモ衆議ニ諮リテ之ヲ定メタルコトアリ

第三十六回議會 大正四年六月二日ノ軍人恩給法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長富田幸次郎君ハ「是デ提出者ノ御説明ハ濟ンダ譯デアリマス是ヨリ質問ニ移ルニ當リマシテ、ドウデセウカ建議案ノ質問ニ移リマシテハ……」ト衆議ニ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ先ツ出征軍人家族廢兵、戰病死者遺族救護ニ關スル建議案ヲ議題ニ供セリ

第三十九回議會 大正六年六月二十八日ノ東洋拓殖株式會社法中改正法律案外一件委員會ニ於テ委員長小林源藏君ハ「如何デ御座イマスカ、中西君ノ御發議通り、北海道拓殖事業ノ方カラ

議題ニ供スルコトニ……」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ先ツ北海道拓殖鐵道建設費利子支出ニ關スル法律案ヲ議題ニ供セリ

第三十九回議會 大正六年六月三十日ノ臨時國庫證券法案外三件委員會ニ於テ委員長江藤哲藏君ハ「ソレデハ是カラ臨時國庫證券外三件ノ委員會ヲ開キマス、一寸議事ノ順序方法ヲ御諮リシマスカ先ヅ臨時國庫證券法案、其他ノモノヲ各案毎ニ質問ヲ試ミテ、サウシテ四件悉ク質問ガ終ツタ上デ討議決定シタイト思ヒマスガ、ソレデ御異存アリマセヌカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ先ツ臨時國庫證券法案ヲ議題ニ供セリ

第四十六回議會 大正十二年三月十六日ノ宮崎縣中央山手線鐵道敷設ニ關スル建議案委員會ニ於テ委員長原田十衛君ハ「此委員會ハ都合四ツ付託サレテ居ルノデアリマスガ便宜上一案ヅツ議題ニ供シタイト思ヒマス順序カラ言ヘバ宮崎縣中央山手線鐵道敷設ニ關スル建議案此方ガ第一ニナツテ居リマスケレドモ一宮君ノ御關係ノ案ガアリマシテ是ハ説明ヲ急グヤウデアリマスカラ此方ヲ先ニ説明ダケ聽クコトニ致シタイト思ヒマス御異議ハアリマセヌカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ先ツ一宮房治郎君外三名提出森四日市間鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ニ供セリ又同日ノ北海道本州連絡完成ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ委員長木下成太郎君ハ「政府委員ノ都合ヲ考ヘマシテ此場合日程ノ第二北海道治水ニ關スル建議案之

ヲ議題ニ供シタイト思ヒマス」ト述ヘ委員ノ賛成ヲ得タルヲ以テ先ツ北海道治水ニ關スル建議案ヲ議題ニ供セリ

一一五 別種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ各案ヲ同時ニ審査シタルコトアリ

別種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ各案ノ審査順序ヲ定メテ審査スルヲ例トスルモ各議案牽聯セルカ又ハ極メテ簡單ナル場合ニ同時ニ各案ノ審査ヲ爲シタルコトアリ

第三十一回議會 大正二年二月三日ノ蠶絲業法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長武藤金吉君ハ「便宜上私ノ提出ヲ致シマシタ蠶絲業法中ノ改正律道案ト、小西君ノ御提出ニナリマシタ蠶絲業法中ノ改正案及小西君ノ御提出ニナリマシタ蠶業講習所ヲ高等專門學校ニ改ムルノ建議案ヲ、一括シテ審議ヲ致シタイト思ヒマス」ト述ヘ三案ヲ同時ニ審査セリ

第三十一回議會 大正二年二月十二日ノ執達吏規則中改正法律案外一件委員會ニ於テ委員長田代進四郎君ハ「是ヨリ執達吏規則改正案ト手數料規則改正案トヲ一括シテ議ニ付シテ宜シウゴザイマスカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ兩案ヲ一括シテ審査セリ

第四十六回議會 大正十二年三月十三日ノ産業組合法中改正法律案外二件委員會ニ於テ委員長

天春文衛君ハ「ソレデハ提案者ノ説明ヲ求メマス産業組合法中ノ改正法律案、尙ホ其他日本勸業銀行法中改正法律案、尙ホ郵便貯金法中改正法律案此三案一括シテ御説明ニナルヤウ願ヒマス」ト述ヘ各案ヲ同時ニ審査セリ

一二六 同種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ各案ヲ同時ニ審査シ又ハ一案ヲ基礎トシテ審査ス

同種ノ議案ヲ同一委員ニ付託セラレタル場合ニ於テハ其ノ中ノ一案ヲ基礎トシ又ハ各案全部ヲ同時ニ議題ニ供シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

(一) 一案ヲ基礎トシテ審査シタル例

第五回議會 明治二十六年十二月九日ノ登記法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル各案ノ審査
第二十三回議會 明治四十年三月五日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外三件委員會ニ於ケル各案ノ審査

(二) 數案ヲ同時ニ審査シタル例

第三十九回議會 大正六年七月六日ノ市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案外一件委員會ニ於ケル兩案ノ審査

第四十回議會 大正七年三月八日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ニ於ケル四案ノ審査

第四十一回議會 大正八年二月二十六日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ニ於ケル三案ノ審査

第四十二回議會 大正九年二月十七日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル三案ノ審査

第四十三回議會 大正九年七月二十一日ノ治安警察法中改正法律案委員會ニ於ケル兩案ノ審査

第四十四回議會 大正十年二月七日ノ小學校教員俸給國庫負擔額増加ニ關スル建議案外一件委員會ニ於ケル兩案ノ審査

第四十五回議會 大正十一年三月十五日ノ多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案外二件委員會ニ於ケル二案ノ審査

第四十六回議會 大正十二年三月二十四日ノ恩給法改正ニ關スル建議案外二件委員會ニ於ケル二案ノ審査

第四十七回議會 大正十二年十二月二十三日ノ帝都復興計畫法案外二件委員會ニ於ケル三案ノ審査

一二七 付託ヲ受ケサル他ノ議案ト牽聯スル爲審査ヲ延期シタルコトアリ

一委員ニ付託セラレタル議案カ付託ヲ受ケサル他ノ議案ニ牽聯セル爲其ノ委員會ノ審査終了スル迄付託ヲ受ケタル議案ノ審査ヲ延期シ又ハ牽聯セル他ノ議案ノ付託セララル迄審査ヲ延期シタルコトアリ

(一) 他ノ議案ノ審査終了迄延期シタル例

第十三回議會 明治三十二年一月三十一日ノ明治三十一年勅令第七十號(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於テ「本案ハ改正選舉法案ノ兩院ヲ通過スルヤ否ヤノ判明スルマデ之ガ決定ヲ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ同年二月十日會議ヲ開キタルモ前同様ノ理由ニヨリ更ニ延會シ同月十三日會議ヲ開キ議決セリ

同年二月六日ノ家屋稅法案外二件委員會ニ於テ大藏大臣松方正義君ノ「政府モ家屋稅ノコトハ、考慮スル次第モゴザイマスカラ、是ハドウゾ、醬油稅郵便稅ノ後ニ廻ハシテ置テ下サツタナラ其中貴族院ノ模様モ分リマセウ」トノ意見ヲ容レ同月七日會議ヲ開キ審査セリ

同月二十三日ノ國有林野法案外三件委員會ニ於テ國有土地森林原野下戻法案第二條ヲ議スルニ當リ「此社寺土地ノ遞減祿ノ件ニ付テハ林野法第十七條ノ決定スルマテ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ翌二十四日會議ヲ開キ議決セリ

第二十一回議會 明治三十八年二月三日ノ請願委員會ニ於テ「鑛業條例改正ニ關スル請願ハ之

ニ關スル法律案提出セラレ今正ニ審議中ナルヲ以テ之カ議決ヲ延期スヘシ」トノ決議ヲ爲シ其ノ後會議ヲ開カサリキ

(二) 他ノ議案ノ付託ヲ受クル迄延期シタル例

第三十一回議會 大正三年二月二日ノ請願委員第一分科會ニ於テ酒造稅納期繰下ノ請願ヲ議スルニ當リ川合直次君ノ「此酒造稅納期繰下ノ件ハ議會ノ問題ニナツテ居ッテ(酒造稅法改正法律案)今研究中デアリマスカラ今日決議ヲ延期ヲ願ヒタイ」トノ意見ヲ容レ其ノ後二月十六日該請願ノ審査ヲ爲セリ

第四十一回議會 大正八年三月十四日外客ノ招致及待遇ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ委員長牧野鐵九郎君ヨリ「此名勝舊跡ト云フ案ハ貴族院ノ方デ出テ、何レ衆議院ニ回付ニナル法案ノヤウデゴザイマスカラ、是ダケハ延シテ置イテハドウデス」ト述ヘ委員會ハ之ヲ可決セリ

一一八 委員分擔シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

審査ノ便宜上委員ニ於テ分擔ヲ設ケテ審査ヲ爲シタルコトアリ

第二回議會 明治二十四年十二月八日ノ豫算委員會ニ於テ第三分科主査工藤行幹君ヨリ左ノ報告ヲ爲セリ

「第三科ニ於キマシテハ、大變項目ガ多イノデ御座イマス、ソレノ手分ヲシテ取調イタシタノデ御座イマス、其内譯ハ第一款ヨリ第七款マデハ鈴木重遠君、井上角五郎君ガ擔當シテ調べマシタ、此報告ハ兩人ヨリナサル、ガ明瞭ト思ヒマス、内務省ノ方ハ第一款ヨリ第七款マデハ、井上君ト鈴木君カラ御報道アリタク願ヒマス、第八款カラ經常費殘ラズノ分ハ堀内賢郎君、八卷九萬君ノ方カラ御報告イタシマス、臨時費ノ處ハ即阿部興人君、伊藤謙吉君カラ申シマス、此三ツニ分ケテ報告イタシマス、又文部省所管ハ自カラ取調べマシタカラ私カラ報告イタシマス」ト

同日ノ同委員會ニ於テ第六分科主査小間肅君モ亦左ノ報告ヲ爲セリ

「第六科ハ二省ニマタガツテ居リマス、農商務遞信ト手ヲ分ツテ調べマシタ、即チ農商務ハ中村、改野、菊池ガ調べマシタカラ、調べタ方カラ農商務省ヲ報告シマス、遞信省ノ方ハ私等ガ調べマシタカラ後刻報告スルコトニ致シマス」ト

同月十九日ノ郡分合法案委員會ニ於テハ天野三郎君ノ「郡分合ニ關スル議案ハ其ノ數甚多キヲ以テ各其事情ヲ知悉セル者ニ於テ各分擔調査スベシ」トノ動議ヲ可決シ左ノ八部ニ分レテ調査セリ

- 第一組合 東京府 群馬縣 茨城縣 神奈川縣 埼玉縣 千葉縣 栃木縣

第二組合 大阪府 奈良縣 兵庫縣 岡山縣

第三組合 京都府 滋賀縣

第四組合 三重縣 岐阜縣

第五組合 宮城縣 福島縣 巖手縣 富山縣 新潟縣

第六組合 島根縣 鳥取縣 廣島縣 山口縣

第七組合 鹿兒島縣 熊本縣 福岡縣 佐賀縣 宮崎縣 長崎縣

第八組合 香川縣 愛媛縣

第六回議會 明治二十七年五月十九日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ主查長谷川泰君ヨリ「本科ニ付託セラレタル豫算案ヲ文部ト遞信トニ分チテ之ヲ分擔調査シ終リニ之ヲ纏メテ會議ニ付スベシ」ト述フルヤ鹽田與造君「大體ノ質問ニ付テハ文部ト遞信トヲ併セテ之ヲ爲シ然ル上ニテ別個ニ分擔シテ審査スルコト、シテハ如何」ト述ヘタルニ委員會ハ鹽田君ノ意見ヲ可決シ先ツ大體ニ付テノ質問ヲ爲シ終リテ後之ヲ分擔審査セリ

一二九 委員會ノ審査ニ資スル爲總議員ヨリ意見ヲ徵シタルコトアリ

委員會ニ於テ議員ノ意見ヲ參考トスル爲又ハ調査ノ材料ヲ得ル爲委員會ノ決議ヲ以テ議員全體ヨ

リ意見ヲ徵シタルコトアリ

第一回議會 明治二十四年二月十八日ノ郡分合ニ關スル法律案委員會ニ於テハ各地方ヨリ呈出シタル請願及ビ議員ノ意見ヲ參考トシテ原案ヲ修正スルニ決シ各議員ニ照會書ヲ發シ其ノ意見書ヲ徵セリ

第十四回議會 明治三十三年一月十五日ノ衆議院議員選舉法改正法律案委員會ニ於テ委員長星亨君ヨリ別表調査ノ材料ヲ得ル爲之ヲ議院ニ報告シ各議員ヲシテ其ノ所屬府縣ニ關スル意見ヲ提出セシムルニ付異議ノ有無ヲ諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ委員會ハ各議員ノ意見ヲ徵セリ

一三〇 牽聯セル議案ヲ別個ノ委員ニ付託セラレタル爲兩委員會合會シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

牽聯セル議案ハ同一委員ニ併セ付託セララルルヲ例トスルモ別箇ノ委員ニ付託セラレタル爲兩委員會合會シテ其ノ審査ヲ爲シタルコトアリ

第十五回議會 明治三十四年二月二十五日臺灣事業公債法中改正法律案委員及明治三十二年法律第一百號中改正法律案委員ハ一室ニ合會シ臺灣事業公債法中改正法律案委員長石原半右衛

門君委員長席ニ著キ「ドチラモ臺灣事業公債ニ關係シタルモノデゴザイマスカラ、質問丈ハ一緒ニシタ方が宜カラウト思ヒマス、決議ハ二ツニ分ケマシテ決議ヲスルト云フコトニシテ……ドナタモ御異議ハゴザイマセヌカ」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ會議ヲ開キ質問ヲ爲セリ

第二十二回議會 明治三十九年二月七日豫算委員第三分科及第四分科カ會合シテ會議ヲ開カムトスルニ當リ第四分科主査征矢野半彌君ヨリ「今日ハ第三分科第四分科ノ聯合會議ヲ開キマス、其目的ハ此度ノ豫算ヲ通覽致シマスルニ、軍事費ハ非常ニ過大デアリマシテ、生産費ノ方ノ豫算カ少ナイノデゴザイマス、國家今日ノ形勢トシテ、ドウシテモ軍事費ノ幾分ヲ削除若クハ延期シテ、サウシテ生産費ノ方ニ之ヲ足シマセヌト、大ニ恐ルヘキ結果ヲ生シヤウト云フ考ヨリシマシテ、陸海軍ノ發案ヲ見マスルニ、三分科四分科ノ兩分科ニ跨ッテ居リマスカラ、茲ニ兩分科ノ聯合會議ヲ開キマシテ、此事柄ヲ相談シタイト思ヒマス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ征矢野半彌君ハ主査席ニ著キ會議ヲ開ケリ

第二十四回議會 明治四十一年二月一日ノ請願委員第一分科及第三分科ノ聯合會議ヲ開カムトスルニ當リ福井三郎君ヨリ「日露戰爭個人損害救済ノ件ハ外務省及大藏省所管ニ跨ルガ故ニ雙方聯合シテ審査ヲ爲スヲ適當ト信ズル」旨ヲ述ヘタルニ委員會ハ之ヲ容レ聯合シテ會議ヲ

開キ審査ヲ爲スコト三回ニ及ヘリ

一三二 討論ハ大體ヨリ逐條ニ入り又ハ同時ニ之ヲ爲シ若ハ直ニ逐條討論ヲ爲シ又ハ主要ナル事項ニ付テ之ヲ爲ス

討論ハ浩漭若ハ重要ナル議案ニ付テハ大體ニ付之ヲ爲シ次テ逐條ニ移リ普通議案ニ付テハ同時ニ大體及各條ノ討論ヲ爲シ若ハ直ニ各條ノ討論ヲ爲ス而シテ簡單ナル議案ニ付テハ其ノ主要ナル事項ニ付テノミ討論ヲ爲スヲ例トス

一三三 討論ヲ用キスシテ直ニ決議ヲ爲シタルコトアリ

決議ハ討論ノ後之ヲ爲スヲ例トスルモ簡單ナル議案ニ付テハ討論ヲ省略シ直ニ決議シタルコトアリ

第三十九回議會 大正六年七月五日ノ電話事業公債法案外一件委員曾ニ於ケル朝鮮事業公債法中改正法律案ノ議決

第四十一回議會 大正八年二月四日ノ會計検査院法中改正法律案委員會ニ於ケル該案ノ議決

第四十二回議會 大正九年二月四日ノ大正八年法律第五號中改正法律案委員會ニ於ケル該案ノ

議決

第四十三回議會 大正九年七月十三日ノ銀行條例中改正法律案外五件委員會ニ於ケル各案ノ議決

第四十六回議會 大正十二年三月十四日ノ産業組合法中改正法律案外二件委員會ニ於ケル各案ノ議決

第四十七回議會 大正十二年十二月十九日ノ東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案委員會ニ於ケル該案ノ議決

一三三 討論終局ノ宣告ハ委員長(主査)衆議ニ諮リテ之ヲ爲ス

討論ヲ終結セムトスル場合ニ於テ大體討論盡キタリト認メラルルトキハ委員長(主査)任意ニ終局ノ宣告ヲ爲シ其ノ然ラサル場合ハ衆議ニ諮リテ之ヲ宣告ス

一三四 討論終局ノ宣告後ハ討論ヲ許サス

討論終局ノ宣告アリタル後ハ討論ヲ許ササルモノトス然ルニ左ノ事例ニ於テハ衆議ニ諮リタル後更ニ之ヲ許セリ

第四十二回議會 大正九年二月九日ノ所得税法改正法律案外六件委員會ニ於テ委員長武藤金吉君ハ討論終結ノ宣告ヲ爲シタル後衆議ニ諮リ更ニ討論ヲ許可セリ

一三五 豫算案ハ總會ヲ開キ大體ノ質問ヲ爲シタル後分科ニ付託シ更ニ總會

ニ於テ之ヲ審査スルヲ例トス

豫算委員ニ於テ豫算案ノ付託ヲ受ケタルトキハ先ツ總會ヲ開キ大體ノ質問ヲ爲シタル後分科ニ付託シ其ノ報告ヲ待テ更ニ總會ヲ開キ審査ヲ爲スヲ例トス

一三六 豫算案ノ審査日割ハ會議ノ始ニ於テ豫メ之ヲ定ム

第四十一回議會 大正八年一月二十三日ノ豫算委員會ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ會議ノ始ニ於テ「本日ヨリ來ル二十九日マテ、一週間ヲ以テ豫算總會ノ日ニ充テタイト存シマス、ソレカラ後一週間ヲ分科ノ審査ト致シマシテ、殘ル五日間デ各派ノ黨議ヲ定メ、豫算分科ノ決定、總會ノ決定ト云フコトニ致シタイト存ジマス」ト宣ヘタルニ異議ナカリキ次テ第四十二回議會大正九年一月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ委員長中村啓次郎君ハ「豫算委員會ハ法定ノ期限モアリマスカラ、審査ノ日取ヲ定メタイト思ヒマス、豫算總會ノ日取ヲ本日ヨリ二月一日マデ即

チ一週間テアリマスルガ、日曜ヲ除キマシテ六日間、ソレカラ分科ノ質問ヲ二月ノ二日から六日迄、是モ五日間、ソレカラ七日八日ヲ休ミマシテ九日豫算分科ノ決定ヲ致シ、十日ハ豫算總會ノ決定ヲ致スト云フ日取ニ致シタイト思ヒマス御異議アリマセヌカト宣ヘタルニ異議ナカリキ爾來每會期此事例ヲ踏襲シ審査日割ヲ定ムルノ例トナレリ

一三七 豫算追加案ハ特別ノ理由アル場合ハ分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ之ヲ審査シ又ハ委員中委員ニ付託シ若ハ總會ヲ開カス直ニ分科ニ付託シテ審査セシメタルコトアリ

(一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シタル例

第四十回議會 大正七年三月十九日ノ豫算委員會ニ於ケル(第一號)大正六年度歳入歳出總豫算追加案外一件ノ審査

第四十一回議會 大正八年二月一日ノ豫算委員會ニ於ケル(第二號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案外一件ノ審査

第四十二回議會 大正九年二月二十一日ノ豫算委員會ニ於ケル(第一號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案外二件ノ審査

(二) 委員中委員ニ付託シタル例

第四回議會 明治二十五年十二月十二日ノ豫算委員會ニ於ケル明治二十五年歳入歳出豫算追加案(内務省所管土木費補助)ノ審査

第六回議會 明治二十七年六月一日ノ豫算委員會ニ於ケル明治二十七年度特別會計歳入歳出豫算追加案(鐵道ニ關スル件)ノ審査

(三) 總會ヲ開カスシテ分科ニ付託シタル例

第十五回議會 明治三十四年三月二十日ノ豫算委員第一分科會ニ於テ主查山本幸彦君ヨリ(特追第一號)明治三十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案ハ火急ヲ要スルヲ以テ直チニ分科ニ於テ審査スヘキ旨豫算委員長ヨリ要求アリタルニ依リ未タ總會ノ付託ナキモ直ニ審査スル旨ヲ述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ該案ヲ審査セリ同日ノ豫算委員會ニ於テモ委員長栗原亮一君ヨリ右ノ始末ヲ報告シタルニ異議ナカリキ

第二十二回議會 明治三十九年三月十九日ノ豫算委員第五分科會ニ於テ主查加藤政之助君ヨリ「(第三號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案ハ總會ノ時ニマダ發表サレナイ諸案ダサウデアリマスガ豫算委員長カラ特ニ此處デ豫算總會ヲ經ナイケレドモ分科ヲ開イテ吳レト云

フ註文ガアリマスガ御異議ハアリマセヌカト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ審査セリ
同月二十四日ノ豫算委員第三分科會ニ於テ森本駿君ヨリ(第三號)明治三十九年度歳入歳出
總豫算追加案ハ未タ總會ノ付託ナキモ最早會期モ餘日ナク且ツ本日總會ヲ開クベキ筈ナレバ
先ヅ分科ニ於テ審査シ然ル後總會ノ承諾ヲ求ムベシトノ動議ヲ提出シタルニ分科會ハ之ヲ
容レ直ニ審査セリ

一三八 豫算案ハ歳出豫算、特別會計豫算、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件、歳入豫算、豫算條文ノ順序ニ依リ若ハ主査報告ノ順序ニ
依リ又ハ豫算案全部ヲ一括シテ討議ニ付ス

豫算案討議順序ハ歳出豫算各特別會計豫算豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件歳
入豫算豫算條文ノ順序ニ依リテ之ヲ爲スヲ例トスルモ場合ニヨリテハ右ノ順序ニ依ラス豫算案全
部ヲ一括シテ討議ニ付シタルコトアリ

(一) 主査報告ノ順序ニ依リタル例

第四十回議會 大正七年二月九日ノ豫算委員會ニ於テ大正七年度豫算案ヲ討議スルニ當リ委員
長小川平吉君ハ「各分科ノ報告ニ基イテ段々討論議決スルコトニ致シマス」ト宣告シ主査報告

ノ順序ニ依リ順次討議採決ヲ爲シタリ

(二) 豫算案全部ヲ一括シタル例

第四十一回議會 大正八年二月十日ノ豫算委員會ニ於テ大正八年度豫算案ヲ審査スルニ當リ委
員長齋藤珪次君ハ大正八年度豫算案全部ヲ一括シテ議題ニ供シ委員會ハ異議ナク原案ノ通可
決セリ

一三九 決算ハ會計検査院ノ検査報告ニ基キ之ヲ審査ス

決算委員ニ於テ決算ノ審査ヲ爲スニハ會計検査院ノ検査報告ニ依リ政府ノ辯明書ヲ参考トシテ審
査決議スルヲ例トス唯第十八回議會明治三十六年五月二十七日ノ決算委員會ニ於テ委員長元田肇
君ノ發議ニ依リ検査報告ハ單ニ參考ニ止メ決算本書ニ付審査シタルコトアルノミ

一四〇 決算ノ審査ハ總會ヲ開キ大體ノ質問ヲ爲シタル後分科ニ付託シ其ノ
報告ヲ待テ更ニ總會ニ於テ審査スルヲ例トスルモ分科ニ付託セス直ニ總會

ニ於テ審査シ若ハ委員中委員ヲ設ケテ之ヲ審査セシメ又ハ分科ニ付託スルモ其ノ報告ヲ待タス直ニ總會ニ於テ審査シ若ハ各分科聯合シテ審査ヲ爲シタルコトアリ

(一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シタル例

第四十三回議會 大正九年七月十二日ノ決算委員會ニ於テ委員長小田切磐太郎君ハ「質問ガナケレバ分科會ニ移ス必要モナイヤウニ思ハレルノデアリマスカラ質問ガナケレバモウ明日カラハ分科ニ移サズ本會ニ於テ直グニ討論ニ移ルト云フヤウニ致シタイモノデアリマスガ御異議ガアリマセウカ」ト諮リタルニ異議ナカリシヲ以テ同委員會ハ同月二十一日開會討論ニ移リ同日決算ヲ議了セリ

(二) 委員中委員ヲ設ケ審査シタル例

第十四回議會 明治三十二年十二月十二日ノ決算委員會ニ於テハ磯田和藏君ノ發議ニ依リ臨時軍事費決算ノ審査ヲ委員中ヨリ選定セル五名ノ委員ニ付託シ又齋藤安雄君ノ發議ニ依リ明治二十八年年度決算ノ審査ヲ各分科ノ主査ヲ以テ組織セル委員ニ付託セリ

第十五回議會 明治三十四年二月十五日ノ決算委員會ニ於テハ安川繁成君ノ發議ニ依リ明治二

十四年度決算ノ審査ヲ各主査ヲ以テ組織セル委員ニ付託セリ

(三) 分科ノ報告ヲ待タス總會ニ於テ審査シタル例

第十三回議會 明治三十二年三月二日ノ決算委員會ニ於テ委員長安川繁成君ハ「分科ノ報告ヲ待テ審査スヘキ筈ナルモ最早會期切迫シタルニ付議事ノ進捗ヲ計ランガ爲自己ノ意見書ヲ議題ト爲ス」旨ヲ述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ審査セリ

(四) 各分科聯合シテ審査シタル例

第三十九回議會 大正六年六月二十九日ノ決算委員會ニ於テ委員長石黒涵一郎君ハ「ソレデハ大體ノ質問ハ一應是デ止メルコトニ致シマシテ審査ノ方法ニ付イテ御協議シタイト思ヒマス(中略)殊ニ會期モ短イコトデアリマスカラ之ヲ更ニ分科會ニ移シテ正式ニ審査ヲ致シマスヨリ此所デ聯合ノ上デ略式ニ審査ヲ進行致シマスルト云フ便宜ノ方法ヲ執ツテ致シタ方ガ宜シクハナイカト考ヘルノデアリマス、此事ヲ一ツ御諮リ致シタイト思ヒマス」ト發議シタルニ大口喜六君ハ「聯合デオ遣リ下サル方ガ宜シイト私ハ思ヒマス若シ必要ガアリマシタラ分科會ヲ開キマスコトニ願ツテ、兎ニ角聯合會デオ遣リ下サルコトニ願ヒタイ」ト述ヘ他ニ異議ナカリシヲ以テ委員長石黒涵一郎君ハ聯合審査ヲ行フヘキ旨ヲ宣告シ越ヘテ七月四日其ノ決算委員聯合審査會ヲ開會シタルニ開會劈頭高田耘平君ハ「本日ノ公報ニアル聯合調査會ニ附スヘ

キ決算ト云フコトハ詰リ各分科ノ總テノ人ガ出席スベキ筈ダロウト思ヒマス、各分科總テノ人ガ出席スルケレドモ、審査スベキ事項ハ第一分科第二分科ノモノデアリマセウト質シタルニ委員長石黒涵一郎君ハ「御意見ノ通り」ト答辯シ其ノ審査ヲ爲セリ

一四一 請願ノ審査ハ文書表作製ノ後分科ニ付託シ其ノ報告ヲ待テ總會ニ於テ審査スルヲ例トスルモ分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査シ若ハ分科ノ報告ヲ待タスシテ總會ニ於テ審査シ又ハ委員中委員ニ付託シ若ハ理事ニ付託シテ審査ヲ爲サシメタルコトアリ

(一) 分科ニ付託セス直ニ總會ニ於テ審査ヲ爲シタル例

第二十九回議會 大正六年七月九日ノ請願委員會ニ於ケル日露戰役ニ於ケル擊沈船救恤ノ件ニ付テノ審査

第四十回議會 大正七年三月二十三日ノ請願委員會ニ於ケル印紙稅法改正ニ關スル件ニ付テノ審査

第四十二回議會 大正八年三月十九日ノ請願委員會ニ於ケル時局ニ關スル件ニ付テノ審査

(二) 分科ノ報告ヲ待タスシテ總會ニ於テ審査ヲ爲シタル例

第四十回議會 大正七年三月二十二日ノ請願委員會ニ於ケル恩給年金金融ニ關スル件外二百三十四件、同月二十三日同委員會ニ於ケル印紙稅法改正ニ關スル件外十七件及同月二十五日同委員會ニ於ケル非常 皇居及國務所設置ノ件外十五件ノ審査

第四十一回議會 大正八年三月十九日ノ請願委員會ニ於ケル時局ニ關スル件外五百八十三件ノ審査

第四十二回議會 大正九年二月六日ノ請願委員會ニ於ケル文官恩給並遺族扶助料増額ノ件外七件ノ審査

第四十三回議會 大正九年七月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル官吏恩給法中改正ノ件外百七十九件ノ審査

(三) 委員中委員ニ付託シタル例

第九回議會 明治二十九年一月二十一日ノ請願委員會ニ於ケル頌德表奉呈並製艦費御下賜辭退ニ關スル件ノ審査

第十回議會 明治三十年二月二十七日ノ請願委員會ニ於ケル大阪港及神戸港修築ノ件ノ審査

(四) 理事ニ付託シタル例

第二十回議會 明治三十七年三月二十二日ノ請願委員會ニ於テハ四箇ノ分科ヲ設ケタルモ同月二十五日ノ會議ニ於テ粕谷義三君ノ發議ニ依リ分科ヲ設クルコトヲ止メ理事ヲシテ各請願書ヲ分擔調査セシメ其報告ヲ待ツテ總會ノ議ニ付スルコトヲ議決セリ

一四二 請願紹介議員出席セサル場合ニ請願書ニ依リテ審査シタルコトアリ

紹介議員病氣其ノ他ノ事故ニ因リ出席セサル爲請願ノ審査ヲ延期スルハ議事ノ進行ヲ阻碍シ殊ニ會期切迫ノ場合ニ於テハ議事ノ進行上遺憾多キヲ以テ請願書ノミニ依リ審査ヲ爲シタルコトアリ最近ニ於ケル事例左ノ如シ

第四十回議會 大正七年三月二十五日ノ請願委員會ニ於ケル非常 皇居及國務所設置ノ件ニ付テノ審査

第四十一回議會 大正八年二月三日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル惟神院神道本部創建ノ件ニ付テノ審査

第四十二回議會 大正九年二月二日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル在外國賣春婦取締法制定ノ

件ニ付テノ審査

第四十三回議會 大正九年七月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル神祇審議院設置ノ件ニ付テノ審査

第四十四回議會 大正十年二月七日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル菊川神社建設ノ件及明治神宮御分靈ヲ各府縣ニ奉祀ノ件ニ付テノ審査

一四三 請願議事日程掲載ノ順序ハ分科ニ在リテハ所管ノ順序ニ依リ總會ニ在リテハ分科ノ順序ニ依ル

請願委員會ニ於テハ審査ニ付スヘキ請願ニ付豫メ日程ヲ作製スルヲ例トシ其ノ掲載順序ハ分科ニ在リテハ分科所管ノ順序ニ依リ總會ニ在リテハ各分科ノ順序ニ依ルヲ例トス

一四四 請願ハ日程ノ順序ニ依リ之ヲ審査ス但シ其ノ順序ヲ變更シ若ハ一括シテ之ヲ審査スルコトヲ得

請願ハ日程ノ順序ニ依リテ之ヲ審査スルヲ例トスルモ審査ノ都合ニ依リ其ノ順序ヲ變更シ若ハ同一趣旨ノ請願ヲ一括シテ審査シタルコトアリ

(一) 順序ヲ變更シタル例

第三十九回議會 大正六年七月十一日ノ請願委員會ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ會期切迫ノ場合ナレハ時間節約上日程ノ順序ニ依ラス紹介議員ノ到着順ニ依リ審議スル旨ヲ宣告セリ

第四十回議會 大正七年三月二十二日ノ請願委員會ニ於ケル恩給年金金融ニ關スル件ノ審査ハ政府委員ノ出席説明ヲ求ムル爲其ノ順序ヲ變更セリ

第四十一回議會 大正八年三月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル岩内町ノ財政救濟ニ關スル件ノ審査ハ紹介議員ノ出席説明ヲ求ムル爲其ノ順序ヲ變更セリ

第四十三回議會 大正九年七月十六日ノ請願委員會ニ於ケル湯本温泉保護ノ件ハ政府委員ノ出席説明ノ都合上其ノ審査順序ヲ變更セリ

第四十四回議會 大正十年三月二十四日ノ請願委員會ニ於ケル警視廳廓清ノ件ハ政府委員ノ出席説明ヲ求ムル爲其ノ審査順序ヲ變更セリ

(二) 一括シテ審査シタル例

第四十二回議會 大正九年二月二十五日ノ請願委員第三分科會ニ於テハ郵便局設置ニ關スル請願ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査セリ

第四十三回議會 大正九年七月十六日ノ請願委員會ニ於テハ水道工事費國庫補助増額ニ關スル

請願ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査セリ

第四十四回議會 大正十年二月七日ノ請願委員第二分科會ニ於テハ河川改修ニ關スル請願ヲ一括シテ議題ニ供シ之ヲ審査セリ

一四五 請願委員會ノ日程ハ之ヲ追加スルコトヲ得

請願ハ日程ニ掲載セラレタルモノニ付審査スルヲ例トスルモ會期切迫等ノ爲當日ニ至リ更ニ日程ニ追加シテ之ヲ審査シタルコトアリ最近ノ事例左ノ如シ

第三十九回議會 大正六年七月六日ノ請願委員會ニ於テ工藤卓爾君ハ「私ハ此場合緊急動議ヲ起シタイト思ヒマス、今日ハ午前ニ第二分科會ヲ開キマシタケレドモ、其ノ決定致シタル所ヲ總會ノ日程ニ付スルノ暇ガナカツタノデスガ、會期モ切迫シテ參リマシタカラ此場合直ニ總會ノ日程ニ上セラレマシテ、御審議ヲ請ヒタイト思ヒマス」ト述ヘ委員長齋藤珪次君ハ「只今第二分科ノ主査ヨリ御話ノ如ク、本日第二分科會ニ於テ決定セラレマシタル請願事項ヲ、直ニ本請願總會ニ掛ケテ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス」ト述ヘ衆議ニ諮リタルニ異論ナカリシヲ以テ糸魚川松本間鐵道敷設ノ件外十八件ノ請願ヲ新ニ日程ニ追加シテ之ヲ議題ニ供シタリ

第四十回議會 大正七年三月二十五日ノ請願委員會ニ於テ委員長福井三郎君ハ「昨日受理シ未

ダ文書表ヲ作製セザル請願三件アリ此場合直ニ審査シテ異議ナキヤト諮リシニ異議ナカリシヲ以テ矢田野郵便局ニ電信又ハ電話事務開始ノ件外二件ノ請願ヲ日程ニ追加シテ之ヲ議題ニ供シタリ

第四十一回議會 大正八年三月二十四日ノ請願委員會ニ於テ委員長佐々木文一君ハ「今日新ニ出タノガ五件アリマスカラ、要領ヲ申上ゲテ御審議ヲ願ヒマス」ト諮リシニ異議ナカリシヲ以テ臺灣取引所設立速成ノ件外四件ノ請願ヲ日程ニ追加シテ之ヲ議題ニ供シタリ

第四十四回議會 大正十年三月二十四日ノ請願委員會ニ於テ委員長植場平君ハ「今日ノ日程ハ終了致シマシタ——追加トシテ茲ニ一件アリマス、僧侶其他諸宗教師ニ各種被選舉權附與ノ件ヲ議題ニ供シマス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ該請願ヲ日程ニ追加シテ之ヲ議題ニ供シタリ

一四六 分科ニ於テ既ニ審査ヲ終リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ直ニ總會ニ於テ審査ス

第二十五回議會 大正三年十二月十日ノ請願委員會ニ於テ既ニ一度分科ニ於テ審査シタル請願ト同一趣旨ノ請願提出セラレタルトキハ更ニ之ヲ分科ノ審査ニ付スルコトナク直ニ總會ニ於

テ審査スヘキコトヲ決議シ爾來此ノ例ニ倣ヘリ

一四七 既ニ審査ヲ了リタル請願ト同一趣旨ノ請願ハ其ノ審査ヲ省略シ直ニ議院ニ報告ス

第四十六回議會 大正十二年一月二十四日ノ請願委員會ニ於テ既ニ一度總會ニ於テ審査ヲ終リタル請願ト同一趣旨ノ請願提出セラレタルトキハ爾後之ヲ分科ノ審査ニ付セサルノミナラス更ニ總會ノ審査ニモ付セス直ニ委員長ヨリ議院ニ報告スヘキコトヲ議決セリ

一四八 請願中ノ一事項カ他ノ分科ノ所管ニ跨ル場合ト雖之ヲ審査ス

請願中ノ一事項カ他ノ分科ノ所管ニ跨ル場合ニ於テモ他ノ分科ニ關係ナク其ノ分科單獨ニ之ヲ審査スルヲ例トス

第三節 修正

一四九 修正ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

委員會ニ於ケル修正ニ付テハ衆議院規則第一百八條「議案ニ對スル修正ノ動議ハ其案ヲ具ヘ議長ニ提出スヘシ」ノ如キ規定ナク書面又ハ口頭ヲ以テス

一五〇 案ヲ具セサル修正意見ヲ議題ニ供シタルコトアリ

修正ハ書面又ハ口頭ヲ以テ其ノ内容ヲ表示スヘキモノナルモ各派ノ申合ニ依リ修正アルコトヲ言明スルニ止メ其ノ内容ヲ表示セサリシ場合ニ之ヲ議題ニ供シ採決シタルコトアリ第三十一回議會大正三年三月二十二日ノ豫算委員會ニ於テ鈴木梅四郎君ハ「各派ノ申合セニ依リマシテ此處デハ修正ノ結論ダケヲ出シマシテ其ノ理由ハ本會議ニ於テ述べマス」ト述ヘ早速整爾君モ亦「私モ修正ノ案ガアリマスガ説明ハ本會議ノトキト云フコトニ致シマシテ此席デハ申述べマセヌ」ト述ヘタルニ委員長改野耕三君ハ此ノ修正案ニ各賛成アリト認め之ヲ採決セリ

一五一 修正動議ハ一人以上ノ賛成ヲ以テ成立ス

委員ノ修正動議ハ一人以上ノ賛成アルトキハ成立シタルモノト認め表決ニ付スルヲ例トス

一五二 議案ノ分割、併合、擴張又ハ性質若ハ名稱ノ變更ヲ修正ト認め

議案ノ分割、併合又ハ其ノ事項ノ擴張、其ノ性質、内容ノ變更及名稱ノ變更ヲ修正ト認め

(一) 議案ヲ分割シタル例

第十五回議會 明治三十四年三月十五日ノ府縣制中改正法律案外六件委員會ニ於テ市制町村制

中改正法律案ヲ分割シテ市制中改正法律案及町村制中改正法律案ノ二ト爲ス

同日ノ徵兵令補則案委員會ニ於テ該案ヲ分割シテ兵役稅法案及兵卒給與法案ノ二ト爲ス

(備考)

前二例ハ執レモ議員提出案ナリ

第一例ハ議院ニ於テモ委員會ノ決議通り可決シ第二例ハ第二讀會ヲ開カサルニ決シタリ

ト雖モ議案ヲ分割シタルコトニ付テハ何等ノ議論ヲモ生セサリキ

第二十五回議會 明治四十二年三月十二日ノ内地及臺灣司法共通ニ關スル法律案委員會ニ於テ

該案ヲ分割シテ辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案及裁判

所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案ノ二ト爲ス

(二) 數議案ヲ併合シタル例

第三回議會 明治二十五年五月二十七日ノ鐵道公債法案、私設鐵道買收法案審查特別委員會ニ

於テ鐵道公債法案(政府提出)私設鐵道買收法案(政府提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ鐵道

敷設法案ニ改メ議院ニ報告セリ

第十回議會 明治三十年二月二十四日ノ新聞紙條例中改正法律案外二件委員會ニ於テ集會及政

社法中改正法律案(政府提出)集會及政社法改正法律案(箕浦勝人君外二名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ集會及政社法案ニ改メ議院ニ報告セリ

第二十三回議會 明治四十年三月二十五日ノ鑛物調査ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ鑛物調査ニ關スル建議案(吉植庄一郎君外一名提出)鑛業獎勵ニ關スル建議案(宮古啓三郎君外七名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ鑛業獎勵及鑛床調査ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第二十四回議會 明治四十一年二月二日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外一件委員會ニ於テ衆議院議員選舉法中改正法律案(島津良知君外七名提出)衆議院議員選舉法中改正法律案(高橋勝七君外十二名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ修正議決セリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二日ノ違警罪即決例ニ關スル法律案外二件委員會ニ於テ違警罪即決例ニ關スル法律案(松田源治君外一名提出)違警罪即決例廢止法律案(卜部喜太郎君提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ拘留科料ニ關スル裁判法案ニ改メ修正議決セリ

第二十七回議會 明治四十四年二月三日ノ民事訴訟法中改正法律案外二件委員會ニ於テ民事訴訟法中改正法律案(横山金太郎君外二名提出)民事訴訟法中改正法律案(豐增龍次郎君外三名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ修正議決セリ

第二十八回議會 明治四十五年三月十一日ノ神社崇敬ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ神社

崇敬ニ關スル建議案(大津淳一郎君提出)神社行政統一ニ關スル建議案(早川龍介君提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ神社ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十回議會 大正七年三月十九日ノ阿讚鐵道建設ニ關スル建議案外二件委員會ニ於テ阿讚鐵道建設ニ關スル建議案(三士忠造君外二名提出)四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案(小西和君外一名提出)四國沿岸鐵道建設ニ關スル建議案(板東勘五郎君外十名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ四國海岸連絡鐵道建設ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十一回議會 大正八年二月二十五日ノ四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案外二件委員會ニ於テ四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案(小西和君外一名提出)四國循環鐵道建設ニ關スル建議案(林毅陸君外四名提出)四國鐵道循環線敷設ニ關スル建議案(高島兵吉君外一名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ四國循環鐵道建設ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十三回議會 大正九年七月二十日ノ現受恩給者ノ恩給等ノ增額ニ關スル法律案外二件委員會ニ於テ現受恩給者ノ恩給等ノ增額ニ關スル法律案(政府提出)軍人恩給等ノ增額ニ關スル法律案(政府提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ恩給扶助料等ノ增額ニ關スル法律案ニ改メ修正議決セリ

第四十四回議會 大正十年三月二十三日ノ小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案外一件委員會ニ於テ小學校教員俸給國庫負擔額增加ニ關スル建議案(砂田重政君外二名提出)小學

校教員俸給國庫負擔額増加ニ關スル建議案(高田松平君外五名提出)市町村教育費ノ整理ニ關スル建議案(井上角五郎君外十三名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ市町村教育費ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十五回議會 大正十一年三月七日ノ樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外二件委員會ニ於テ樞原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(高草美代藏君提出)樞原神宮第二回宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案(八木逸郎君外五名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ樞原神宮第二回宮域擴張及建物修築ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十六回議會 大正十二年三月三日ノ柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案委員會ニ於テ柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(中野寅吉君外二名提出)柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外六名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

第四十七回議會 大正十二年十二月二十三日ノ帝都復興計畫法案外二件委員會ニ於テ相模西部ノ復興ニ關スル建議案(森恪君外三名提出)震災地方復興ニ關スル建議案(吉植庄一郎君外二名提出)震災地方復興ニ關スル建議案(小泉又次郎君外十三名提出)ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ震災地方復興ニ關スル建議ニ改メ修正議決セリ

(三) 議案ノ事項ヲ擴張シタル例

第二十五回議會 明治四十二年三月九日ノ醫師法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル齒科醫師法中改正法律案ニ包含セサル第七條及第十一條ノ修正

第二十六回議會 明治四十三年三月三日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案(小泉又次郎君外七名提出)委員會ニ於テ該案所定ノ外「長岡市、宇治山田市、豊橋市、福岡市」ノ五市ヲ加フ

同年三月九日ノ營業税法中改正法律案委員會ニ於ケル該案ニ包含セサル第二十八條ノ修正

第二十七回議會 明治四十四年二月二十日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案委員會ニ於テ該案所定(北海道廳)ノ外「松本市、福島市、吳市、天草市」ヲ加フ

同年二月八日ノ日本勸業銀行法中改正法律案委員會ニ於ケル該案ニ包含セサル第十五條ノ修正

同年三月十四日ノ東京市ニ關スル法律案委員會ニ於テ該案所定ノ外「大阪市」ヲ加フ

第二十八回議會 明治四十五年三月六日ノ飛彈鐵道建設ニ關スル建議案委員會ニ於テ該案所定ノ外「同線路中ヨリ分岐シ福光ヲ經テ石川縣下金澤市ニ至ル鐵道」ヲ加フ

(四) 議案ノ性質ヲ變更シタル例

(い) 上奏案ヲ建議案ト爲シタルモノ

第二回議會 明治二十四年十二月十四日ノ直稅分署間稅分署廢止上奏案委員會ニ於テ該上奏案ヲ改メテ直稅分署間稅分署廢止ノ建議案ト爲ス

(ろ) 法律案ヲ建議案ト爲シタルモノ

第四回議會 明治二十六年二月二十七日ノ生絲檢査所法案外四件委員會ニ於テ四案ヲ合併シ生絲檢査所蠶業傳習所生絲直輸出獎勵方法ニ關スル建議案ト爲ス

(は) 廢止法律案ヲ變更シテ改正法律案トシ或條項ニ修正ヲ加ハタルモノ

第二十回議會 明治二十七年三月二十五日ノ非常特別稅法案外十件委員會ニ於テ輸入原料砂糖戻稅法廢止法律案ヲ變更シテ同改正法律案ト爲シ同法第一條第一項ノ次ニ一項ヲ追加セリ

(五) 議案ノ名稱ヲ變更シタル例

第二十六回議會 明治四十三年二月九日ノ未成年者飲酒禁止法案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ未成年者飲酒取締ニ關スル法律案ト修正ス

同年二月十日ノ砂金採取地稅法案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ砂鑛區稅法案ト修正ス

第二十七回議會 明治四十四年三月十三日ノ冷蔵事業保護ニ關スル建議案委員會ニ於テ該案ノ

表題ヲ冷凍事業保護ニ關スル建議案ト修正ス

第二十八回議會 明治四十五年三月二十三日ノ刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案外一件委員會ニ於テ刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ノ表題ヲ刑法施行法中改正法律案ト修正ス

第三十回議會 大正二年三月十八日ノ社寺境内地下辰ニ關スル法律案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ社寺上地下辰ニ關スル法律案ト修正ス

第三十回議會 大正二年三月十九日ノ臺灣ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ臺灣其ノ他ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案ト修正ス

第三十四回議會 大正三年九月七日ノ戰時海上保險ニ關スル法律案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ戰時海上保險補償法案ト修正ス

第四十七回議會 大正十二年十二月二十日ノ帝都復興計畫法案委員會ニ於テ該案ノ表題ヲ特別都市計畫法案ト修正ス

一五三 分科ノ報告ハ修正案ト認ム

分科ノ報告修正ナルトキハ贊成者ヲ俟タスシテ直ニ之ヲ修正案ト認ムルヲ例トス

第八回議會 明治二十八年三月十四日ノ決算委員會ニ於テ坂本理一郎君ヨリ「主査ノ報告ハ贊

成者ナクトモ採決スルヤト質問シタルトキ委員長谷河尙忠君ハ「賛成ト云フ聲ガ掛ラヌデモ勿論之ヲ修正案トシテ決議ヲ採リマス」ト宣告セリ

第四十回議會 大正九年二月十日ノ豫算委員會ニ於テ津田毅一君ヨリ函館控訴院移轉ニ關スル經費ヲ削除スルノ修正意見ヲ提出シタルニ委員長中村啓次郎君ハ「ソレハ既ニ貴方ガ第一分科ノ主査トシテ、分科ノ報告ニ其ノ修正ハ載ツテ居ルノデアリマス、分科ノ報告ハ、一ノ修正案ト認ムルコトハ先例デアリマス」ト宣告セリ

一五四 委員中委員ヲ設ケ修正案文ヲ起草セシメタルコトアリ

修正ノ案文ヲ起草セシムル爲委員中委員ヲ設ケ委員會決議ノ趣旨ニ從ヒ若ハ議案ノ趣旨ヲ調査シテ修正ノ案文ヲ起草セシメ之ヲ議題ニ供シタルコトアリ

(一) 決議ノ趣旨ニ從ヒ案文ヲ起草セシメタル例

- 第二十回議會 明治三十七年三月二十四日ノ決議案外一件委員會ニ於ケル兩案ノ修正
- 第二十一回議會 明治三十八年二月七日ノ國本培養ニ關スル建議案委員會ニ於ケル該案ノ修正
- 第二十二回議會 明治三十九年三月二十日ノ請願ニ關スル決議案委員會ニ於ケル該案ノ修正
- 第二十三回議會 明治四十年二月二十七日ノ請願委員第二分科會ニ於ケル治安警察法第五條改正

正ノ件ノ修正

(二) 議案ノ主旨ヲ調査シテ案文ヲ起草セシメタル例

- 第二十三回議會 明治四十年二月二十六日ノ明治三十四年法律第三十九號中改正法律案委員會ニ於ケル該案ノ修正
- 第二十四回議會 明治四十一年二月十四日ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外四件委員會ニ於ケル各案ノ修正
- 第二十五回議會 明治四十二年三月二日ノ違警罪即決例ニ關スル法律案外二件委員會ニ於ケル各案ノ修正
- 第四十五回議會 大正十一年三月二十三日ノ陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案外一件委員會ニ於ケル各案ノ修正

一五五 委員長ノ起草セル案文又ハ各委員ノ協議ニ依リテ成リタル案文ヲ修

正案ト爲シタルコトアリ

委員長ノ起草セル案文ヲ修正案トシ又ハ各委員ノ協議ニ依リテ成リタル案文ヲ修正案トシテ議題ニ供シタルコトアリ

(一) 委員長ノ起草セル案文ヲ修正案ト爲シタル例
第十三回議會 明治三十二年三月二日ノ決算委員會ニ於ケル委員長安川繁成君ノ起草ニ係ル決算ノ審査ニ關スル意見

(二) 各委員ノ協議ニ依リテ成リタル案文ヲ修正案ト爲シタル例

第二十二回議會 明治三十九年三月二十五日ノ關稅定率法改正法律案委員會ニ於ケル印刷料紙稅率ニ付原案修正案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第四十二回議會 大正九年二月十七日ノ會計士法案委員會ニ於ケル該案ノ修正

一五六 委員會ニ於テ原案修正案共ニ否決トナリタル場合ニ委員中委員ヲ設ケ修正案ヲ起草セシメ若ハ委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シ又ハ先ニ否決セラレタル案ヲ復活シテ議題ニ供シタルコトアリ

委員會ニ於テ原案修正案共ニ否決トナリタル場合ニ於テ委員中委員ヲ設ケテ修正案ヲ起草セシメ若ハ委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シ又ハ先ニ否決セラレタル案ヲ復活シテ議題ニ供シタルコトアリ

(一) 委員中委員ヲ設ケタル例

第六回議會 明治二十七年五月二十二日ノ豫算委員第二分科會ニ於ケル内務省所管北海道廳機密費ニ付原案削除説及修正説共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第八回議會 明治二十八年一月十九日ノ豫算委員會ニ於ケル大藏省所管内閣機密費ニ付原案修正案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

第十三回議會 明治三十一年十二月十六日ノ豫算委員第二分科會ニ於ケル大藏省廳費ニ付原案修正案共ニ否決トナリタル場合ノ修正

(二) 委員ノ修正意見ヲ議題ニ供シタル例

第十二回議會 明治三十一年六月二日ノ明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案外二件委員會ニ於ケル明治二十九年法律第六號債金特別會計法中改正法律案ニ付原案修正案共ニ否決トナリタルトキ片岡直温君ノ修正意見ノ提出

第十三回議會 明治三十一年十二月十四日ノ豫算委員第三分科會ニ於ケル海軍省糧食費ニ付原案修正案共ニ否決トナリタル案ヲ議題ニ供シタル例

(三) 先ニ否決セラレタル案ヲ議題ニ供シタル例

第十三回議會 明治三十一年十二月十六日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ大藏省廳費ニ付原案修正案共ニ否決セラレタルヲ以テ分科員ハ其ノ協議ヲ以テ先ニ否決トナリタル原案ヲ復活スル

ニ決シ分科會ニ於テモ之ヲ可決セリ

明治三十二年二月二十一日ノ外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル法律案委員會ニ於テ原案説及廢案説共ニ否決セラレタルヲ以テ委員ヲ設ケテ更ニ立案セシメタルニ此ノ委員ハ翌二十一日ノ會議ニ於テ原案ヲ採用スヘキ旨ヲ報告シ委員會ニ於テモ之ヲ可決セリ

一五七 修正意見ハ其ノ提出者退席又ハ闕席ノ場合ニ於テモ之ヲ採決ス

修正意見ハ其ノ提出者退席又ハ闕席シタル場合ニ其ノ修正意見ニ付採決シタルコトアリ

第十二回議會 明治三十一年六月一日ノ豫算委員會ニ於テ武富時敏君ヨリ「豫算案全體ニ對シ

僅々ノ修正ヲ爲スヨリモ寧ロ原案全體ヲ可決スヘシ」トノ意見ヲ提出シ濱口吉右衛門君之ニ

賛成シタル後共ニ退席セシ以上ハ採決ヲ要セス」ト述ヘ龍野周一郎君ハ之ニ反對シ「武富君

「發議者賛成者共ニ退席セシ以上ハ採決ヲ要セス」ト述ヘ龍野周一郎君ハ之ニ反對シ「武富君

ハ身體ハ去ツテモ説ハ殘ツテ居リマスカラ先決問題トシテ御採決ヲ願ヒマス」ト述ヘタルニ委

員長ハ武富時敏君ノ修正意見ニ付採決セリ

第二十三回議會 明治四十年二月二十二日ノ豫算委員第二分科會ニ於テ前回ノ會議ニ於テ吉植

庄一郎君ノ提出シタル修正意見ニ付採決セントスルニ當リ當日吉植君ノ出席ナカリシヲ以テ

主査横田虎彦君ハ「是ハ兎ニ角武藤君ノ賛成ニ依ツテ成立ツテ居リマスカラ武藤君ノ修正説トシテ決ヲ採リマス」ト述ヘタルニ異議ナカリシヲ以テ直ニ採決セリ

一五八 修正案ノ撤回ヲ許可ス

修正意見ハ賛成者アル場合ニ於テモ其ノ撤回ヲ許スヲ例トス

第六回議會 明治二十七年五月二十二日ノ豫算委員第二分科會ニ於ケル田艇吉君提出ノ修正意

見撤回ノ許可

第八回議會 明治二十八年一月三十一日ノ復祿並祿高不當處分訂正建議案委員會ニ於ケル松島

廉作君提出ノ修正案撤回ノ許可

第十三回議會 明治三十二年一月三十一日ノ不動産登記法改正法律案委員會ニ於ケル關直彦君

提出ノ修正意見撤回ノ許可

第十四回議會 明治三十三年二月六日ノ鐵道敷設法中改正法律案外一件委員會ニ於ケル和波久

十郎君提出ノ修正意見撤回ノ許可

第四節 審査ノ權限

一五九 豫算委員ニ於テ豫算案編成方法ノ不當ヲ決議シ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求シタルコトアリ

豫算委員ニ於テ豫算案ノ編成方法ヲ不當ナリトシ政府ニ撤回修正ヲ求ムルノ決議ヲ爲シ政府ヲシテ其ノ修正案ヲ提出セシメタルコトアリ

第十回議會 明治三十年三月八日ノ豫算委員會ニ於テ明治三十年度各特別會計豫算追加案(特追第二號)ヲ議スルニ當リ委員板東勘五郎君ハ意見ヲ述テ曰ク「此ノ豫算案ノ編成法ハ一般豫算編成ノ慣例ニ反シ款ニ屬スベキモノヲ項ト爲シ項ニ屬スベキモノヲ目ト爲シタルハ憲法及會計法ノ精神ニ背クモノナリト信ズルニ依リ撤回修正ノ上更ニ提出セラレムコトヲ政府ニ請求スベシ」ト委員會ハ異議ナク之ヲ可決セリ依テ政府ハ翌九日附ヲ以テ修正案ヲ提出セリ

第十二回議會 明治三十一年五月三十一日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ農商務省所管製鐵所費ヲ議スルニ當リ木暮武太夫君ノ「製鐵所ノ費用ヲ單一一款一項トナシタルハ從來ノ豫算編成

方ト其ノ方法ヲ異ニセリ仕事ヲ爲ス上ヨリ見レハ頗ル便利ナルヘキモ豫算編成上及會計監督ノ上ヨリ見レハ甚タ不都合ニシテ少ナクモ數項ニ分ツヘキモノト信スルヲ以テ此ノ豫算編成替ヲ要求スヘシ」トノ意見ヲ委員會ハ可決シタルヲ以テ農商務大臣金子堅太郎君ハ「私ハ政府ヲ代表シマシテ、書面ノコトハ後ニシテ、兎ニ角今ノ木暮君ノ發議ヲ、全會一致デ御決議ニナリマシタレバ、政府ハ此所デ提出シタモノト認メテ、御決議ヲ願ヒタイ云々」ト述ヘ委員會ハ政府ニ於テ修正シタルモノト認メ直ニ之ヲ議了セリ其ノ後政府ハ同日附ヲ以テ右修正案ヲ提出セリ

一六〇 豫算案ニ關係アル法律案ノ議決前若ハ緊急勅令ノ承諾前又ハ勅令ノ發布前ニ豫算案ヲ議決シタルコトアリ

豫算委員ニ於テ豫算ニ關係ヲ有スル法律案ヲ議決スル前若ハ豫算ニ關係ヲ有スル緊急勅令ノ事後承諾ヲ與フル前又ハ豫算ニ關係ヲ有スル命令ノ發布前ニ豫算案ヲ議決シタルコトアリ

第四回議會 明治二十六年度歳入歳出總豫算追加案中未タ官制ニ關スル勅令ノ發布ナキ法典調査會費ヲ要求シタルヲ以テ此事ニ關シ明治二十六年二月二十四日ノ豫算委員會ニ於テ政府委

員末松謙澄君ハ委員ノ質問ニ對シ答辯シテ曰ク「此ノ官制ニ關スル勅令ハ未タ發布ナキモ本案通過ノ上ハ發布セラルヘシ」ト委員會ニ於テハ何等ノ異論ヲ生セス原案ノ通可決セリ

第六回議會 明治二十七年年度藏入歳出總豫算追加案中大藏省所管特別給與金ハ之ニ關スル法律ノ發布前ニ係ルモノナリシヲ以テ此ノ事ニ關シ明治二十七年五月三十日ノ豫算委員會ニ於テ一場ノ議論ヲ生セリ野平穰君右特別給與金ニ付修正意見ヲ提出スルヤ福田久松君ハ之ニ反對シテ曰ク「此特別給與金ニ關スル法律案ハ兩院ヲ通過セシモ未タ發布セラレサルモノナリ豫算委員トシテ法律ニ基カサルモノヲ議決スルハ早計ニ失スルモノナリ」ト委員長中野武營君ハ之ニ反對シテ曰ク「是迄ノ慣例ニ依ル第一回議會ニ於テ豫算案ニ對シ種々ノ修正ヲ加ヘタルトキ山縣内閣ハ「勅令ヲ改正セス直ニ豫算ニ立入ルコトヲ得ス」ト主張セシコトアルモ其後政府ハ勅令ノ發布ナキニ拘ラス之ニ關スル豫算案ノ協贊ヲ求ムルノ道ヲ開キ來リ今日ニ於テハ議會カ豫算案ヲ審査シタル後ニ勅令ヲ發布スルモ可ナルノ意漸ク明白トナリ且之ニ關シテハ實例モアレハ之ヲ審査スルモ差支ナシ」ト異議ナカリシヲ以テ委員長ハ野平君ノ修正意見ニ付採決セリ

第二十七回議會 明治四十四年一月三十一日ノ豫算委員會ニ於テ(特第一號)明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ヲ審査スルニ當リ第七分科主査野田卯太郎君ハ分科ノ決議ヲ報

告シテ曰ク「本案ヲ可決スルニ付テ、憲法第七十條ニ依ッテ、緊急勅令ガ出サレテ、今其事後承諾ヲ求メラレ、特別委員ノ大ニ議論最中ナリト認メテ居マス、ソレガ濟マヌ内ニ決議シテモ法律上差支ハナイモノノ、實ハ其結果ヲ見テ決議スルガ、議會ニ於テハ穩當ナリト思ヒマスケレドモ、善意ヲ以テ此追加豫算ダケハ可決致シマシタ」ト井上角五郎君ハ「……徒ラニ政府ガ豫備金ヲ支出シテ事ノ面倒ヲ見ルヨリモ、又吾ミカ贊成セザル金ヲ政府ニ使ハスヨリモ、吾ミガ審査シテ贊成シタル金ヲ使ハシタイカラ、茲ニ贊成ヲ表シマスガ、彼ノ事後承諾案ノ成行ニ至リマシテ、或ハ不幸ニシテ事後承諾案ハ否決セラレ、又代ハルヘキ法律ガ成立タヌト云フヤウナ場合ニハ、此委員會ニ於テ贊成致シテ置キマシタ所ガ、其金ハ自ラ使ヘナイ筈ニナルノダト云フコトヲ吾ミガ承知致シマシテ、其上總テニ於テ贊成ヲ表シマス」ト述ヘ元田肇君ハ「法律ト云フモノノ確定スル以前ニ當ッテ、豫算ト云フモノガ直チニ効力ヲ持ツト云フヨリハ、法律ガ基トナッテ隨ッテ豫算ト云フモノガ起ル、法律ガ消エレバ豫算ハ如何ニ決議シテ置イテモ消エテシマフ、即チ將來ニ効力ヲ失フ法律ナラバ、將來ニ消エルト云フ原則ハ、何處マデモ、吾ミハ維持シテ置キマス」ト述ヘ大石正己君ハ「本統ハ事後承諾案ノ贊否ガ極ッテ後ニ議スベキモノデアラウト考ヘマスガ、……併シモウ時日カナイト云フナラバ致方モナイ、今元田君ノ御發

議ニナッタヤウナ趣意デ、是ガ事後承諾案ヲ否決スレバ自ラ消滅スルト云フ方ノ御趣意デアレバ格別差支モアルマイト思ヒマスカラ賛成シマス」ト述ヘ委員會ハ之ヲ可決セリ

第三十七回議會 大正四年十二月二十四日ノ豫算委員會ニ於テ大正五年度歳入歳出總豫算案大藏省所管衆議院守衛長俸給ヲ審査スルニ當リ元田肇君ハ「根本ノ議院法ハ未タ改正案ヲ提出ニナツテヲラズ、政府ハ特ニ議院法ノ改正案ト共ニ若クハ法律ヲ先キニ御出シニナツテ協贊ヲ求メラレタナラバ吾々何等異存ナク此事ノ趣旨ニハ賛成スルノデアリマスケレドモ、議院法ヲ改正シナケレバ行ハレヌコトヲ其改正案ノ提出モ見ズシテ置イテ、茲ニ唯豫算ダケデ之ヲ協贊スルト云フコトハ、甚ダ宜シキヲ得テ居ラヌト思ヒマスカラ遺憾ナガラ此場合ニハ之ヲ削除スルノ意見ヲ提出致シマス」ト述ヘタルニ委員會ハ之ヲ否決セリ

第四十回議會 大正七年二月九日ノ豫算委員會ニ於テ大正七年度各特別會計歳入歳出豫算案ヲ審査スルニ當リ第六分科主査西村丹治郎君ハ分科ノ決議ヲ報告シテ曰ク「鐵道敷設法ノ改正案ノ方ガ如何ニナルカ分ラヌ、マダ其ノ方ガ運命ガ極ラヌカラ、兎ニ角豫算ノ上デハ削除スルノガ當然ト思ヒマスガ、其ノ法律ノ運命ガ極マル迄暫ク今ノ所デハ此儘認メテ置イタ方ガ宜カラウト云フ意味ヲ以テ、全部原案ヲ賛成スルコトニナリマシタ」ト述ヘ委員會ハ之ヲ可決セ

リ

第四十七回議會 大正十二年二月十九日ノ豫算委員會ニ於テ(第一號)大正十二年度歳入歳出總豫算追加案ハ之ニ關係ヲ有スル帝都復興計畫法案(同月二十日委員會ニ於テ修正議決)ノ議決前ナリシモ何等ノ異論ヲ唱フルモノナク之ヲ修正議決セリ

一六一 豫算款項ノ金額ヲ増加スル必要アルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス

豫算款項ノ金額ニ付テハ憲法第六十六條及第六十七條ニ規定セラレタル事項ニ關スル豫算ヲ除クノ外議院ハ自由ニ之ヲ廢除シ又ハ削減スルコトヲ得ルモ之ヲ増加スルコトヲ得サルヲ以テ其ノ増額ヲ必要トスルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス

第九回議會 明治二十九年一月二十日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ遞信省所管營繕費ヲ議スルニ當リ主査改野耕三君ヨリ「電信ヲ増設シ且經營年限ヲ短縮シ之ヨリ生スル増額ニ關スル豫算ノ訂正ヲ政府ニ要求スヘシ」トノ意見ヲ提出シ異議ナカリシヲ以テ政府委員男爵鈴木大亮君ハ此ノ決議ヲ容レ直ニ之カ訂正ヲ爲シタルヲ以テ委員會ハ同日審査ヲ結了シ(政府ハ其ノ

後即同月二十二日付ヲ以テ修正ノ手續ヲ爲シタリ) 同月二十二日ノ豫算委員會ニ於テモ異議ナク之ヲ可決セリ

第十回議會 明治三十年一月二十九日ノ豫算委員第一分科會ニ於テ明治三十年度歲入歲出總豫算案中歲出臨時部遞信省所管第三款電話交換擴張費第四款官設既成鐵道改良費ヲ議スルニ當リ委員改野耕三君ヨリ「電話ト云ヒ鐵道ト云ヒ、共ニ目下極メテ必要ノ事業ナレバ矢張二十九年度ニ於テ豫定シタル如ク本豫算ヲ修正シテ更ニ提出セラレムコトヲ政府ニ求ムベシ」ト述ヘ委員會ハ之ヲ可決シタルニ政府委員男爵鈴木大亮君ハ「政府ハ委員會ノ意見ヲ容レ修正ノ上提出スベシ」ト述ヘタルヲ以テ委員會ハ未タ修正案ノ提出ナキニ既ニ修正シタルモノト看做シテ審査決議シ同年二月一日ノ豫算委員會ニ於テモ之ヲ可決セリ

第十三回議會 明治三十一年十二月十七日ノ豫算委員第一分科會ニ於テ明治三十二年度各特別會計歲入歲出豫算案中京都帝國大學ノ經費ヲ議スルニ當リ主査小倉信近君「本豫算案要求額ノ外ニ拾壹萬圓ヲ増加セハ本年九月ヨリ授業ヲ開始スルコトヲ得ルヤ」ヲ問ヒ京都帝國大學總長木下廣次君其ノ然ル旨ヲ答フルヤ小田貫一君ヨリ更ニ「豫算ノ修正ヲ政府ニ要求スヘシ」トノ意見ヲ提出シタルニ異議ナカリシヲ以テ政府委員柏田盛文君ハ承諾シタル旨ヲ答ヘ翌十八日附ヲ以テ修正ヲ加ヘ更ニ提出セリ同日分科會ハ原案ノ通り可決シ翌十九日ノ豫算委員會

ニ於テモ異議ナク之ヲ可決セリ

一六一 既定繼續費ノ總額、年限、金額ノ改定ヲ必要トスルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス

既定繼續費ノ總額、年限、年割額ノ改定ヲ要スル場合ハ政府ヨリ其ノ案ヲ提出スルヲ例トスルモ豫算委員ニ於テ之ヲ必要トスルトキハ政府ニ修正案ノ提出ヲ要求ス

第九回議會 明治二十九年一月二十日ノ豫算委員第四分科會ニ於テ堤猷久君ハ「乙號ノ鐵道建設費既定年額ニ就キ修正ヲ加ヘントス即チ福島青森間名古屋八王子間、八代鹿兒島間及姫路堺間ノ修正年限皆一年宛繰上ケラレタシ、政府ニ於テモ幸ニ同意セラレムコトヲ希望ス」ト述ヘタルニ同月二十六日ノ豫算委員會ニ於テ鈴木政府委員ハ政府ハ分科會ノ要求ニ對シ同意ヲ表シ修正案ヲ提出スル旨ヲ述ヘタリ

一六二 決算ニ付テハ其ノ不當若ハ不法ナラサルヤヲ審査ス

決算委員ハ其ノ付託ヲ受ケタル決算ニ付其ノ收入支出カ各項目ニ於テ不當若ハ法規違反ニ非サルヤヲ審査ス

一六四 決算委員ニ於テ不法又ハ不當ト認メタル事件ニ對シ政府ノ責任ヲ審査シタルコトアリ

決算委員ニ於テ決算ノ不當又ハ不法ナルヲ認メタル場合ニ於テ之ニ關スル政府ノ責任ヲ審査シタルコトアリ

第十四回議會 明治三十三年二月十三日ノ決算委員會ニ於テ明治三十年度歲入歲出總決算ノ審査ヲ爲スニ當リ青木正太郎君ヨリ「内務省所管釧路鐵道買收ノ件ハ甚タ失當ノ處置ト認ムルヲ以テ管ニ之ヲ否認スルノミナラス當局者ニ向テ相當ノ處分ヲ求ムヘシ」トノ意見ヲ提出シタルニ異議ナカリシヲ以テ委員長石黑涵一郎君ハ二月十九日ノ議院會議ニ於テ政府ニ於テ相當ノ處分アリタキ旨ヲ演說セリ

(備考)

明治三十四年二月十五日ノ決算委員會ニ於テ本件ニ關シ政府ハ如何ナル處分ヲナセシヤ其ノ説明ヲ求ムヘキコトヲ決議シ三月十四日ノ會議ニ於テ政府委員出席説明ヲ爲セリ
第十八回議會 明治三十六年六月三日ノ決算委員會ニ於テ同委員カ不法又ハ不當ト認メタル件ニ關シ當該官吏ニ對スル處分ハ概ネ其ノ當ヲ得サルモ監督官廳ニ對スル責任ハ未タ明カナラ

サルヲ以テ國務大臣ニ於テ其ノ責ヲ負フヘキモノト認ムル旨ヲ議決シ同月四日ノ議院會議ニ於テ報告セリ

第二十一回議會 明治三十八年二月二十五日ノ決算委員會ニ於テ決算ノ審査ヲ爲スニ當リ第六分科主査阿部徳三郎君ハ分科會ノ決議ヲ報告シテ曰ク「此旭川問題竝ニ災害復舊問題ニ付テハ委員會ニ於テ不當違法ノ支出ト決定致シマシテ、同時ニ其決議ヲ有效ナラシムルカ爲ニ、上奏ヲ致スノガ相當デアルト云フ決定ヲ致シマシタ次第デアリマス」ト委員會ハ之ヲ容レ上奏案ヲ添ヘテ報告シタルモ同月二十八日ノ議院會議ニ於テハ之ヲ議題ト爲ササルニ決セリ

一六五 豫算超過又ハ豫算外支出ニ付承諾ヲ求ムル件ニ對シ法律上ノ關係ヲ審査シタルコトアリ

豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算外ニ於テ生シタル支出ニ付承諾ヲ求メタル場合ニ於テ委員會ハ其ノ事實上ノ關係ヲ審査スルハ勿論ナルモ之ニ對シ更ニ其ノ法律上ノ關係ヲモ併セテ審査シタルコトアリ事例左ノ如シ

(一) 豫備金ノ支出ニ關シ法律上ノ關係ヲ審査シタル例

第十三回議會 明治三十二年二月三日ノ明治二十九年年度豫備金支出ノ件外七件委員會ニ於テ屯

田兵舎特別新營費ヲ第二豫備金ヨリ支出シタル件ヲ議スルニ當リ政府委員荒井賢太郎君ハ委員金岡又左衛門君ノ「是ハ豫算ノ内ニ存スル費目ナレバ之ニ不足ヲ生ジタルトキハ第一豫備金ヨリ支出スベキモノト信ズ然ルニ政府カ第二豫備金ヨリ支出シタルハ何故ナルヤ」トノ質問ニ對シ答辯シテ曰ク「第一豫備金カラ出スト云フコトハ到底參リマセヌ、ソレハ會計規則ニ第一豫備金ハ毎年勅令ヲ以テ定メルト云フコトガアリマシテ、其補充スヘキ費途ハ毎年勅令ヲ以テ定マル、(中略)第一豫備金ガ補充スルト云フコトハ、元ト協贊ヲ經テ居ル豫算デナスベキモノデアルケレドモ、已ムヲ得ザルモノニ限り其豫算ガ足りナイトキニ補充スルト云フ性質デアツテソレデ第一豫備金ト云フコトハ外來ノ原因即チ外カラ來ルヤウナ原因デ、政府ノ義務ニ屬シ又ハ法律ノ結果已ムヲ得ズ支出スル即チ恩給トカ退官賜金トカ死亡賜金トカ誠ニ豫測スルコトノ出來ナイ、已ムヲ得ナイ費用ニノミ使フベキモノデアル、(中略)補充科目以外ノ費用デアリマスカラ、新營トカ營繕トカ云フヤウナ費用ハ縱令不足ヲ生ズルモ支出スベキ性質デナイト云フコトカラシテ、第一豫備金カラ出スコトハ出來ナイ、所デ第二豫備金カラ何故大藏省ハ出シタカト云フト、屯田兵ノ移住ト云フコトハ、チャント規則デ極ツマテ居ルノガ、行政官ノ手違デ其年ノ費用ヲ使ツテ仕舞ツタ、斯フ云フコトデ、ドウシテモ費用ト云フモノガナイ、是ハ規則デ毎年五百戸ヅ、移住スルコトニ極メテアル其規則ヲ停止スルト云フコトハ出

來ナイ話デアルカラ、其ノ規則ヲ施行シテ移住サセルト云フニハドウシテモ是丈ノ金ヲ出スト云フ、是丈ノ新營ヲシナクテハ、其ノ規則ト云フモノガ完全ニ施行スルコトハ出來ヌ結果ニナツタ」ト翌四日ノ會議ニ於テ金岡君ハ此ノ事ニ關シ第二豫備金ヨリ支出セシハ不法ナリトシ之ヲ否認スヘシトノ意見ヲ述ヘタルモ委員會ニ於テハ事實已ムヲ得サルモノトシテ之ヲ承認スルニ決セリ

(二) 國庫剩餘金ノ支出ニ關シ法律上ノ關係ヲ審査シタル例

第二回議會 明治二十四年十二月五日ノ岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事費豫算外支出ノ件委員會ニ於テ伊藤大八君ノ「此ノ剩餘金ヲ支出シタルハ憲法及會計法ノ如何ナル條項ニ基キタルモノナルヤ且此ニ承諾ヲ求ムルニ至リタル理由ニ付説明セラレタシ」トノ質問ニ對シ政府委員渡邊國武君ハ「政府ノ見ル所デハ憲法第六十四條ノ二項ノ款項ニ超過シ又ハ豫算外ノ支出ヲナシタルトキハ、後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ストアリマス以上ハ、憲法ニ於テハ款項超過豫算外ノ支出ト云フモノヲ禁ジテナイコトハ明カデゴザリマス、夫故ニ其ノ條項ニ依ツテ支出スルデ(中略)勿論用キ得ル爲ニ設ケラレテアル豫備金デアルカラ、豫備金ノアル限リハ豫備金カラ支出シテ、既ニ豫備金モ盡キタト云フ以上ハ、他ノ財源ガ許ス限リハ支出シテ苦クナイト云フ政府ノ意見デアリマス云々」ト答辯シ又大津淳一郎君ノ「會計法第八條ニ

豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ストアルハ憲法第六十四條ニ照應スルモノニシテ憲法第六十四條第二項ハ會計法第八條ト相待テ流用スヘキモノナリ然ルニ政府ハ會計法ニ依ラス獨立ノ動作ヲナシテ帝國議會ノ承諾ヲ求ムルコトヲ得ルモノト解釋セルカ「トノ質問ニ對シ「憲法第六十四條ノ二項ハ豫備金ヨリ支出シテ、豫備金外デモ財源ノ許ス限リハ支出スルコトガ出來ルト認メテ居リマス、會計法ノコトハ一般ナル豫備金ノ支出ノ普通ノ場合ノミヲ規定シテ其他ニ涉ルコトハナイ」ト答辯シ尙ホ辯明シテ曰ク「憲法第六十四條ノ第二項ハ豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算外ニ支出スルトキハ他日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ストアル上ニハ決シテ豫備金デアル豫備金外デアルト云フコトガナイカラシテ、何レニシテモ後日議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコトヲ政府ハ施行シテ居ル」ト然ルニ同月二十二日ノ會議ニ於テ政府カ憲法第六十四條ノ第二項ニ依リテ議會ニ承諾ヲ求メタルハ不法ナルカ故ニ承諾スヘカラストノ意見ヲ可決セリ

第十回議會 明治三十年三月十三日ノ明治二十八年豫備金支出ノ件外三件委員會ニ於テ明治二十八年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ヲ爲シタル件ヲ議スルニ當リ高田早苗君ハ「本件ノ費目ニ付テモ論ズベキモノ少カラズ殊ニ其支出ノ手續ニ付テハ大ニ非難セザルベカラズ抑モ國庫剩餘金ヲ支出スルハ決シテ憲法第六十四條第二項ニ依ルベキモノニ非

ズ故ニ若シ政府ニ於テ緊急ノ必要ニ迫ラレ之ヲ支出シタリト云ヘバ格別ナレドモ憲法第六十四條第二項ニ依リタリト言フニ於テハ決シテ承諾スベカラザルナリ」ト述ヘタルニ政府委員阪谷芳郎君ハ「政府ハ憲法第六十四條第二項ニ依ルノ意見ヲ固執スルニ非ズ要スルニ必要避クベカラザル費用ナルガ故ニ責任ヲ以テ財政上ノ處分ヲ爲シタルノミ」ト答ヘタルヲ以テ高田君ハ然ラバ之ニ承諾ヲ與フルモ不可ナシト述ヘ委員會ハ承諾ヲ與フルニ決セリ

第十二回議會 明治三十一年五月二十五日ノ明治二十九年豫備金支出ノ件外三外委員會ニ於テ政府委員田尻稻次郎君ハ委員長肥塚龍君ノ「剩餘金ハ憲法ノ第何條ニ依リ支出セシヤ」トノ質問ニ對シ「此問題ハ從來屢々起ル問題ニシテ前内閣ノ時其ノ方法モ確定シ今日モ其ノ意見ヲ變更セズ即チ剩餘金ノ支出ハ憲法ノ何條ニ依ルト云フコトナシ國家ノ大事ニ關シ焦眉ノ急アル場合ニ於テハ豫備金ナシトテ之ヲ放擲スベキニアラザルヲ以テ責任ヲ以テ之ヲ處辨セザルベカラズ然レドモ之ヲ支出セシ以上ハ憲法ニ依リ承認ヲ受ケザルベカラズ蓋シ憲法ニ於テハ豫算外ノ支出ニハ必ズ承認ヲ受クヘキコトナリ居ルモノナレバ其支出ハ元ヨリ政府ノ責任行爲トシテ之ヲ爲スベキモノニハ憲法ノ第何條ニ依ルニ非ズ只其承認ヲ求ムルハ第六十四條第二項ニ依ルベシトノ見解ナリ」ト答辯スルヤ加藤政之助君ハ更ニ「松方内閣ノ時大藏大臣渡邊國武君ハ剩餘金ノ支出ハ憲法第六十四條第二項ニ依ルノ意見ニ依リ大ニ議會ト爭ハレタリ

シガ今日ニ於テハ此見解ヲ捨テ只適宜之レカ處置ヲ爲スト云フコトニナリシヤ」ト質問セシニ田尻政府委員ハ其ノ然ル旨ヲ答ヘタルヲ以テ委員會ハ承諾ヲ與フルニ決セリ

第三十回議會 大正二年三月二十二日ノ明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)委員會ニ於テ明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ヲ議スルニ當リ松田源治君ハ「現政府ハ此豫備金以外ノ支出ハ憲法六十四條ノ二項ニ依ッテ議會ニ提出シタト云フ御辯明デアリマスカ本員等ノ執ル如クサウデナクシテ責任支出トシテ承諾ヲ求メルト云フ御意見デアリマスカ此根本ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス」トノ質問ヲ爲シタルニ政府委員勝田主計君ハ「此問題ハ何等憲法ニ違反シテ居ナイ憲法ガ認メル行爲デアツテ責任支出ト認メタ」トノ旨ヲ答辯シ又早速整爾君ハ「會計法ノ第二十條ニハ歲計ニ剩餘アル時ハ翌年ノ歲入ニ繰入ルヘシトアル責任支出ノ事後承諾ヲ求ムルハ會計法ノ二十條ニ抵觸セシヤ」トノ質問ヲ爲シ政府委員市來乙彦君ハ「何等抵觸スルコトハナイト信シマス」トノ答辯ヲ爲シタリ而シテ同月二十四日採決ノ結果承諾ヲ與フルニ決セリ

一六六 同一人ノ二箇ノ懲罰事犯ニ對シ二箇ノ懲罰ヲ併科シタルコトアリ

第五回議會明治二十六年十二月十三日ノ懲罰委員會ニ於テ星亨君ヲ懲罰スルノ議決ヲ爲シタル後

委員長高梨哲四郎君ヨリ「本件ノ如ク二箇ノ懲罰事犯アル場合ニ於テハ刑法ノ總則ニ依リ數罪俱發再犯加重ノ規則ヲ適用スヘキヤ此事ニ關シテハ二箇ノ意見アリテ一ハ院內ノ取締ハ立法部內ノ行政ナレハ刑法ヲ適用スヘキモノニアラスト云ヒ一ハ議院カ懲罰ヲ爲スハ司法權ヲ分與セラレタルモノナレハ刑法ノ總則ニ從フヘキモノナリト云ヘリ本件ノ場合ニ於テハ何レヲ採用スヘキヤ」ト諮ヒタルニ玉田金三郎君ハ曰ク「本件ノ如キハ刑法ニ從フヘキモノニアラス議院ノ懲罰ハ院內限ノ取締法ニ屬シ恰モ學校教師カ生徒ニ對シテ施ス所ノ懲罰ト同様ノモノナレハ決シテ刑罰ノ性質ヲ有スルモノニアラス故ニ刑法ニ據ルヘカラサルハ勿論ナリ」ト丸山名政君モ亦玉田君ノ意見ヲ敷衍シテ曰ク「議院ノ懲罰ハ院內取締ノ行政權ニ屬スルモノナリ若シ之ヲシテ裁判權ナリトセシカ憲法ニ抵觸スヘシ故ニ再犯加重トスルモ數罪俱發トスルモ唯議院法ノ解釋ニヨリテ決スヘキノミ」ト委員會ハ先ツ議院ノ懲罰ハ院內ノ行政ナリト決シ次テ二箇ノ懲罰ヲ併科スヘキヤ否ヤノ問題ニ移リ討論ノ末併科スルニ決シ高田早苗君申告ノ懲罰事犯ニ付テハ除名スルコト大岡育造君申告ノ懲罰事犯ニ付テハ譴責スルコトニ決シ同日之ヲ議院ニ報告セリ

第四十四回議會大正十年二月一日ノ懲罰委員會ニ於テ議長ノ發議ニ係ル議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件ニ對シ五日間ノ出席停止、龍野周一郎君提出議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件ニ對シ五日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決シ同日之ヲ議院ニ報告セリ